取付作業者用

前後方録画対応ドライブレコーダー取付説明書

このたびは、スズキ純正用品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
本書は前後方録画対応ドライブレコーダーの取付方法について記載しています。
取り付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
取り付け後は、「取扱説明書」および「保証書」を必ずお客様にお渡しください。

安全に関する表示

この取付説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

⚠警告、**⚠注意**、**注 記**、**アドバイス** のところは、とくにしっかりお読みください。

⚠警告	**取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。**
⚠注意	**取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。**
注 記	**取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。**
アドバイス	**この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。**

使用されている⃠の記号は、してはいけない内容を示しています。
❗の記号は、実行しなければならない内容を示しています。

品番および適用車種

品　番	適　用　車　種	適　用　年　式
99000-79CE0-000	ハスラー　型式　MR52S、MR92S	2020年　1月～
	ソリオ　型式　MA27S、MA37S	2020年　11月～

加工について

車両により加工内容が異なりますので、間違えがないように作業を行ってください。

	インパネ付近の加工				バックドア部の加工
	④車両側ブラケット：不要			④車両側ブラケット：必要	バックドアインナーパネル（鉄板）への穴開け（必要：○、不要：×、車両装備により異なる：△）
	穴加工：必要		穴加工：不要	穴加工：不要	
	①ドライブレコーダー本体を通す穴加工	配線を通す穴加工			
ハスラー	●				△
ソリオ	●				×

発売元：スズキ株式会社

もくじ

安全に関する表示 1
品番および適用車種 1
加工について 1
もくじ 2
構成部品 3
取り付けに必要な工具類 4
取付上の留意点 ..... 5～7
取付準備作業 7
取付要領、取付作業
全車共通
- 車両部品の取り外し方法 8
- フロントカメラの取付条件について 9
- フロントカメラ取付前の準備 ..... 10～11
- フロントカメラの取付方法 ..... 11～14
- 配線のしかた ..... 15～16
- リヤカメラの取付条件について 17
- リヤカメラ取付前の準備 18
- リヤカメラの取付方法 ..... 19～21
- リヤカメラケーブル配線（バックドア内） ..... 22～24
- 各ケーブルの配線方法 ..... 25～26
- ドライブレコーダー本体の取付条件について 27
- 車両部品の加工方法 ..... 28～31
- ドライブレコーダー本体の取付方法 ..... 32～34

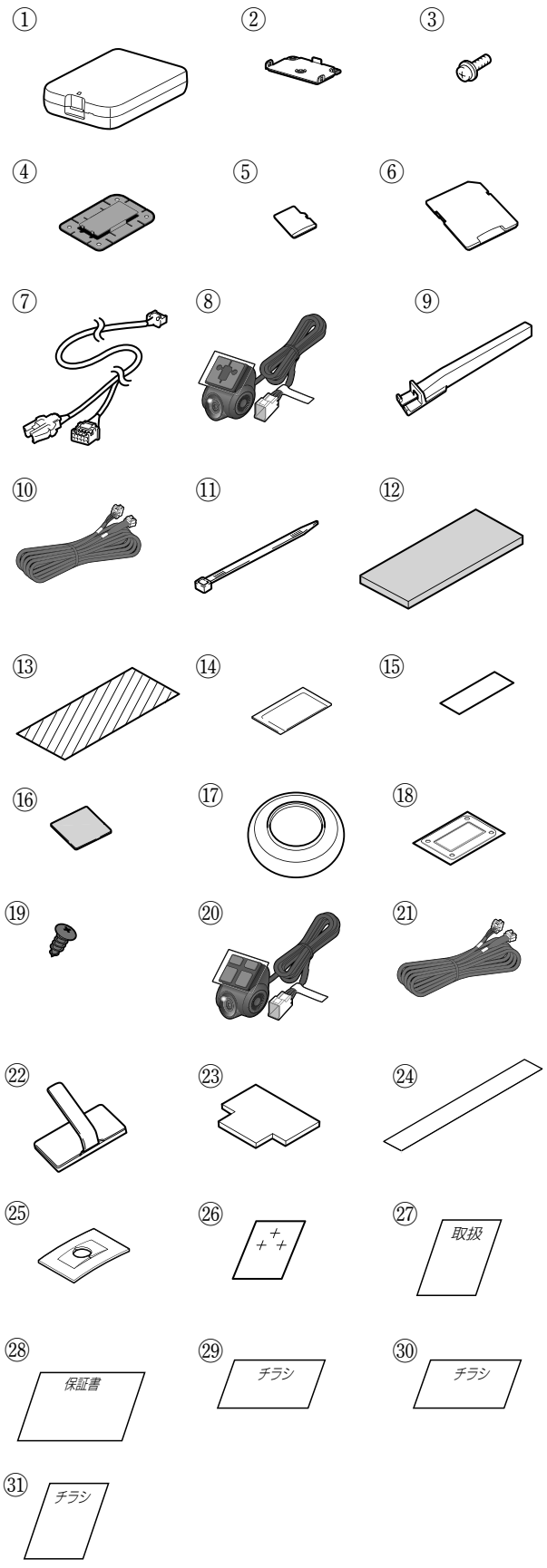
車両部品の復元 35
既設部品の点検 35
接続のしかた 36
取付・配線の確認 ..... 37～38
作動確認・取付調整・カードの初期化 39
- ドライブレコーダータイプの選択 40
- ドライブレコーダーの作動確認 41
- 取付調整 ..... 42～43
- 取付調整の確認 43
- 映像ファイルの削除 44

取付要領、取付作業
ハスラーの場合
- 車両部品の取り外し方法 ..... 45～46
- 取付概要 ..... 47～48
- フロントカメラ取付前の準備 49
- フロントカメラの取付方法 49
- フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部） 50
- リヤカメラ取付前の準備 ..... 51～53
- リヤカメラの取付方法 ..... 54～59
- リヤカメラケーブルの配線（バックドア内） ..... 60～62
- リヤカメラケーブルの配線（車室内） 62
- フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線 63
- ドライブレコーダー本体の取付方法 ..... 64～67

ソリオの場合
- 車両部品の取り外し方法 ..... 68～69
- 取付概要 ..... 70～71
- フロントカメラ取付前の準備 72
- フロントカメラの取付方法 72
- フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部） 72
- リヤカメラ取付前の準備 73
- リヤカメラの取付方法 ..... 74～75
- リヤカメラケーブルの配線（バックドア内） ..... 76～79
- リヤカメラケーブルの配線（車室内） 80
- フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線 ..... 81～82
- ドライブレコーダー本体の取付方法 ..... 83～87

改訂内容 88

構成部品



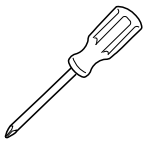
No.	部 品 名 称	数量
①	ドライブレコーダー本体	1
②	本体ブラケット	1
③	スクリュー（M3×8mm）	3
④	車両側ブラケット	1
⑤	microSDHCメモリーカード(16GB)	1
⑥	SDカードアダプター	1
⑦	電源ケーブル	1
⑧	フロントカメラ	1
⑨	コードホルダー（150mm）	1
⑩	フロントカメラケーブル	1
⑪	バンドクランプ	50
⑫	ハーネス固定テープ（200mm×100mm）	5
⑬	保護シート（200mm×100mm）	1
⑭	クリーナー	1
⑮	ステッカー	1
⑯	両面テープ（本体用）	1
⑰	グロメット	2
⑱	両面テープ(車両側ブラケット用)	1
⑲	タッピンねじ（φ4×12）	4
⑳	リヤカメラ	1
㉑	リヤカメラケーブル	1
㉒	クランパー	2
㉓	両面テープ	1
㉔	テープ（150mm×25mm）	1
㉕	スピードナット	4
㉖	型紙	1
㉗	取扱説明書	1
㉘	保証書	1
㉙	チラシ	1
㉚	チラシ（QRコード）	1
㉛	チラシ（ステッカー貼り付け）	1

■付属の⑥SDカードアダプターは、必ずお客様にお渡しください。

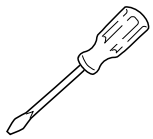
■④車両側ブラケットは、①ドライブレコーダー本体取付部が曲面の場合に使用します。

取り付けに必要な工具類

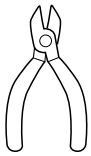
⊕ドライバー



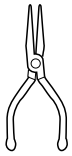
⊖ドライバー



ニッパー



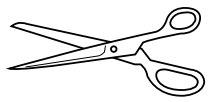
ラジオペンチ



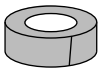
ハンディリムーバー



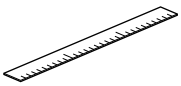
はさみ



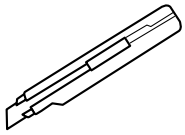
マスキングテープ



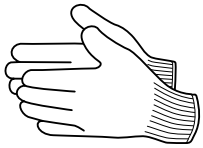
定規



カッターナイフ、超音波カッターなど



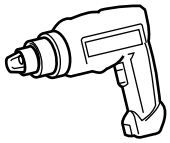
ケブラー手袋



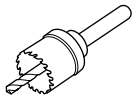
ラチェットレンチ



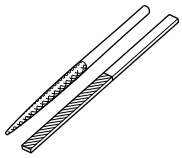
電動ドリル（ϕ 3、ϕ 4、ϕ 4.5）



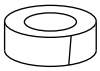
ホールソー（ϕ 16）



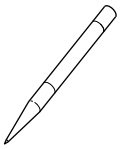
ヤスリ



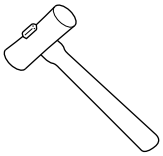
ビニールテープ



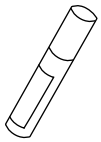
ポンチ



ハンマー



タッチアップペイント



取付上の留意点

⚠警告

本機はDC12V㊀アース車専用です
DC24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおり正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの㊀端子を外す
外さずに作業すると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品※の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

ドライブレコーダーは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因となります。

取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、スズキ代理店またはスズキ代理店が指定した販売店にご依頼ください。

視界や運転を妨げる場所※、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない
交通事故やけがの原因となります。
※ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。作業に際しては、車両に付属のオーナーズマニュアルやサービスマニュアルに記載された注意事項を確認してから作業を行ってください。

『黄色のハーネス』はSRS（エアバッグ）用のハーネスであるため、絶対に他のコード類などを固定しない
万一の作動時に正常な機能を発揮できなくなり危険です。（※取付位置の安全性を考慮し、販売店にご相談のうえ、取付位置を決めてください。）

取り付けやアース配線に、車の保安部品※を使わない
制動不能や発火、交通事故の原因となります。
※ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

⚠警告

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解や改造をしない
分解禁止
- 交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。
- アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

⚠注意

必ず、付属品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

板金エッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

取付場所の汚れ（ごみ・ほこり・油）などを取り除き、しっかり取り付ける
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。
ときどき取付状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。
- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

注 記

コネクターは、カチッと音がするまで確実にはめ込んでください。

コネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクターを持って外してください。

車両側のワイヤリングハーネスを、強く引っ張らないでください。
コネクター外れやワイヤリングハーネスの損傷の原因となります。

注記

- 取り付けの際は車両を傷つけないように十分注意してください。
- 本文中の取付上の注記は、必ず取付に反映させて作業を行ってください。
  もし、注記を無視して取り付けると、ドライブレコーダーの正常な動作を阻害するばかりでなく、車両故障につながるおそれがあります。
- 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
- 誤って取り付けた場合、ドライブレコーダーの正常な動作を阻害するばかりでなく、車両機能を損ない、ひいては車両故障につながるおそれがあります。しかも、保証の対象にはなりませんのでご注意ください。
- 本品は4輪車専用です。2輪車へは取り付けないでください。
- 各作業の際、カメラレンズ部に工具等を当てたり、保護マットがない場所にドライブレコーダーを置いたりしないでください。カメラレンズ部等に傷がつくことがあります。
- 取付作業は、ルーフライニングに無理な力を加えないで行ってください。
- ルーフライニングが折り曲がらないように注意してください。

アドバイス

- 道路運送車両の保安基準の細目を定める告示第195条第5項第二号による、道路および交通状況に係る情報の入手のためのカメラに指定されている要件を満足しております。
- 取付説明書に記載されているドライブレコーダーの取付位置は、「性能面（ワイパー払拭範囲）」「法規制（フロントガラスの実直寸法20%以内へのカメラ取付）」等を考慮しています。必ず、取付説明書通りの取付を行ってください。

・本製品の仕様・外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
・本書に記載の寸法は、おおよその数値です。
・イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

取付準備作業

1. 取付作業は、安全な場所に車を駐車し、パーキングブレーキをかけた状態で行ってください。

2. 取付作業中は、必ず、エンジンを停止して、バッテリーの㊀端子を外しておいてください。この際、㊀端子が㊉端子と接触しないようにご注意ください。

アドバイス

バッテリーの㊀端子を外すと、ラジオやテレビ等のメモリーが全て消えてしまうことがあります。
このような場合は、取り外し前にメモリーを控え、終了後にメモリーを再設定してください。

3. 構成部品が取付説明書通りになっているか、また不良部品の混在等がないかを確認してください。

取付要領　　取付作業

全車共通

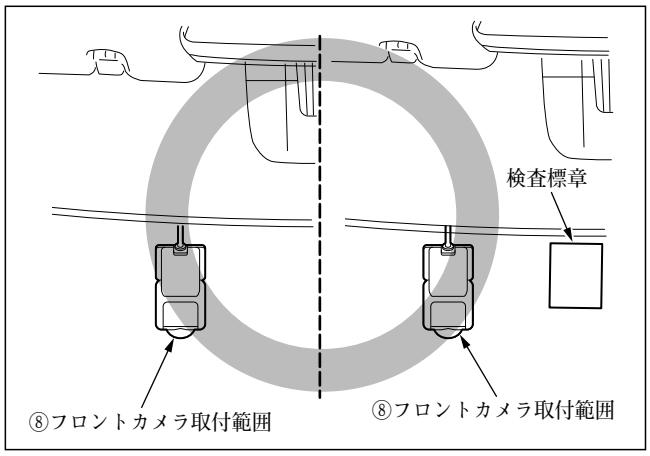
●車両部品の取り外し方法

本書では取り外し部品の概略のみを記載しています。取り外し方法の詳細については各車種の「サービスマニュアル」を参照してください。

注 記

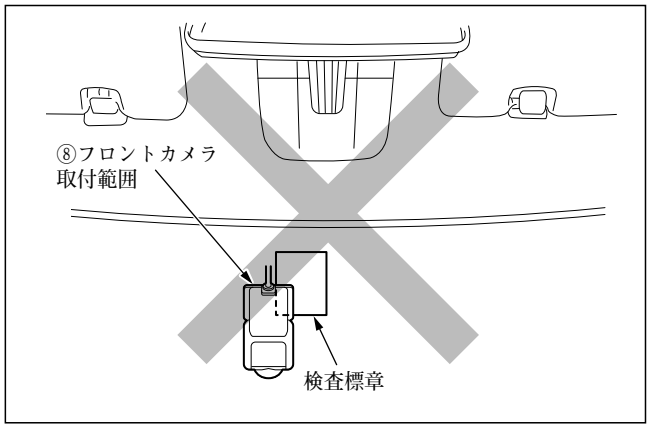
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は特に指示がある場合を除き再使用します。紛失しないでください。

●フロントカメラの取付条件について



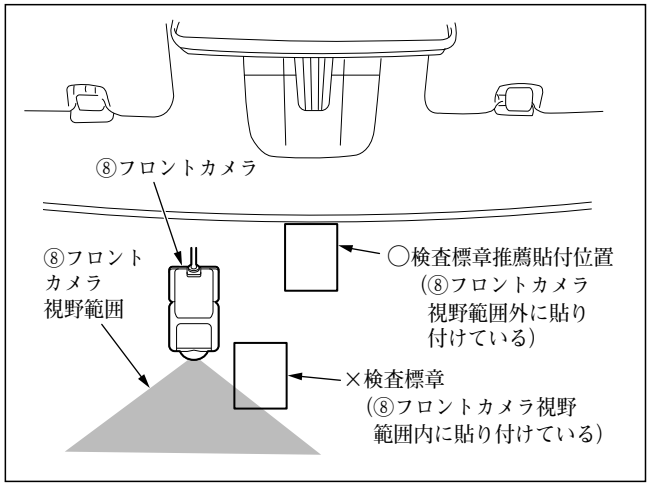
注 記

- ⑧フロントカメラは、検査標章（車検証シール）を貼り付けていない場合、または検査標章が⑧フロントカメラ取付範囲外に貼り付けてある場合に取り付けることができます。
- 新車時などに⑧フロントカメラを取り付ける場合、検査標章（車検証シール）を⑧フロントカメラ取付範囲外へ貼り付けてください。



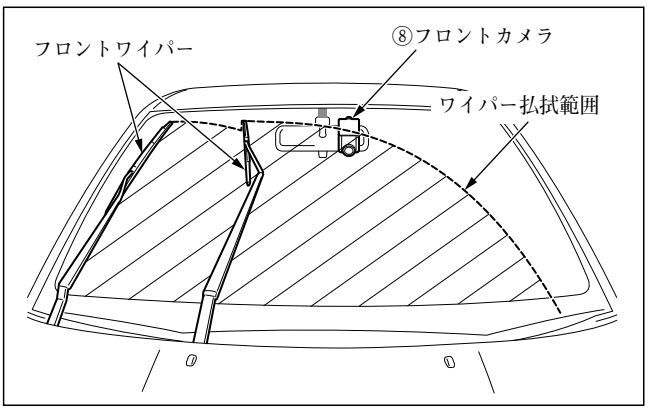
注 記

検査標章（車検証シール）が⑧フロントカメラ取付範囲に貼り付けてある場合、⑧フロントカメラを取り付けることができません。



注 記

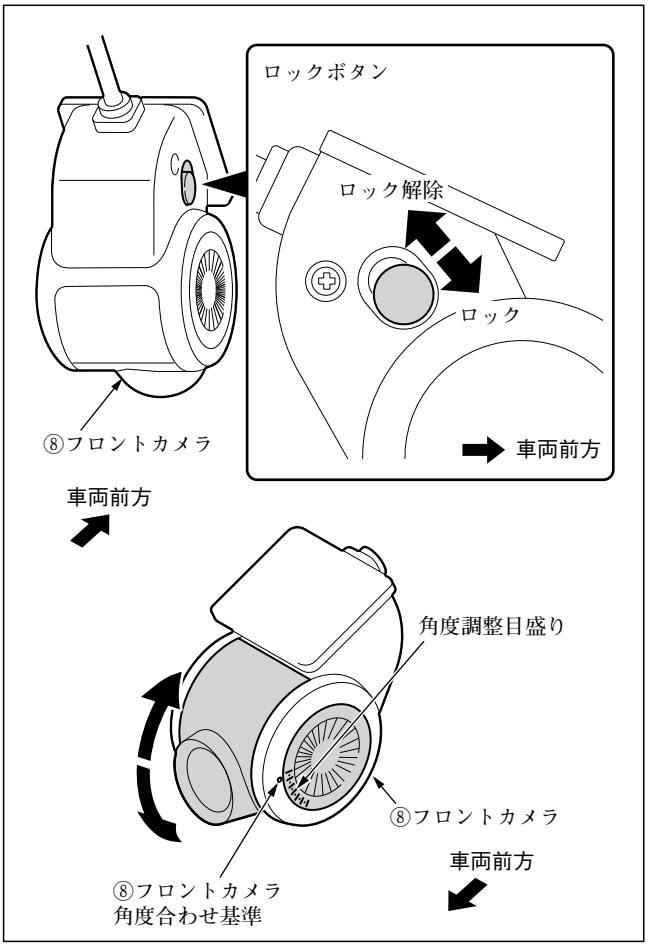
検査標章を貼り付ける際は、⑧フロントカメラ視野範囲外に貼り付けてください。⑧フロントカメラ視野範囲内に貼り付けると⑤microSDHCメモリーカードに記録される映像に検査標章が映り込みます。



注 記

⑧フロントカメラの撮影範囲がワイパー払拭範囲内にあることを確認してください。ワイパーの払拭範囲から外れた位置にあると、雨天時など鮮明な映像が記録されないおそれがあります。

● フロントカメラ取付前の準備



■フロントカメラ取付前の準備

(1) ⑧フロントカメラ右側のロックボタンをスライドしてロックを解除してください。

(2) ⑧フロントカメラ左側の角度調整目盛りと⑧フロントカメラ角度合わせ基準を合わせてください。

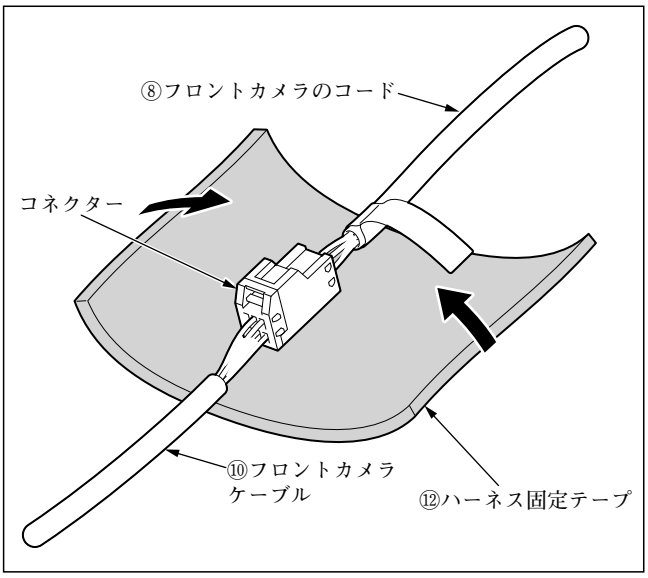
(3) ロックボタンをスライドしてロックしてください。

注 記

- **しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。**
- **⑧フロントカメラ画像に必要な情報が記録されないおそれがあるため、「車種別取付要領」で指定されている位置に確実に調整してください。**

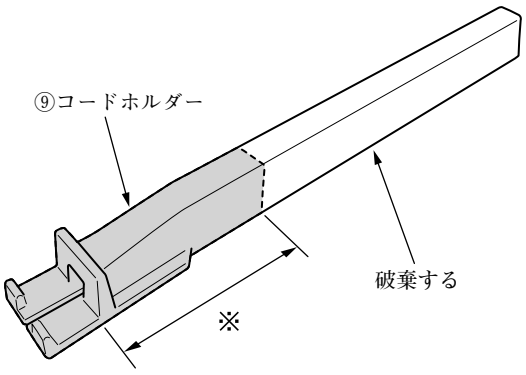
アドバイス

調整位置は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。



(4) ⑧フロントカメラのコネクターと⑩フロントカメラケーブルのコネクターを接続してください。

(5) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。



※切取寸法は「車種別取付要領」を参照

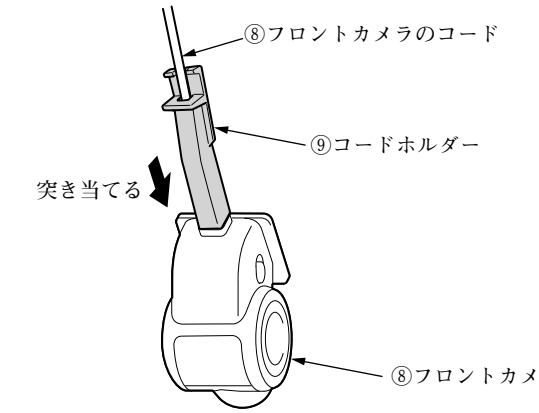
(6) ⑨コードホルダーを寸法通り切り取ってください。

⚠注意

- **⑨コードホルダーは、カッター等で寸法通りに切ってください。**
- **カッターを使用する際は、ケブラー手袋を着用して作業してください。着用しないで作業を行うと、ケガをするおそれがあります。**

アドバイス

⑨コードホルダー使用の有無や切取寸法は、車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。



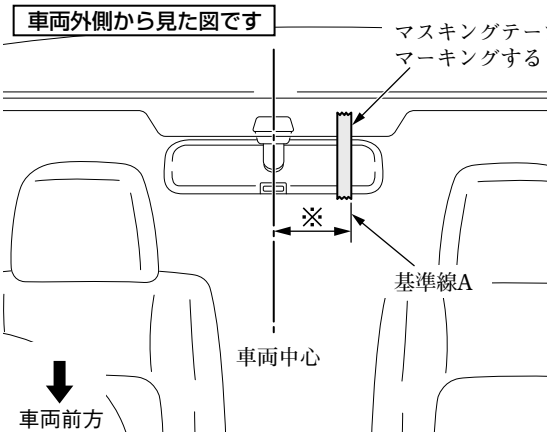
(7) ⑨コードホルダーに⑧フロントカメラのコードを通してください。

(8) ⑨コードホルダーを⑧フロントカメラのコード根元に突き当ててください。

注記

⑨コードホルダーは、⑧フロントカメラに突き当てた位置にセットしてください。

●フロントカメラの取付方法

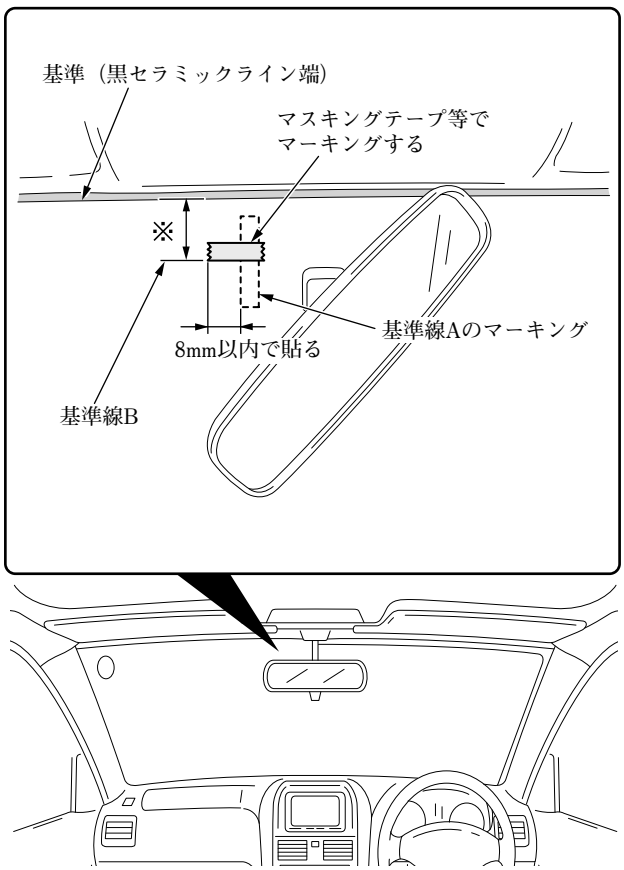


※貼付位置寸法は「車種別取付要領」を参照

(1) 車両外側からマスキングテープ等で⑧フロントカメラの貼付用基準線Aをマーキングしてください。

アドバイス

- **図は、車両外側から見た図を示しています。**
- **貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。**
- **マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の外側が基準線Aになるようにしてください。**
- **貼付用基準線Aのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して垂直に貼られていることを車両外側から確認してください。**



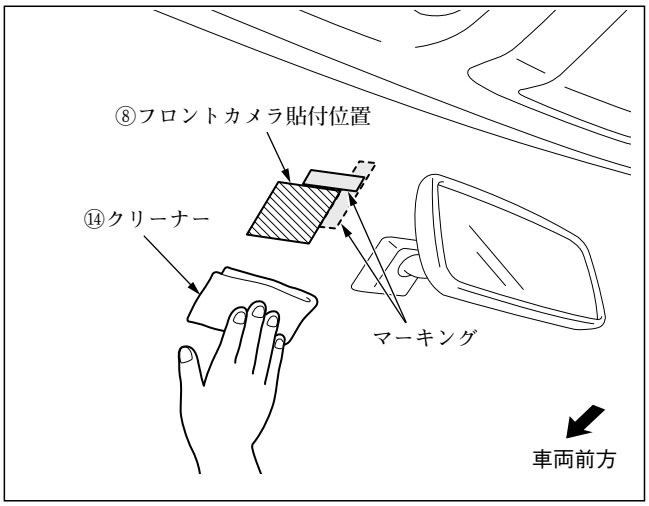
(2) 車両内側からマスキングテープ等で⑧フロントカメラの貼付用基準線Bをマーキングしてください。

注 記

基準線Aのマーキングより8mm以内に基準線Bのマーキングをしてください。8mm以上マーキングを行うと⑧フロントカメラ貼付後、基準線Bのマーキングが外せなくなるおそれがあります。

アドバイス

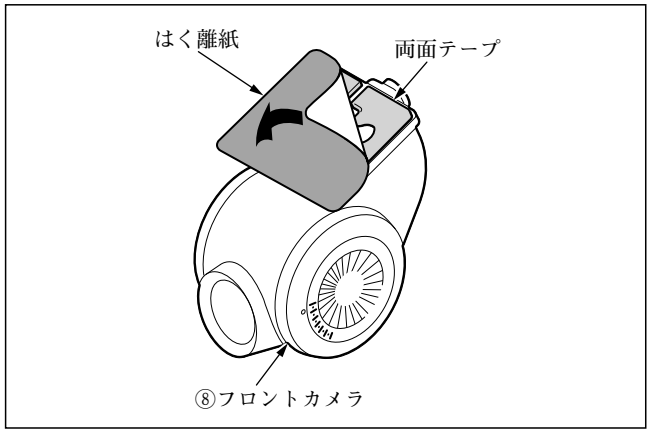
- **図は、車両内側から見た図を示しています。**
- **貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。**
- **マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の下側が基準線Bになるようにしてください。**
- **貼付用基準線Bのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して水平に貼られていることを車両外側から確認してください。**



(3) ⑧フロントカメラ貼付位置のよごれ、油分を同梱の⑭クリーナーで拭き取ってください。

注 記

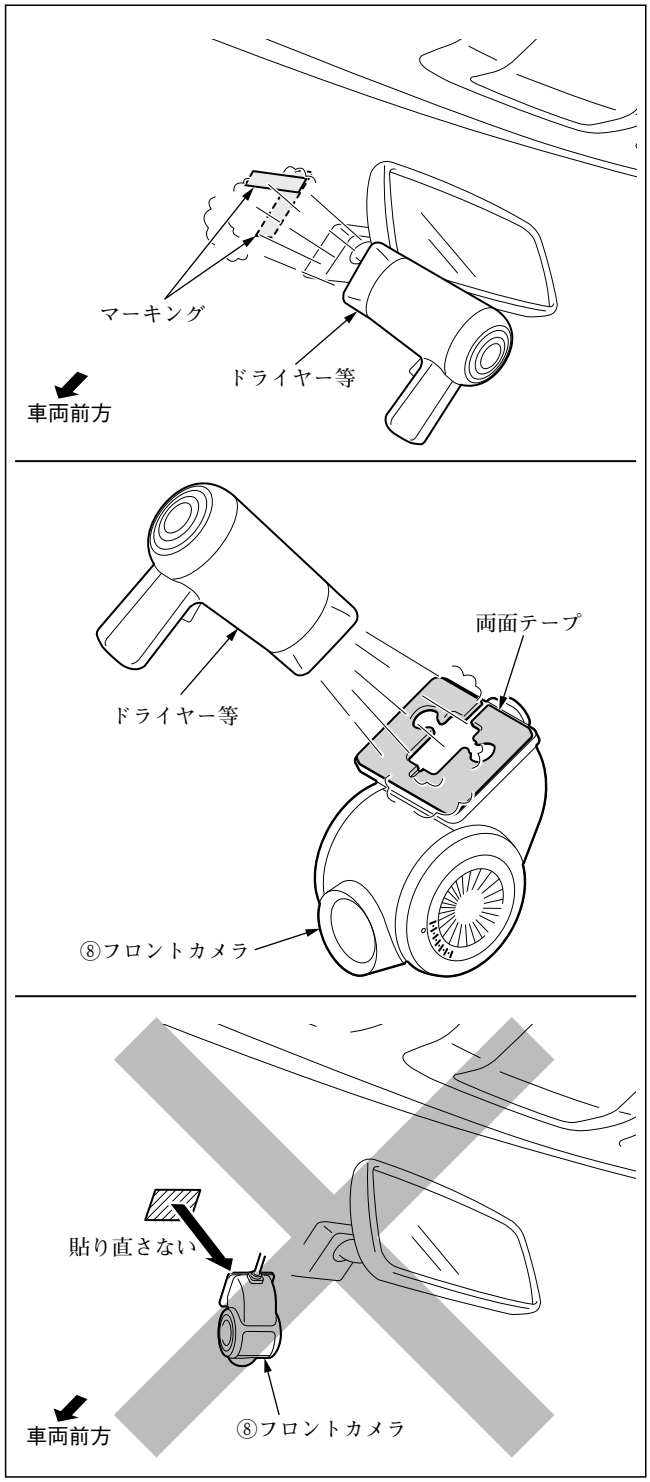
- **必ず同梱の⑭クリーナーを使用してください。同梱の⑭クリーナー以外を使用した場合、含まれる成分によっては⑧フロントカメラが貼り付かなくなるおそれがあります。**
- **拭取後は、必ずガラス面が完全に乾いていることを確認してから次の作業を行ってください。**



(4) ⑧フロントカメラの両面テープからはく離紙を剥がしてください。

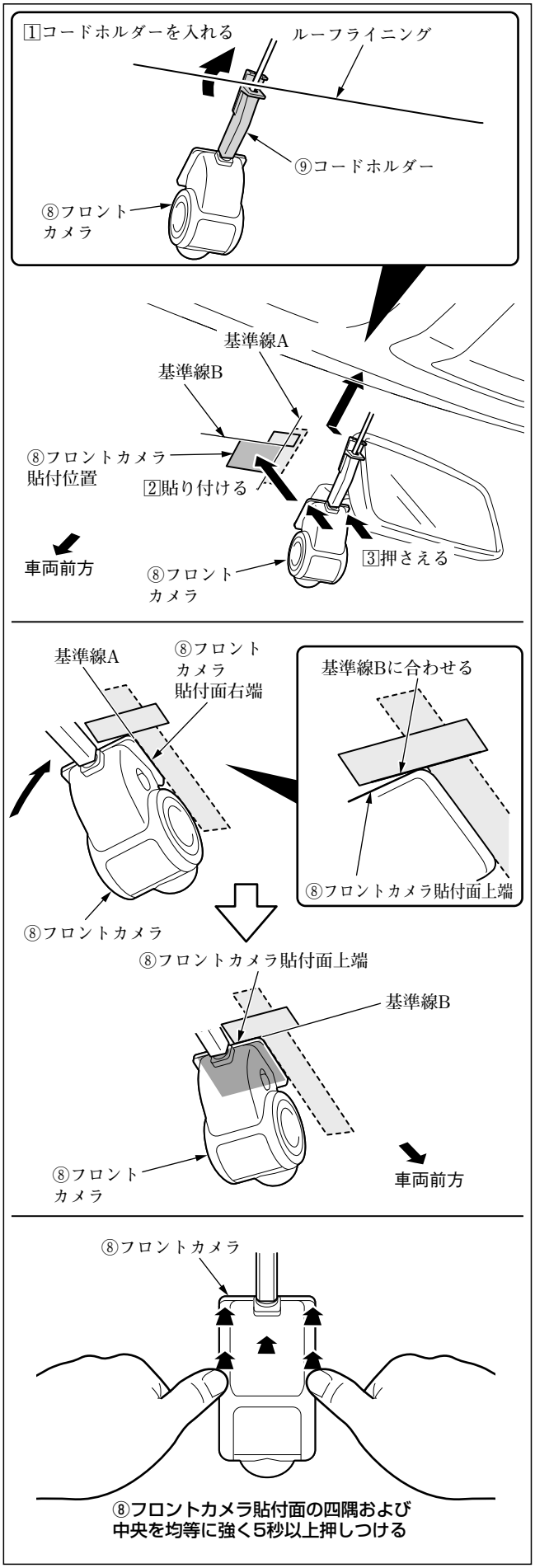
注 記

粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、両面テープの粘着面に手で触れたりしないでください。



注 記

- 作業環境（温度・湿気）に注意してください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼付作業を行ってください。
- 温度について
  貼付作業時の環境温度は、15℃以上が推奨です。気温が低い時期（気温15℃未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、ガラス面と十分な粘着力が得られない場合があります。
- 湿気について
  貼付部のガラス表面を乾燥させてください。室温に比べてガラス表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。
- ⑧フロントカメラを温めすぎると、破損する可能性がありますので、両面テープを温める際は、数秒だけドライヤー等で温めてください。
- 粘着力が弱まり、落下するおそれがありますので、⑧フロントカメラを貼り直したりしないでください。
- 貼付後、ガラスクリーナー等を用いて付近を清掃する場合は、必ず20分以上放置後に行ってください。十分な時間が経たずにガラスクリーナー等のスプレーや水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。
- 本機を車体から取り外す場合は、貼付面の四隅を持ってください。本体部や可動部を持って剥がそうとすると、本機が破損するおそれがあります。

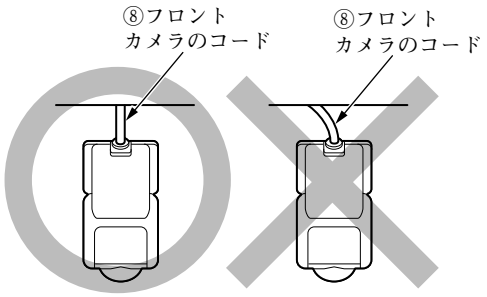


(5) ⑨コードホルダーをルーフライニングに収めてください。

(6) 基準線Aに⑧フロントカメラ貼付面の右端を合わせ、同時に基準線Bに⑧フロントカメラ貼付面の上端を合わせてフロントガラスに貼り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラ貼付用両面テープ部に水分が付着しないようにしてください。水分が付着した場合は、ドライヤー等で乾燥させてください。
- 貼り付ける際、貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 貼付時、フロントガラスと両面テープの間の空気（気泡）を抜くように、貼付面右端から左端へ徐々に貼り付けてください。
- 両面テープをしっかりと定着させるため、5秒以上⑧フロントカメラをフロントガラスに押しつけてください。
- 押しつける際、貼付面の四隅を押しつけるようにしてください。
- ⑧フロントカメラ貼付後、車両外側から見て両面テープの部分に気泡がないことを確認してください。
- ⑧フロントカメラ貼付時、⑧フロントカメラのコードをルーフライニングにまっすぐ引き込んでください。曲がっていると脱落の原因となります。



アドバイス

- ⑧フロントカメラ貼付後、貼付基準用のマーキングを剥がしてください。
- 運転席側に貼り付ける際は、基準線Aに⑧フロントカメラ貼付面の左端を合わせて貼り付けてください。

●配線のしかた

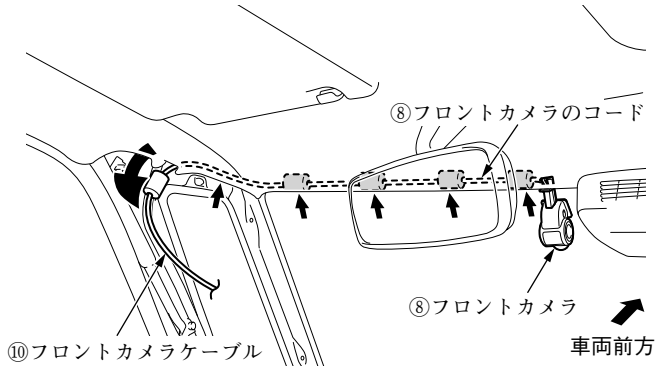
カットした⑫ハーネス固定テープや⑪バンドクランプを使用して、⑧フロントカメラのコード、⑩フロントカメラケーブルおよび⑦電源ケーブルを固定しながらナビゲーションユニットまで配線してください。

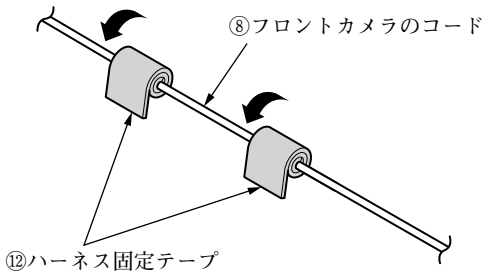
⚠警告

- **コード類は、運転を妨げないように引き回す**
  ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと交通事故の原因となります。
- **エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない**
  エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。作業に際しては、車両に付属のオーナーズマニュアルやサービスマニュアルに記載された注意事項を確認してから作業を行ってください。

注 記

- **ルーフライニングを変形させないように注意しながら、⑫ハーネス固定テープを巻いた⑧フロントカメラのコードをルーフライニングの隙間に押し込んでください。**

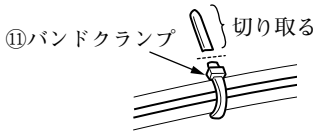




- **コードをドライバーなどの先のとがったもので押したりしないでください。コードが傷つき故障の原因となります。**
- **フロントピラーインナートリムを取り付けた際に⑧フロントカメラのコードおよび⑩フロントカメラケーブルをかみ込まない位置に配線してください。**

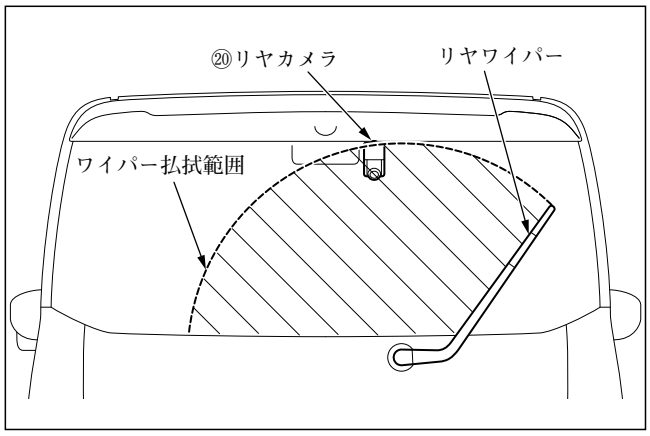
アドバイス

- ⑫ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。
- ルーフライニングが下げにくい場合は、リムーバー等を使用すると作業が容易に行えます。
- ⑬保護シートは、はさみ等で寸法通り切って使用してください。
- ⑬保護シートの寸法については、「車種別取付要領」を必ず参照してください。
- ⑪バンドクランプの余長部分は切り取ってください。
  以降の作業も同様に行ってください。



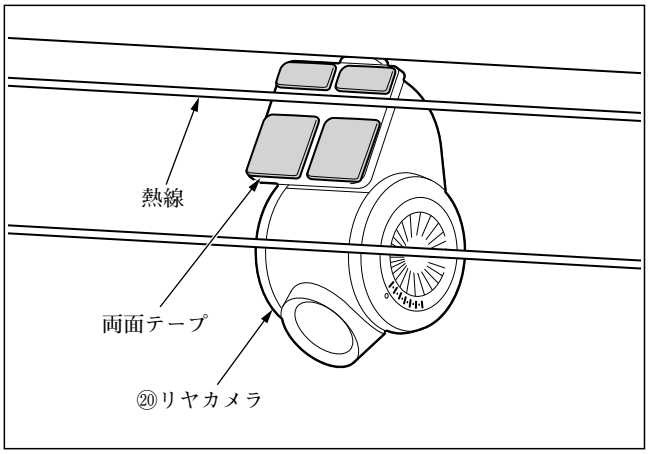
- ⑦電源ケーブルの3Pコネクター（オス）は、ナビゲーションの電源ハーネスの3Pコネクター（メス）に接続します。
- ETC2.0車載器と同時に装着する場合は、ETCを接続した後に、ETC2.0車載器の電源コードの3Pコネクター（メス）に⑦電源ケーブルの3Pコネクター（オス）を接続します。
- 3Pコネクター（オス）及び20Pコネクター（メス）の接続方法については、「接続のしかた」を必ず参照してください。

●リヤカメラの取付条件について



注 記

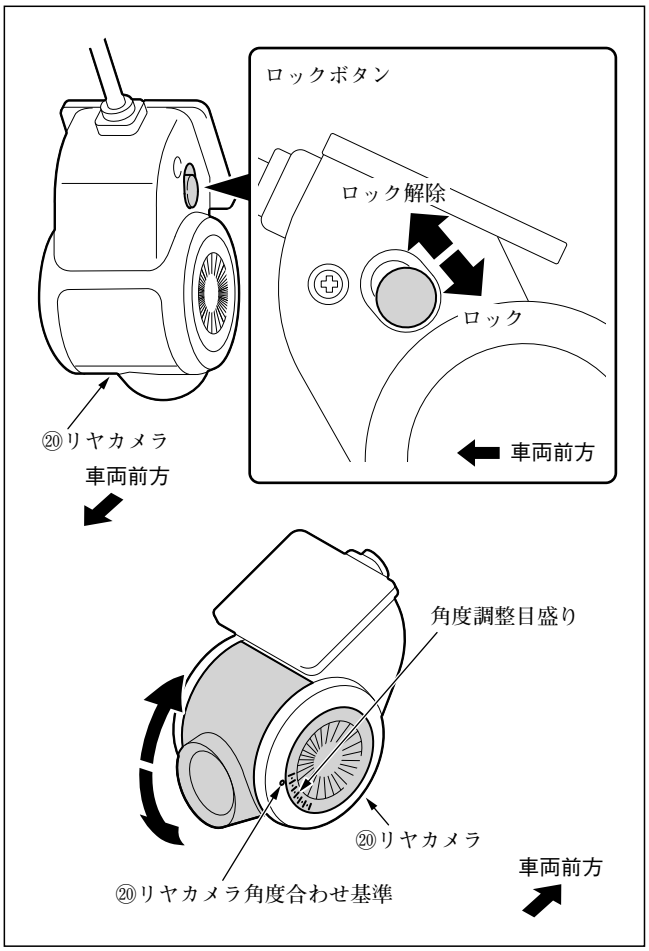
⑳リヤカメラの撮影範囲がワイパー払拭範囲内にあることを確認してください。ワイパーの払拭範囲から外れた位置にあると雨天時など鮮明な映像が記録されないおそれがあります。



注 記

⑳リヤカメラの両面テープがリヤガラスの熱線に触れないように取り付けてください。

● リヤカメラ取付前の準備



(1) ⑳リヤカメラ左側のロックボタンをスライドしてロックを解除してください。

(2) ⑳リヤカメラ右側の角度調整目盛りと⑳リヤカメラ角度合わせ基準を合わせてください。

(3) ロックボタンをスライドしてロックしてください。

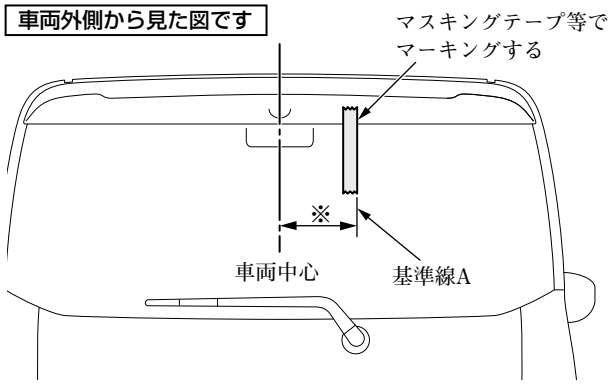
注 記

- **しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。**
- **⑳リヤカメラ画像に必要な情報が記録されないおそれがあるため、「車種別取付要領」で指定されている位置に確実に調整してください。**

アドバイス

調整位置は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。

●リヤカメラの取付方法

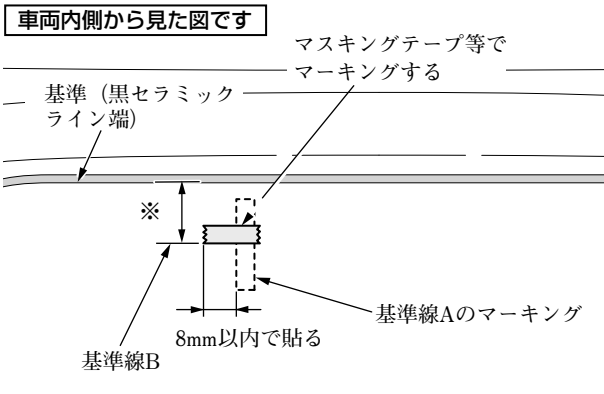


※貼付位置寸法は「車種別取付要領」を参照

(1) 車両外側からマスキングテープ等で⑳リヤカメラの貼付用基準線Aをマーキングしてください。

アドバイス

- 図は、車両外側から見た図を示しています。
- 貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。
- マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の外側が基準線Aになるようにしてください。
- 貼付用基準線Aのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して垂直に貼られていることを車両外側から確認してください。



※貼付位置寸法は「車種別取付要領」を参照

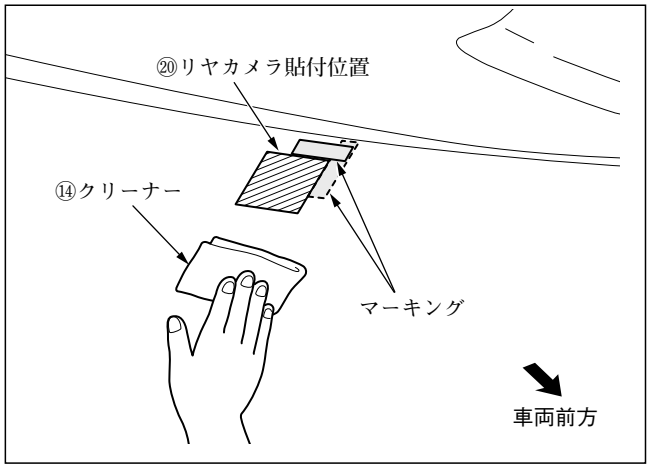
(2) 車両内側からマスキングテープ等で⑳リヤカメラの貼付用基準線Bをマーキングしてください。

注記

基準線Aのマーキングより8mm以内に基準線Bのマーキングをしてください。8mm以上マーキングを行うと⑳リヤカメラ貼付後、基準線Bのマーキングが外せなくなるおそれがあります。

アドバイス

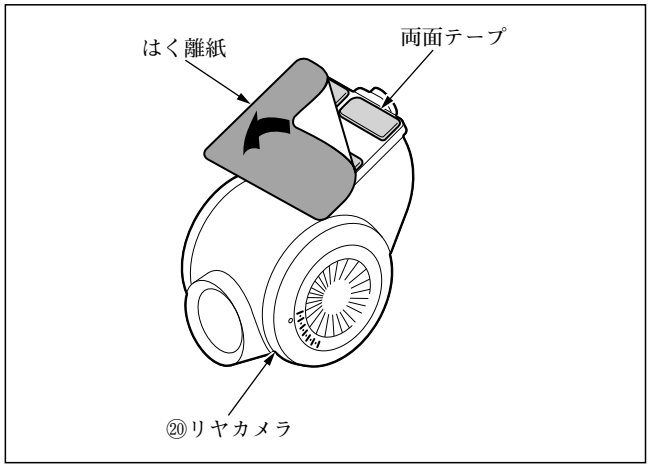
- 図は、車両内側から見た図を示しています。
- 貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。
- マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の下側が基準線Bになるようにしてください。
- 貼付用基準線Bのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して水平に貼られていることを車両外側から確認してください。



(3) ⑳リヤカメラ貼付位置のよごれ、油分を同梱の⑭クリーナーで拭き取ってください。

注記

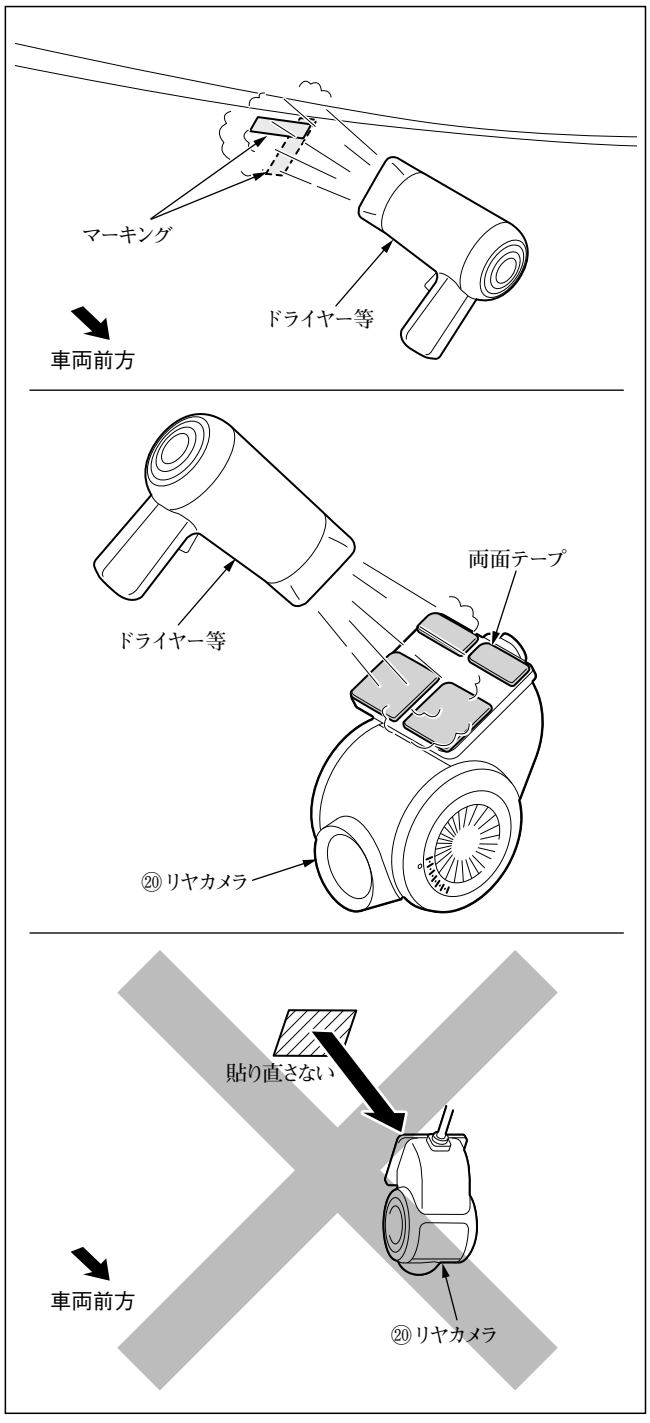
- 必ず同梱の⑭クリーナーを使用してください。同梱の⑭クリーナー以外を使用した場合、含まれる成分によっては⑳リヤカメラが貼り付かなくなるおそれがあります。
- 拭取後は、必ずガラス面が完全に乾いていることを確認してから次の作業を行ってください。



(4) ⑳リヤカメラの両面テープからはく離紙を剥がしてください。

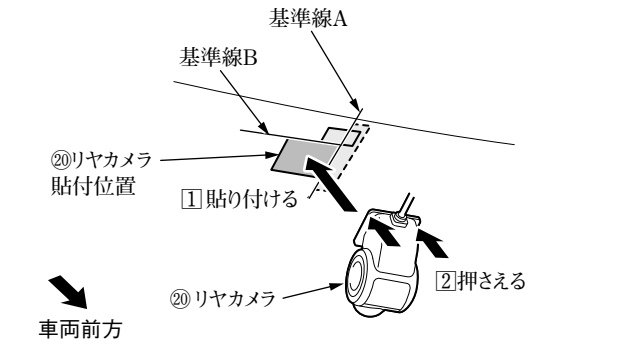
注 記

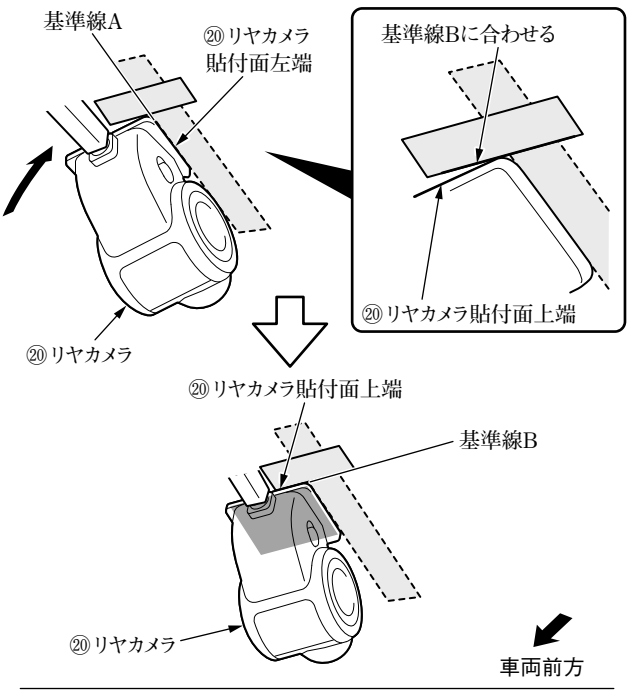
粘着力が落ち⑳リヤカメラが落下するおそれがありますので、両面テープの粘着面に手で触れたりしないでください。

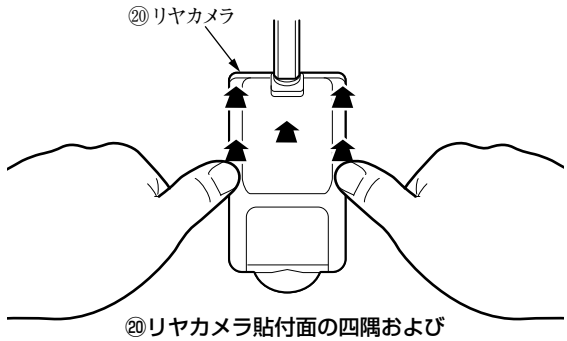


注 記

- 作業環境（温度・湿度）に注意してください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でガラス面と⑳リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼付作業を行ってください。
- 温度について
  貼付作業時の環境温度は、15℃以上が推奨です。気温が低い時期（気温15℃未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、ガラス面と十分な粘着力が得られない場合があります。
- 湿気について
  貼付部のガラス表面を乾燥させてください。室温に比べてガラス表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。
- ⑳リヤカメラを温めすぎると、破損する可能性がありますので、両面テープを温める際は、数秒だけドライヤー等で温めてください。
- 粘着力が弱まり、落下するおそれがありますので、⑳リヤカメラを貼り直したりしないでください。
- 貼付後、ガラスクリーナー等を用いて付近を清掃する場合は、必ず20 分以上放置後に行ってください。十分な時間が経たずにガラスクリーナー等のスプレーや水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。
- 本機を車体から取り外す場合は、貼付面の四隅を持ってください。本体部や可動部を持って剥がそうとすると、本機が破損するおそれがあります。







⑳リヤカメラ貼付面の四隅および
中央を均等に強く5秒以上押しつける

(5) 基準線Aに⑳リヤカメラ貼付面の左端を合わせ、同時に基準線Bに⑳リヤカメラ貼付面の上端を合わせてリヤガラスに貼り付けてください。

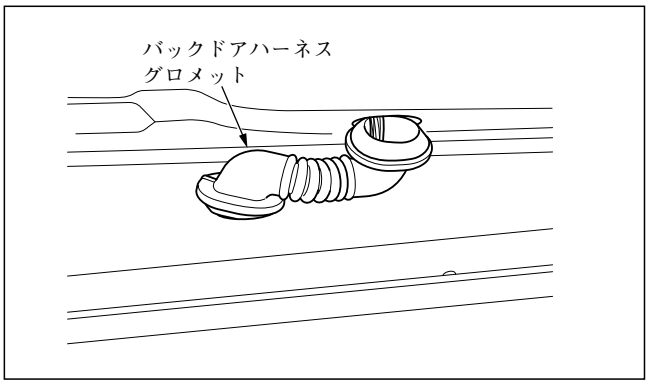
注記

- ⑳リヤカメラ貼付用両面テープ部に水分が付着しないようにしてください。水分が付着した場合は、ドライヤー等で乾燥させてください。
- 貼り付ける際、貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 貼付時､リヤガラスと両面テープの間の空気（気泡）を抜くように、貼付面右端から左端へ徐々に貼り付けてください。
- 両面テープをしっかりと定着させるため、5秒以上⑳リヤカメラをリヤガラスに押しつけてください。
- 押しつける際、貼付面の四隅および中央を押しつけるようにしてください。
- ⑳リヤカメラ貼付後、車両外側から見て両面テープの部分に気泡がないことを確認してください。

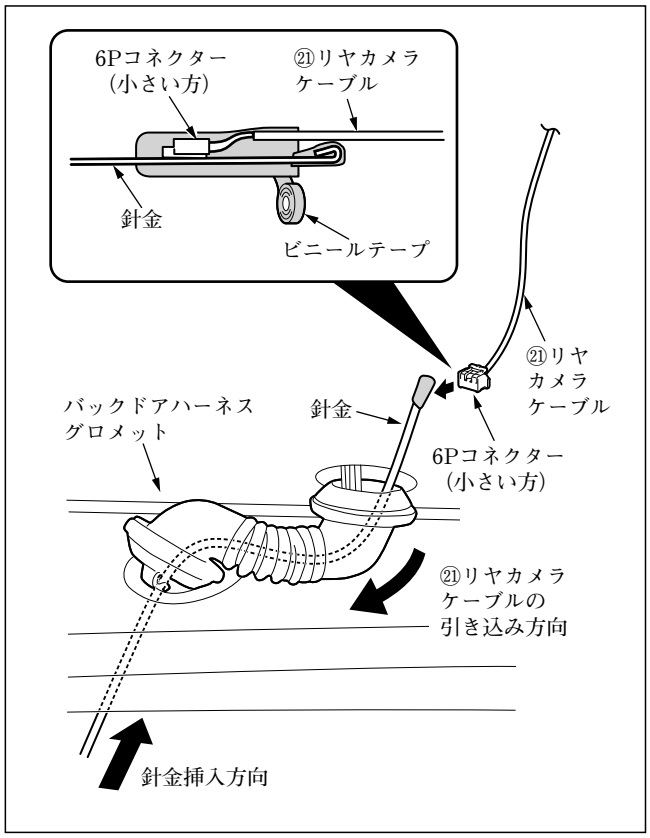
アドバイス

- ⑳リヤカメラ貼付後、貼付基準用のマーキングを剥がしてください。
- 助手席側に貼り付ける際は、基準線Aに⑳リヤカメラ貼付面の右端を合わせて貼り付けてください。

●リヤカメラケーブル配線（バックドア内）



(1) 車両バックドアハーネスグロメットのかん合を外してください。



(2) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングしてください。

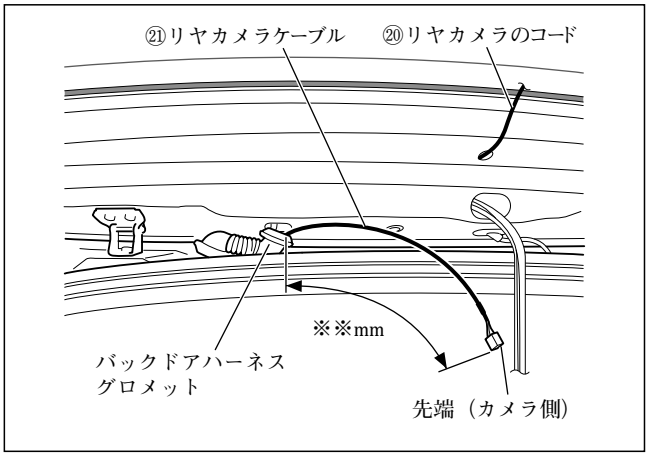
(3) 先端をテーピングした針金を、バックドアハーネスグロメットの室内側からバックドア側に通してください。

(4) ㉑リヤカメラケーブルの6P コネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。

(5) 針金を室内側に引き戻し、㉑リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

- **車両バックドアハーネスおよび㉑リヤカメラケーブルの破損防止のため、㉑リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。**
- **㉑リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、テーピングの上から中性洗剤等を塗布してコネクターがバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤が掛からないようにしっかりテーピングしてください。**

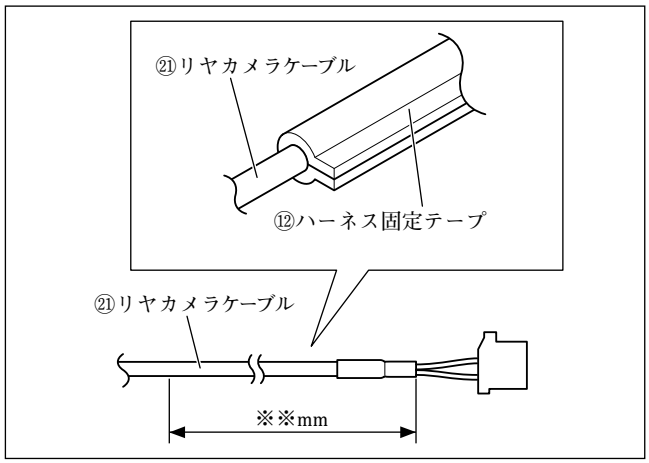


(6) ㉑リヤカメラケーブルを車室内側に引き込んでください。

(7) バックドアハーネスグロメットから㉑リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは図示寸法を確保してください。

アドバイス

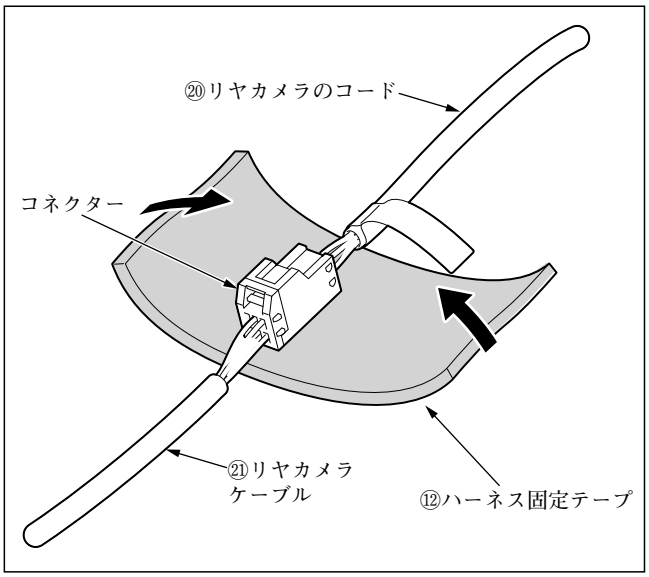
バックドアハーネスグロメットから㉑リヤカメラケーブルのカメラ側先端までの寸法は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。



(8) 異音防止のため、⑫ハーネス固定テープをカメラ側の㉑リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

アドバイス

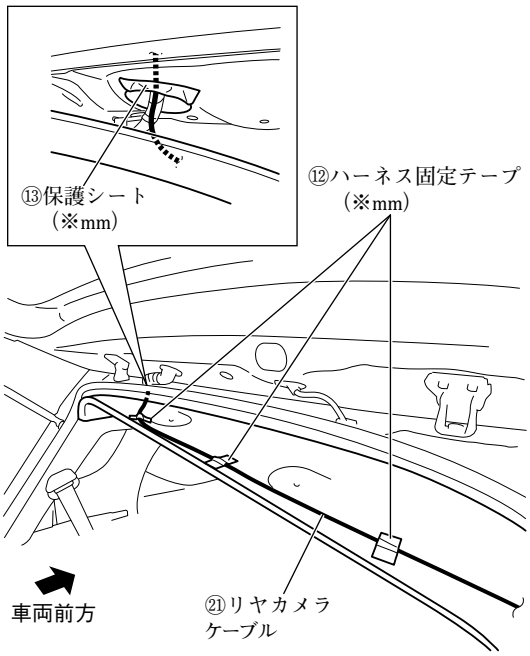
㉑リヤカメラケーブルの固定箇所・方法は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。



(9) ⑳リヤカメラのコードと㉑リヤカメラケーブルのコネクターを接続してください。

(10) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。

バックドア開口部左



(11) 車両バックドアハーネスグロメットを復元してください。

注記

水漏れの原因となるため、車両バックドアハーネスグロメットは確実に復元してください。

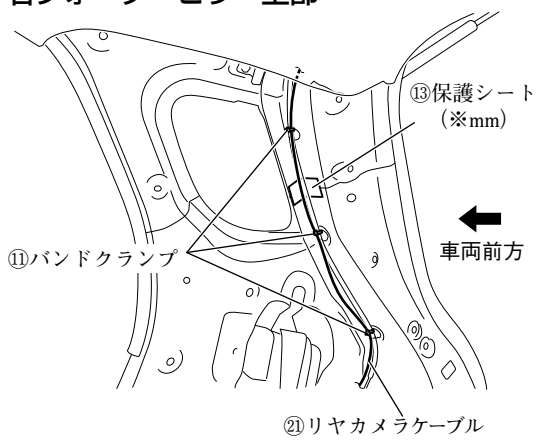
(12) ㉑リヤカメラケーブルを⑫ハーネス固定テープでルーフライニングに固定しながら配線してください。

注記

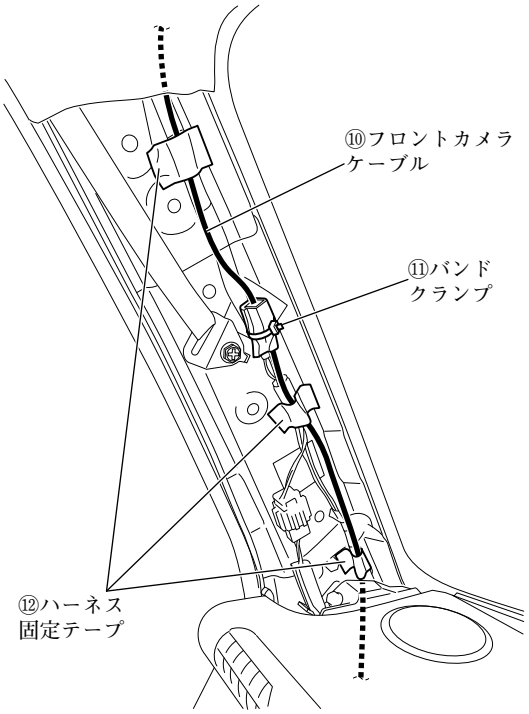
- **ルーフライニングにしわや折れが出ないように注意して作業してください。**
- **経路上に車両エッジがある場合は、⑬保護シートを貼ってください。**
- **貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。**

●各ケーブルの配線方法

右クォーターピラー上部



左フロントピラー部



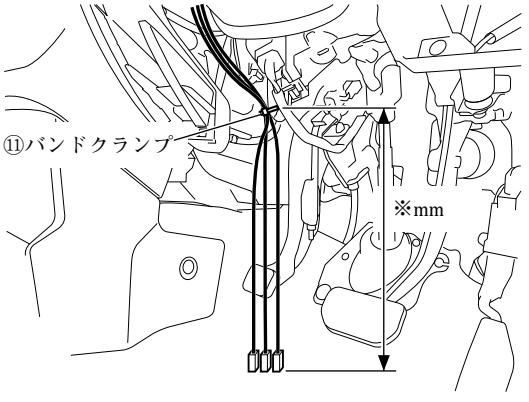
(1) 各ケーブルを⑪バンドクランプおよび⑫ハーネス固定テープで固定しながら①ドライブレコーダー本体取付部付近まで配線してください。

注記

- 経路上に車両エッジがある場合は、⑬保護シートを貼ってください。
- 貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- ①ドライブレコーダー本体取付部については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。

アドバイス

- ケーブルの配線については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。
- ⑫ハーネス固定テープおよび⑬保護シートは、はさみ等で切って使用してください。
- ⑬保護シートの寸法については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。
- ⑪バンドクランプの余長部分は切り取ってください。
- 以降の作業も同様に行ってください。

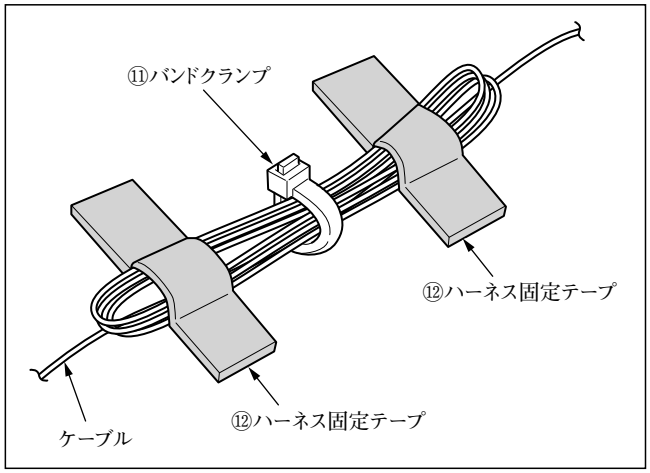


(2) 図に従い、各ケーブルを車両クランプから※mm確保し、⑪バンドクランプで車両ハーネスに固定してください。

(3) 各ケーブルを⑪バンドクランプで車両ハーネスに固定してください。

アドバイス

①ドライブレコーダー本体取付部については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。

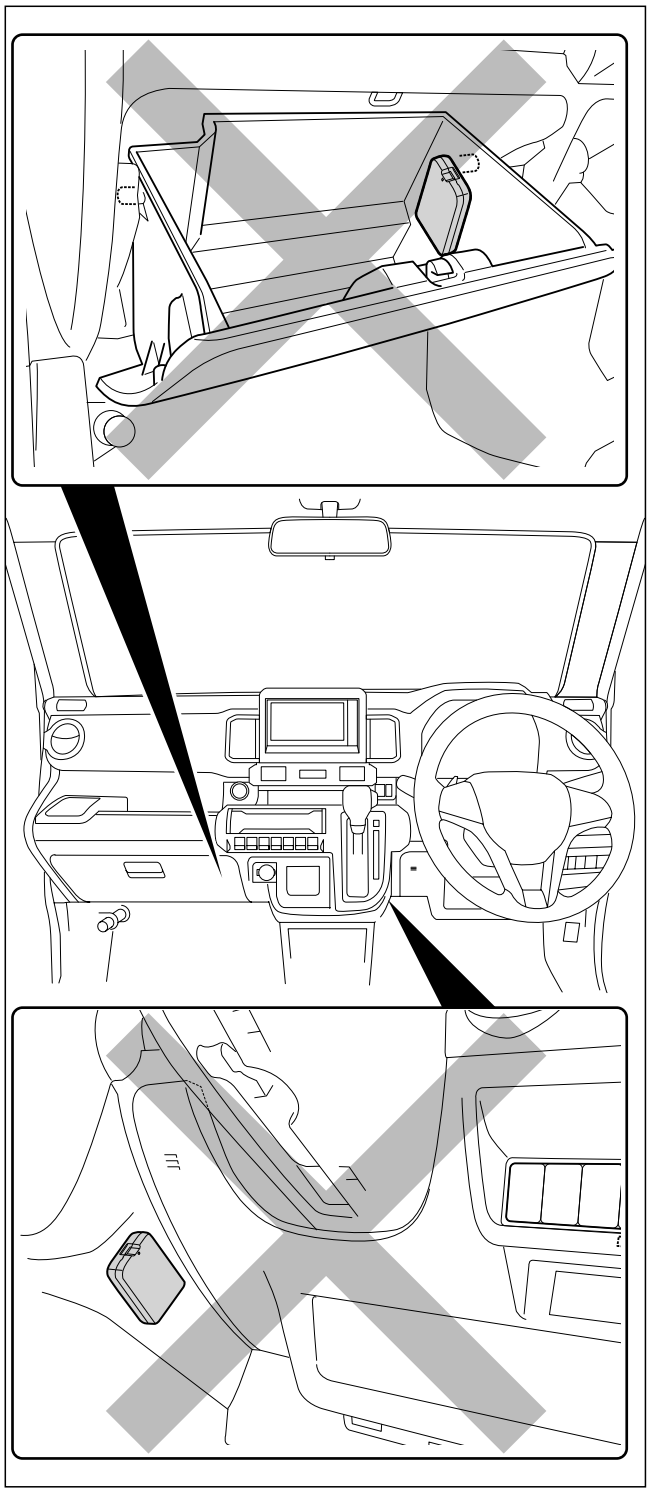


(4) 各ケーブルの余長は、「車種別取付要領」の指示に従い、⑪バンドクランプおよび⑫ハーネス固定テープで束ねて固定してください。

アドバイス

余長固定位置および固定方法については、「車種別取付要領」を必ず参照してください。

● ドライブレコーダー本体の取付条件について



注 記

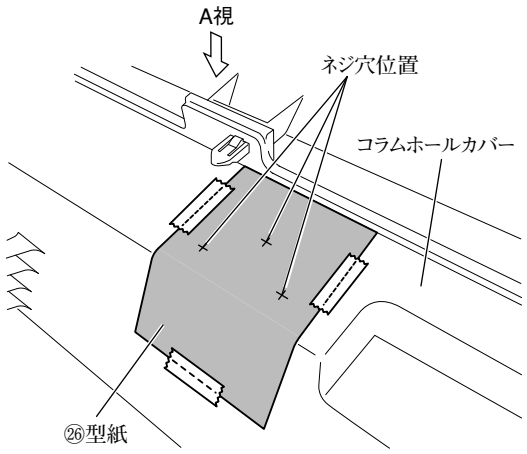
グローブボックス等の可動するような場所に①ドライブレコーダー本体を取り付けしないでください。衝撃を正しく検知できず、誤って作動したり衝撃があっても作動しないことがあります。

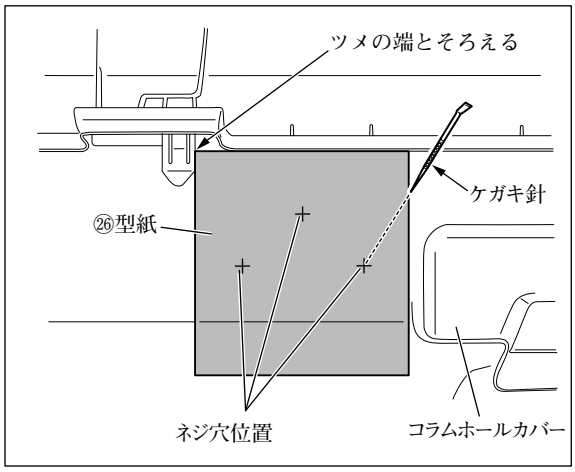
注 記

運転席の足元付近など、搭乗者が容易に触れてしまうような場所に①ドライブレコーダー本体を取付しないでください。長時間、身体に触れていると低温やけどをおこすおそれがあります。

●車両部品の加工方法

■同梱部品の車両側ブラケットを使用しない場合

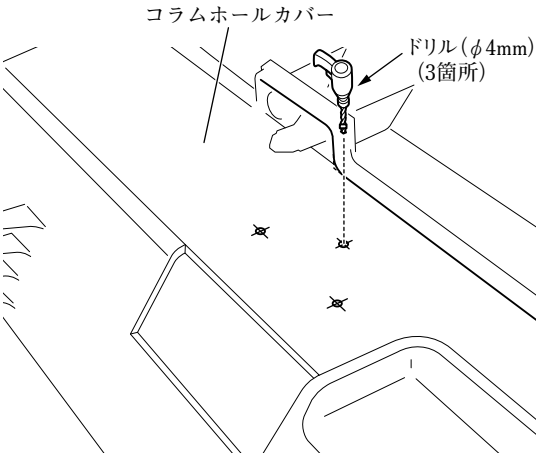


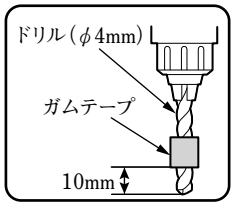


(1) ㉖型紙を当て、ケガキ針を使用してマーキング（3箇所）してください。

アドバイス

マーキングについては、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。





(2) ㉖型紙を外し、車両部品傷付き防止のため、電動ドリル（φ4mm）先端から約10mm の位置にストッパーとなるようにガムテープを巻き付けてください。

(3) マーキング（3箇所）に電動ドリルでφ4mmの穴を開けてください。

⚠注意

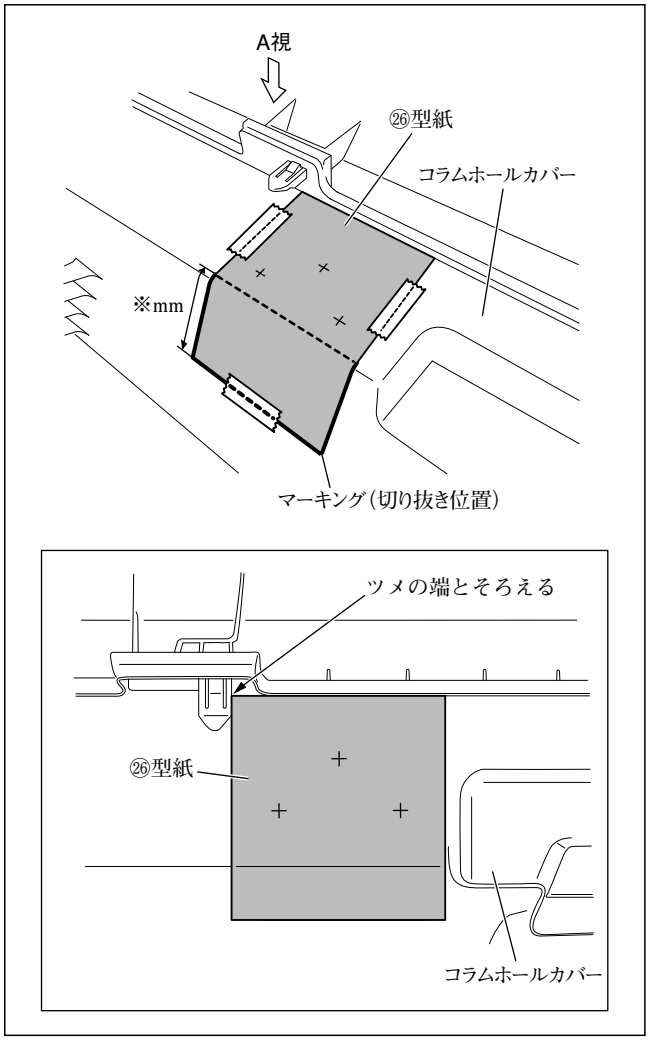
- **ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。**
- **巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。**

注 記

ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(4) 取付穴のバリ・エッジをヤスリで取り除いてください。

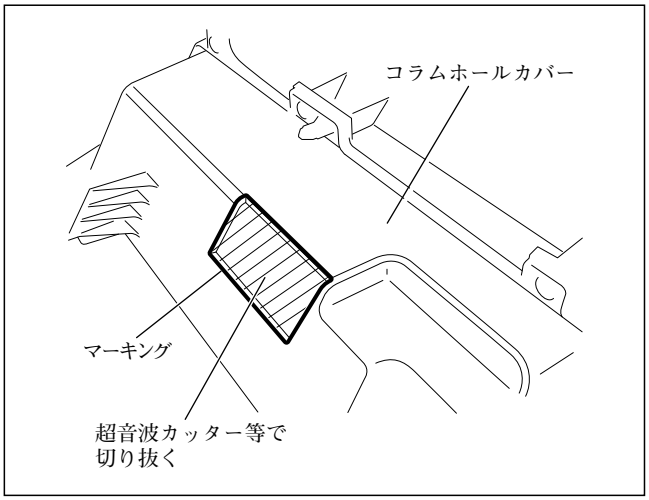
■ドライブレコーダー本体を通す穴を加工する場合



(1) 図に従い、油性ペン等を使用してマーキングしてください。

アドバイス

- **㉖型紙を使用する場合は、ネジ穴のマーキングと一緒に①ドライブレコーダー本体を通す穴のマーキングをしてください。（一度㉖型紙を当てたら両方のマーキングが終わるまで㉖型紙を外さないでください。）**
- **マーキングについては、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。**



(2) マーキング位置の内側に沿って超音波カッター等で穴を開けてください。

注意

切り取る際は、ケブラー手袋を使用してください。

(3) 取付穴のバリ・エッジをヤスリで取り除いてください。

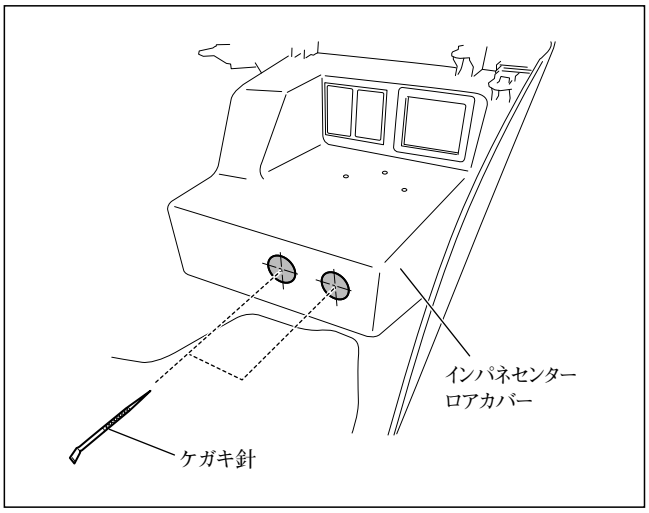
注 記

穴を開けたら①ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。干渉している場合は、コラムホールカバーを削り過ぎに注意しながら削り、調整してください。

アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。（切断部が「ザラザラ」しないようにしてください。）

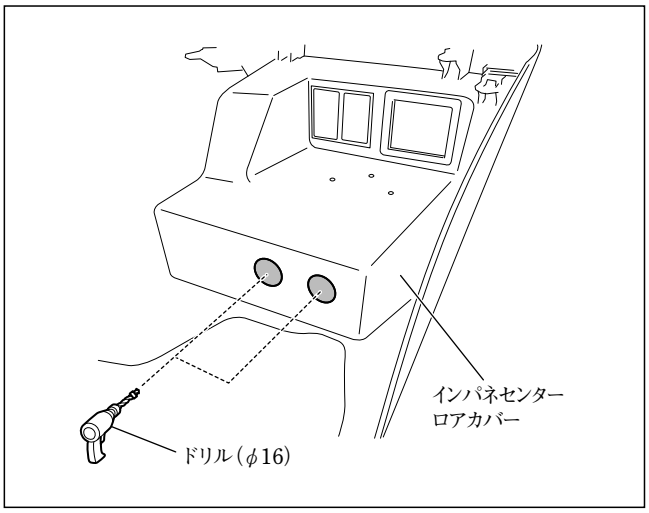
■配線を通す穴を加工する場合



(1) 図に従い、ケガキ針を使用してマーキングしてください。

アドバイス

マーキングについては、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。



(2) マーキングに電動ドリルでφ16mmの穴を開けてください。

⚠注意

- **ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。**
- **巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。**

注 記

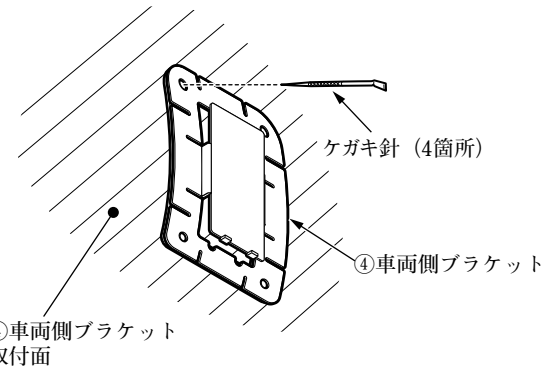
ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(3) 取付穴のバリ・エッジをヤスリで取り除いてください。

■同梱部品の車両側ブラケットを使用する場合

アドバイス

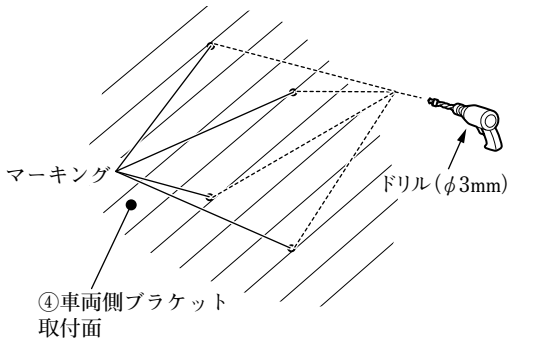
④車両側ブラケットは、①ドライブレコーダー本体取付部が曲面の場合に、車両部品と②本体ブラケット間に取り付けます。

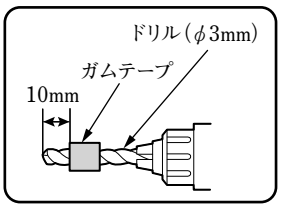


(1) 図に従い、④車両側ブラケットを当て、ケガキ針を使用してマーキング（4箇所）してください。

アドバイス

マーキングについては、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。





(2) 図に従い、車両部品傷付き防止のため、電動ドリル（φ3mm）先端から約10mm の位置にストッパーとなるようにガムテープを巻き付けてください。

(3) マーキング（4箇所）に電動ドリルでφ3mm の穴を開けてください。

⚠注意

- **ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。**
- **巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。**

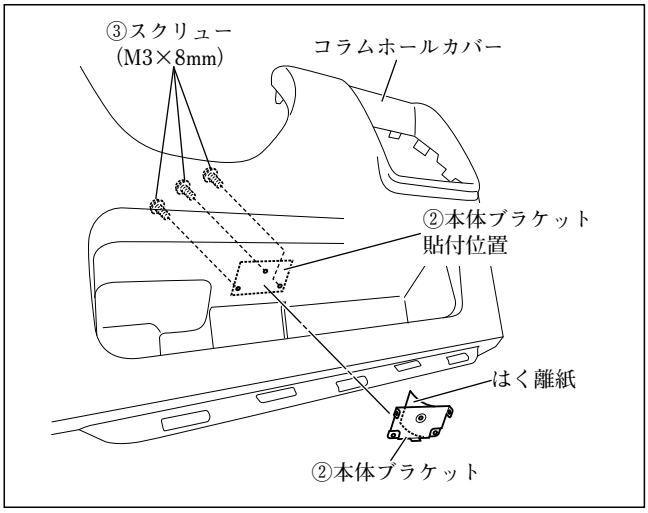
注 記

ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(4) 取付穴のバリ・エッジをヤスリで取り除いてください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

■同梱部品の車両側ブラケットを使用しない場合



アドバイス

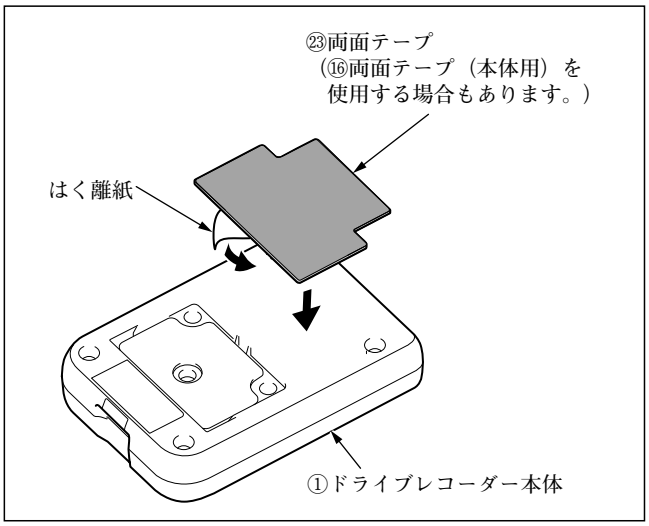
貼付位置が平面の場合は、④車両側ブラケットを使用しません。

(1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがし、穴の位置が合うように貼り付けてください。

注 記

貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分に拭き取ってください。

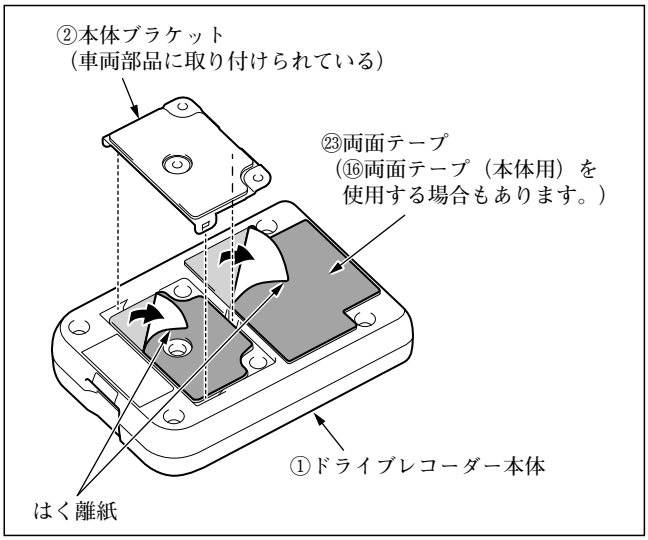
(2) ③スクリュー（M3×8mm）で②本体ブラケットを固定してください。



(3) ㉓両面テープや⑯両面テープ（本体用）を①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

アドバイス

㉓両面テープや⑯両面テープ（本体用）を加工する場合があります。車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。



(4) ①ドライブレコーダー本体と㉓両面テープおよび⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。

(5) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付けてください。

注 記

- **貼付位置（車両部品）表面のよごれ、水分、油分を十分に拭き取ってください。**
- **①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。**

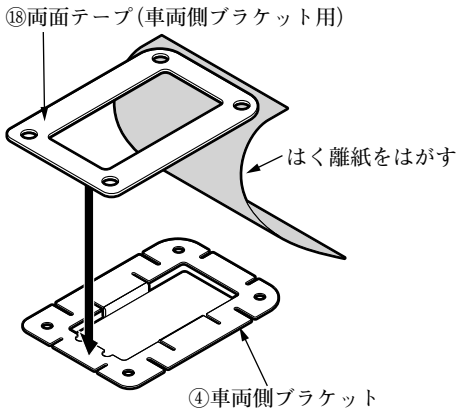
アドバイス

車種によっては、㉓両面テープや⑯両面テープ（本体用）の形状が図と異なりますが、同様にはく離紙をはがしてください。

■同梱部品の車両側ブラケットを使用する場合

アドバイス

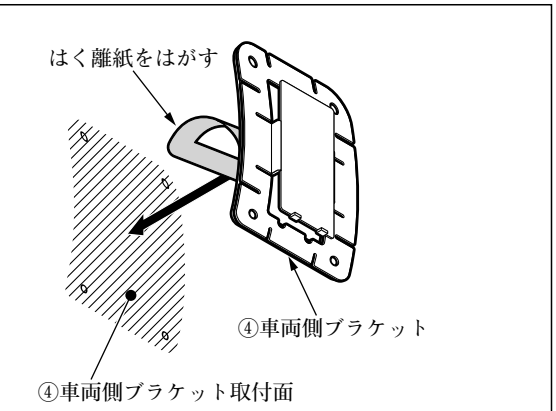
④車両側ブラケットは、①ドライブレコーダー本体取付部が曲面の場合に、車両部品と②本体ブラケット間に取り付けます。



アドバイス

④車両側ブラケットは、貼付位置が平面でない場合に使用します。

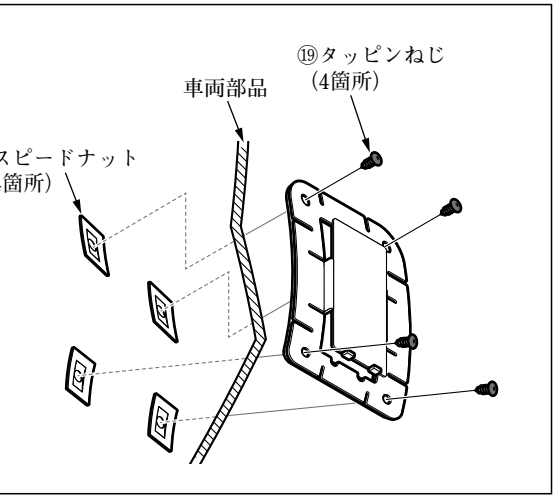
(1) ⑱両面テープ（車両側ブラケット用）を④車両側ブラケットに貼り付けてください。



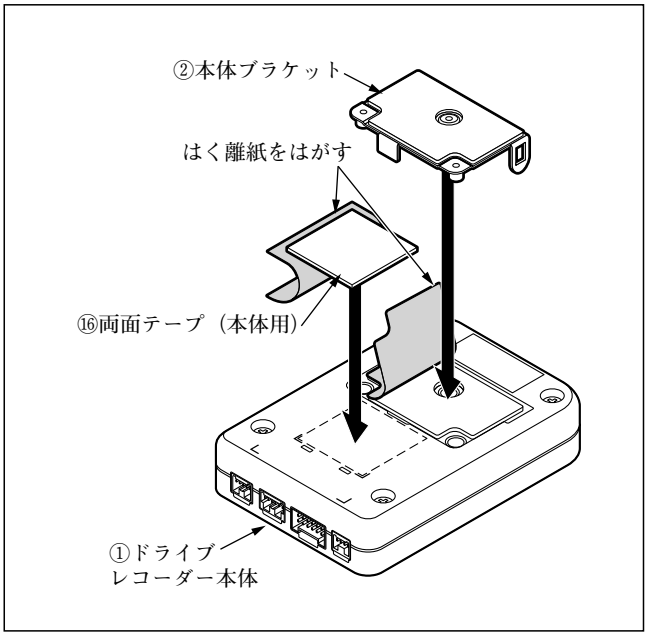
(2) ④車両側ブラケットのはく離紙をはがし、穴の位置が合うように貼り付けてください。

注 記

- **貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。**
- **取付穴位置がずれないように貼り付けてください。**
- **取り付ける位置が平面でない場合は、形状に合わせて④車両側ブラケットを変形させてください。**
- **④車両側ブラケットの向きを間違えないよう注意してください。**



(3) ㉕スピードナットおよび⑲タッピンねじで、④車両側ブラケットを固定してください。

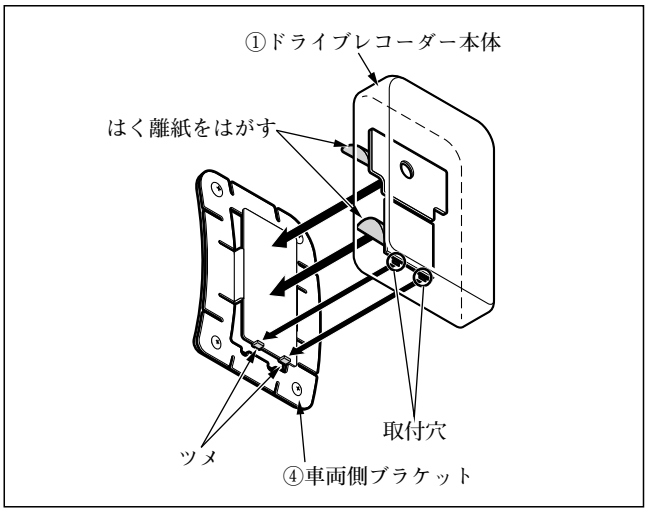


(4) ①ドライブレコーダー本体と⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。

(5) ②本体ブラケットと⑯両面テープ（本体用）を①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注 記

- **貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。**
- **①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。**



(6) ①ドライブレコーダー本体に貼り付けた②本体ブラケットと⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。

(7) ①ドライブレコーダー本体の取付穴を④車両側ブラケットのツメにはめ込んでください。

注 記

貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。

車両部品の復元

(1) 車両部品は取り外しと逆の手順にて確実に取り付けてください。ボルト等の締め付けは、サービスマニュアルを参照して規定の締付トルクで行ってください。

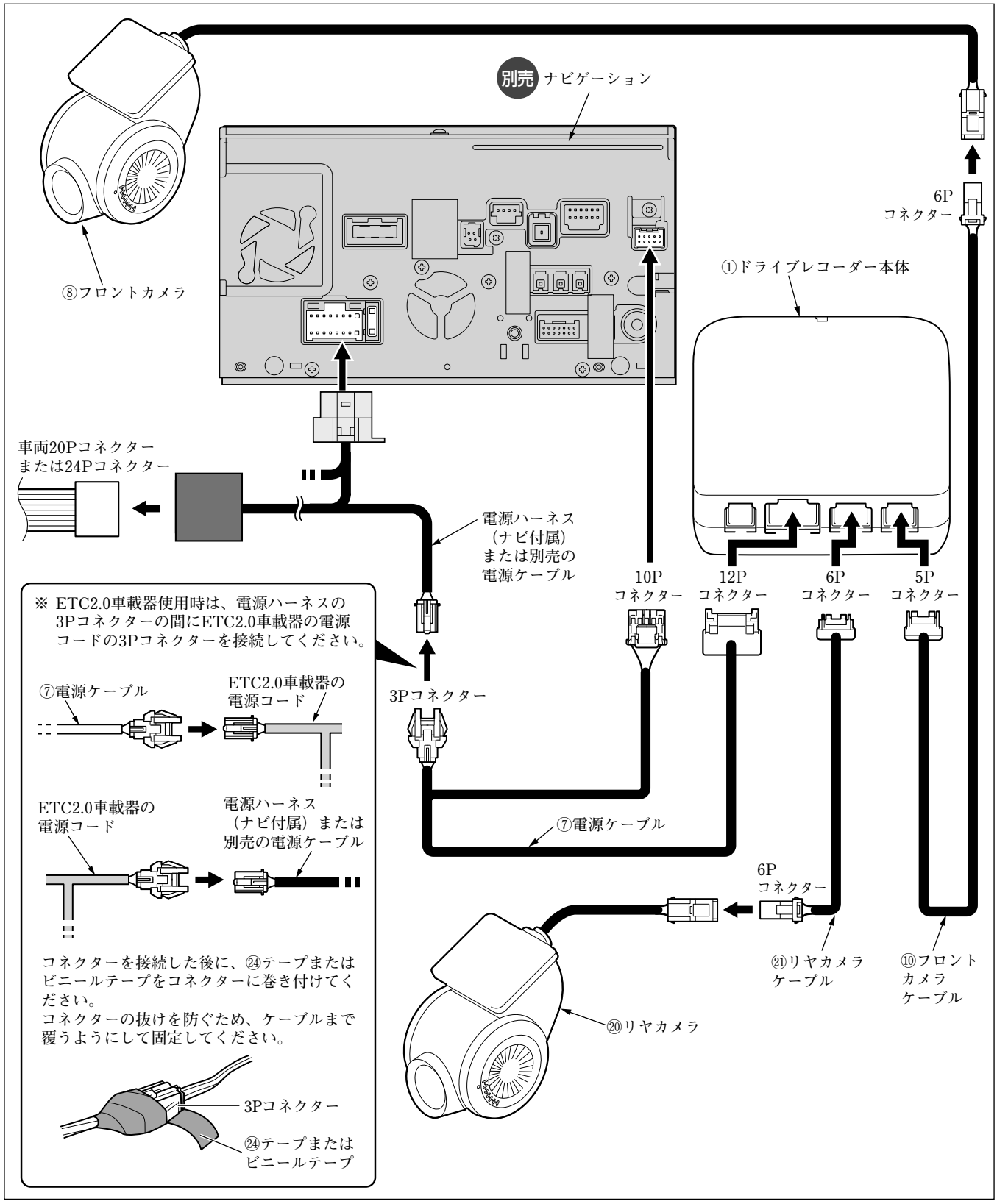
(2) バッテリーの㊀側端子を取り付けてください。

(3) バッテリーを外すことにより初期設定に戻るもの、また、データの消えるものは再度、設定してください。

既設部品の点検

ホーン、ワイパー等の電装品が正しく動作するか確認してください。

接続のしかた



アドバイス

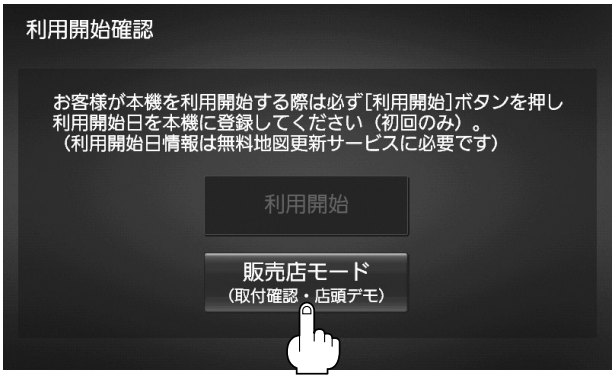
最新の接続対応機種については、下記サイトをご覧ください。

https://panasonic.jp/car/navi/genuine/

取付・配線の確認

注 記

- 配線が正しく接続されたか、目で確認してから以降の作業を行ってください。
- 取付後の作動確認時、「初期画面」では、絶対に電源（キースイッチ）を切ったり、その他のボタン操作をしないでください。
- 電源（キースイッチ）を切ったり、ボタン操作をすると正常に作動しない場合があります。



(1) バッテリーの㊀端子を接続し、電源（キースイッチ）を入れます。
- ナビゲーションの電源が入ります。

(2) 画面の**販売店モード**をタッチします。
- 安全上のご注意が表示されます。

アドバイス

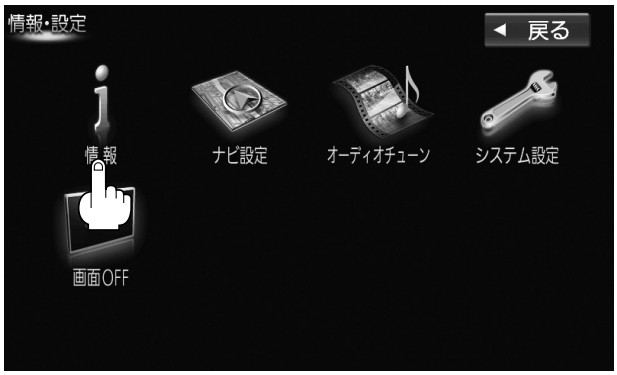
利用開始は、お客様にお渡しする際にタッチしてください。その後は、この画面は表示されません。

- 安全上のご注意表示後に現在地画面（自車位置）が表示されます。
- 現在地画面が表示されるまで車を発進させないでください。（システムの起動準備中のため）

(3) ナビゲーションの**MENU**ボタンを押します。
- メニュー画面が表示されます。



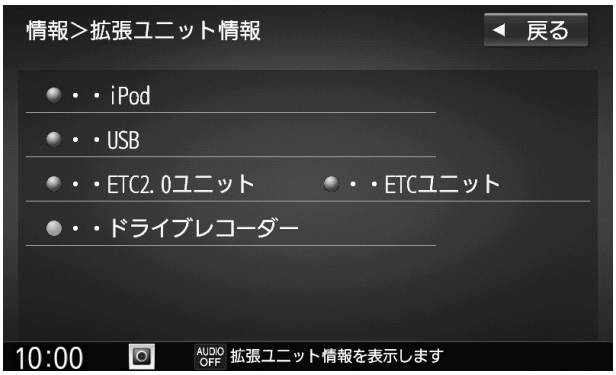
(4) 画面の**情報・設定**をタッチします。
- 情報・設定画面が表示されます。



(5) 画面の**情報**をタッチします。
- 情報画面が表示されます。



(6) 画面の**拡張ユニット情報**をタッチします。
- 拡張ユニット情報画面が表示されます。



(7) 拡張ユニット情報を確認します。

ドライブレコーダー	ON 表示（オレンジ色に点灯）になっていますか？

作動確認・取付調整・カードの初期化

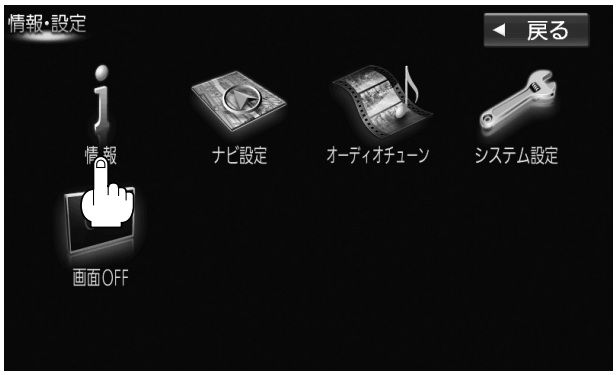
注 記

ドライブレコーダーの取り付けを行った後、または再度取り付け角度を変更した場合もこの調整を実施してください。取付調整が正しく行われていない場合は、ブザーが鳴り続ける場合があります。ブザーが鳴り続ける場合には、再度取付調整を実施してください。



(1) ナビゲーションの**MENU**ボタンを押します。
- メニュー画面が表示されます。

(2) 画面の**情報・設定**をタッチします。
- 情報・設定画面が表示されます。



(3) 画面の**情報**をタッチします。
- 情報画面が表示されます。

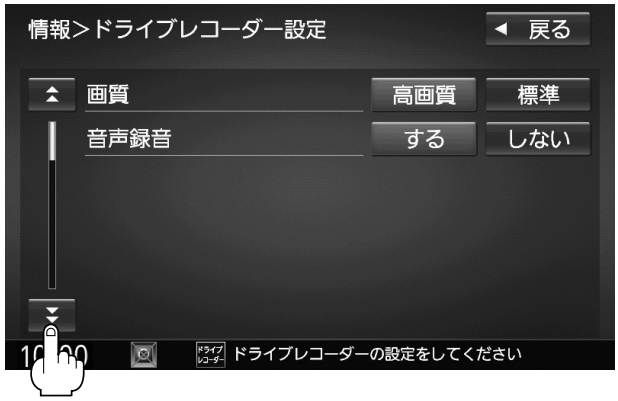


(4) 画面の**ドライブレコーダー**をタッチします。
- ドライブレコーダー画面が表示されます。

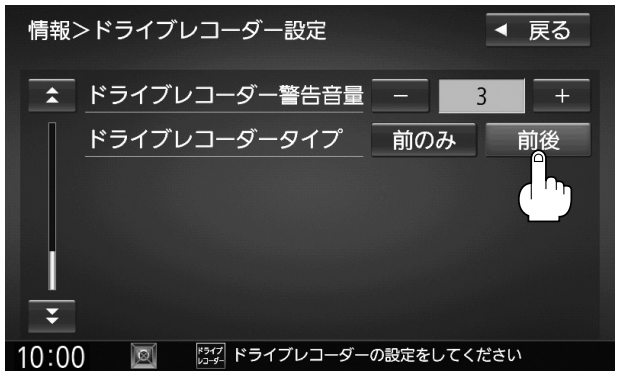
● ドライブレコーダータイプの選択



(1) 画面の**設定**をタッチします。
- ドライブレコーダー設定画面が表示されます。



(2) 画面の⏬をタッチしてドライブレコーダータイプを表示させます。



(3) **前後**をタッチします。
- タッチしたドライブレコーダータイプが選択されます。

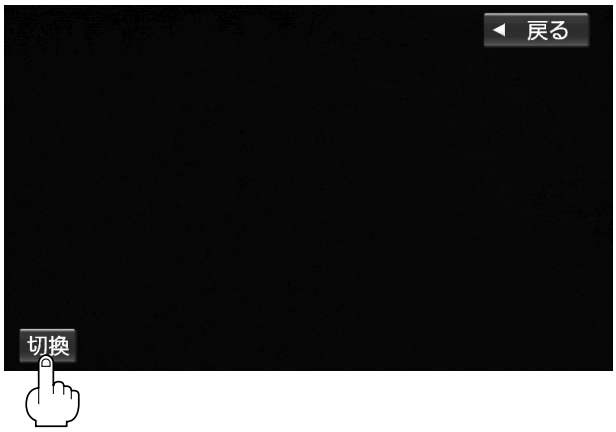
注 記

ナビは初期設定では前のみが設定されています。

● ドライブレコーダーの作動確認



(1) 画面の**カメラモニター**をタッチします。
- ドライブレコーダーの画像（前方映像）が表示されます。

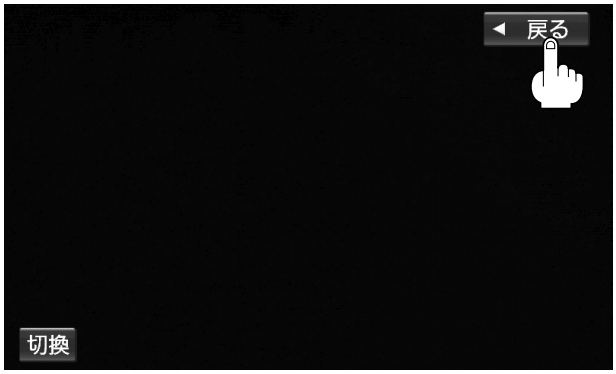


(2) ドライブレコーダーの画像（前方映像）を確認します。

(3) 画面の**切替**をタッチします。（**前後**タイプ選択時のみ）
- ドライブレコーダーの画像（後方映像）が表示されます。

アドバイス

画面の切替は、前後タイプ選択時のみ表示されます。



(4) ドライブレコーダーの画像（後方映像）を確認します。（**前後**タイプ選択時のみ）

(5) 画面の**◀戻る**をタッチします。

●取付調整

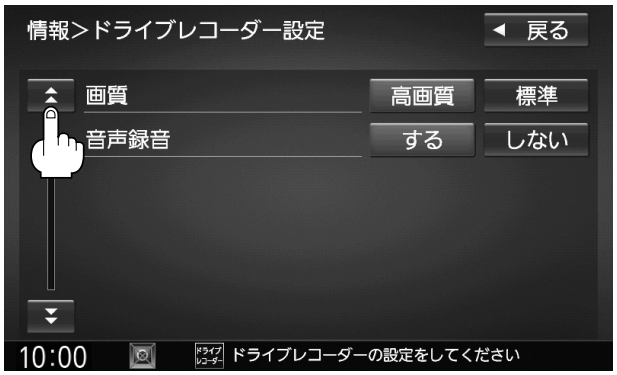


注 記

取付調整は、平らな場所に停車している状態で実施してください。

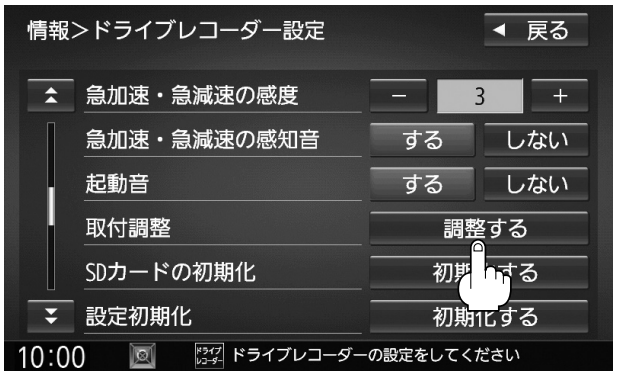
(1) 画面の**設定**をタッチします。

- ドライブレコーダー設定画面が表示されます。



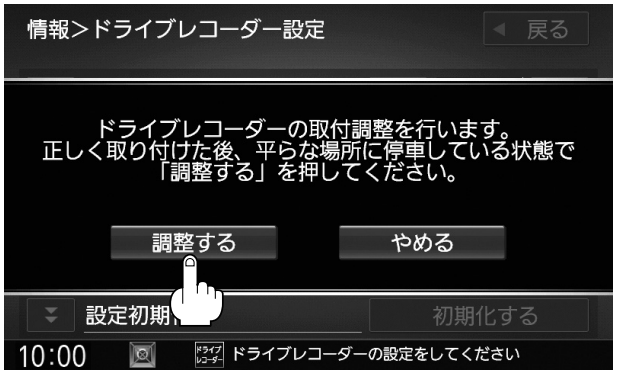
(2) 画面の▲▲をタッチします。

- 最下部のドライブレコーダー設定項目が表示されます。



(3) 取付調整の**調整する**をタッチします。

- 確認画面が表示されます。

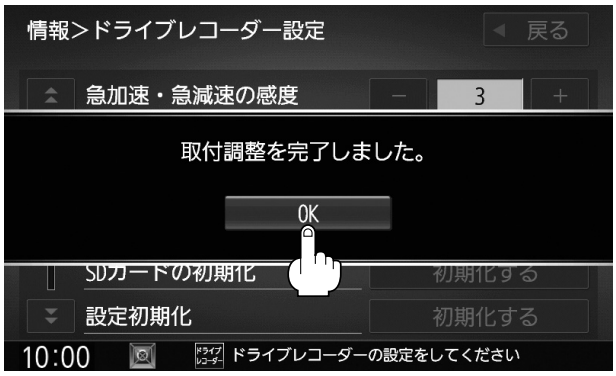


(4) 画面の**調整する**をタッチします。

- 自動的にドライブレコーダーの加速度センサーを最適化します。

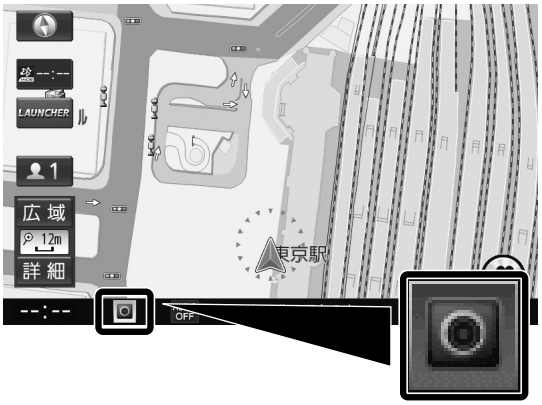
注 記

調整中はキースイッチをOFFにしないでください。

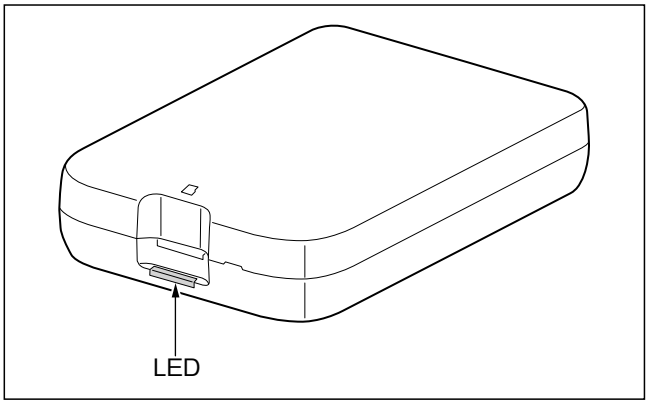


(5) 画面の **OK** をタッチします。
- ドライブレコーダー設定画面に戻ります。

●取付調整の確認



常時録画中マーク（緑色）



注 記

①ドライブレコーダー本体に⑤microSDHCメモリーカードが挿入されていない場合は、挿入してください。

(1) ナビゲーションの **MAP** ボタンを押します。
- 地図画面が表示されます。
- 画面の情報バーに「常時録画中マーク（緑色）」が表示されます。
- 取付調整が正しく行われていない場合や、取付調整の後にドライブレコーダーの角度が変更された場合は、ブザー音（ピーピー…［長く4 回］）が鳴り続けます。LEDが橙色に点灯している場合には、再度取付調整を実施してください。

●映像ファイルの削除

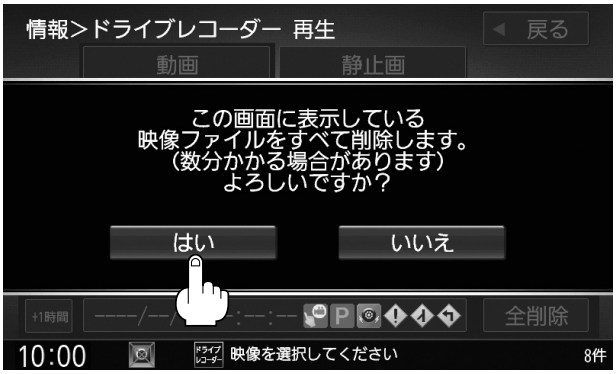


(1) 画面の**再生**をタッチします。

- ⑤microSDHCメモリーカードに録画されたリストが表示されます。



(2) 画面の**全削除**をタッチします。



(3) 画面の**はい**をタッチします。

- ⑤microSDHCメモリーカードに録画されたデータが削除されます。



(4) **すべての映像を削除しました**メッセージを確認して電源（キースイッチ）を切ります。

注 記

画面の OK をタッチすると、ドライブレコーダーが録画を再開しますので、(1) より映像ファイルの削除を行ってください。

取付要領　　取付作業

ハスラーの場合

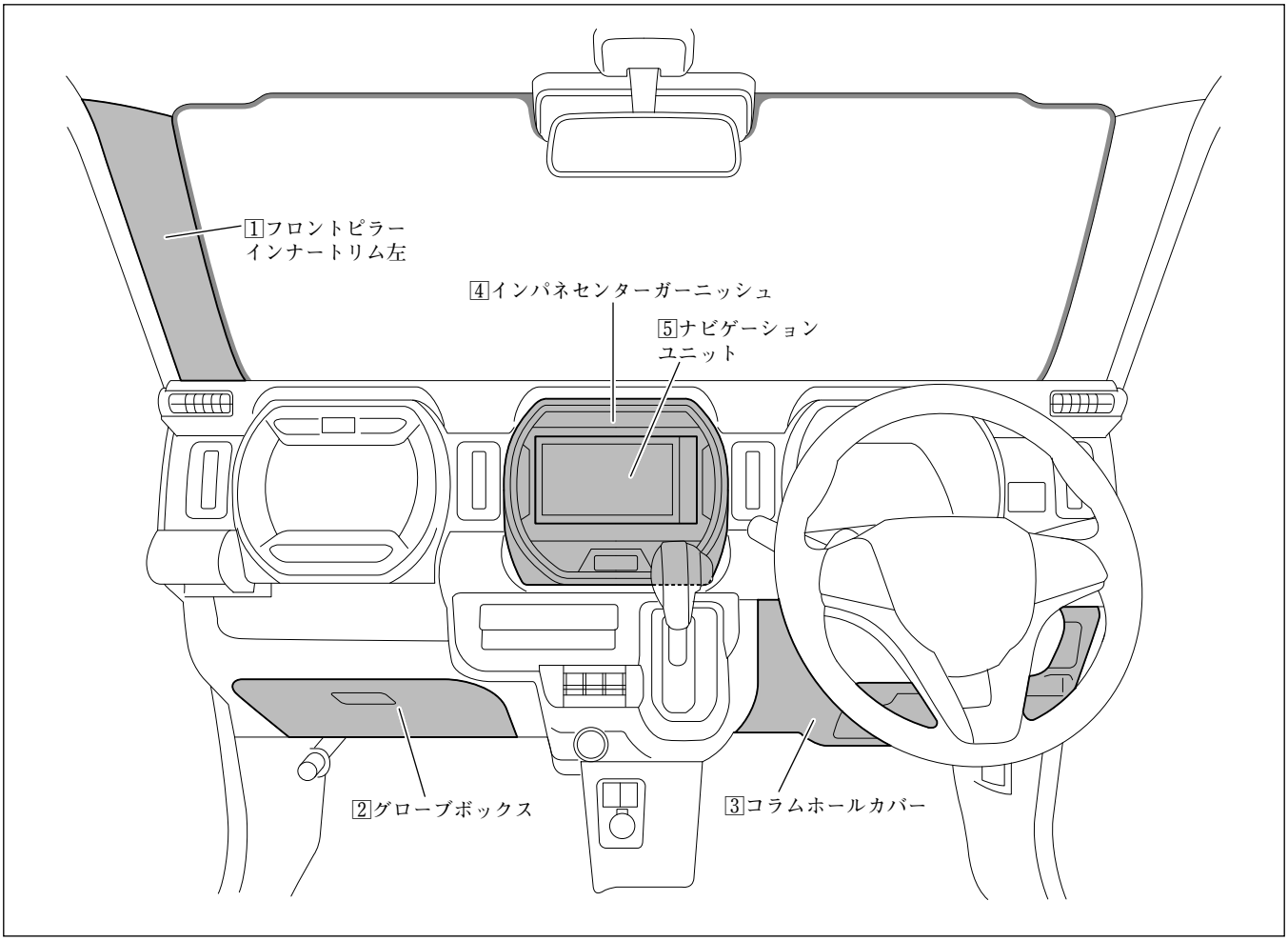
●車両部品の取り外し方法

注 記

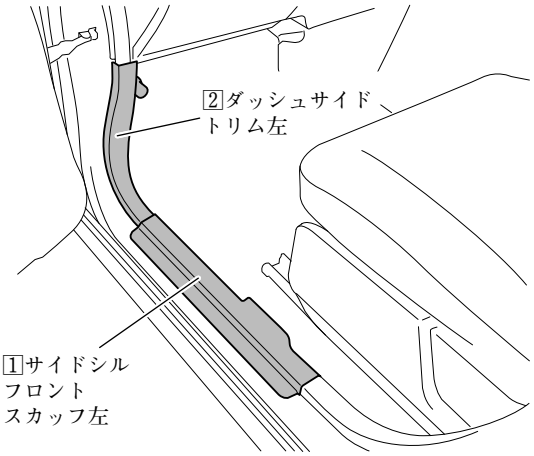
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

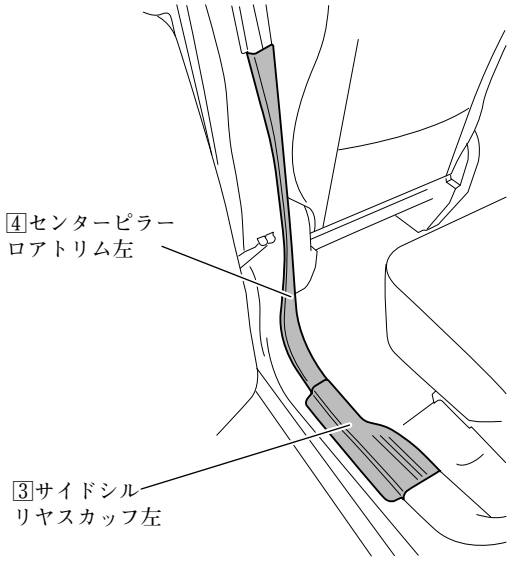
図に示す車両部品を取り外してください。

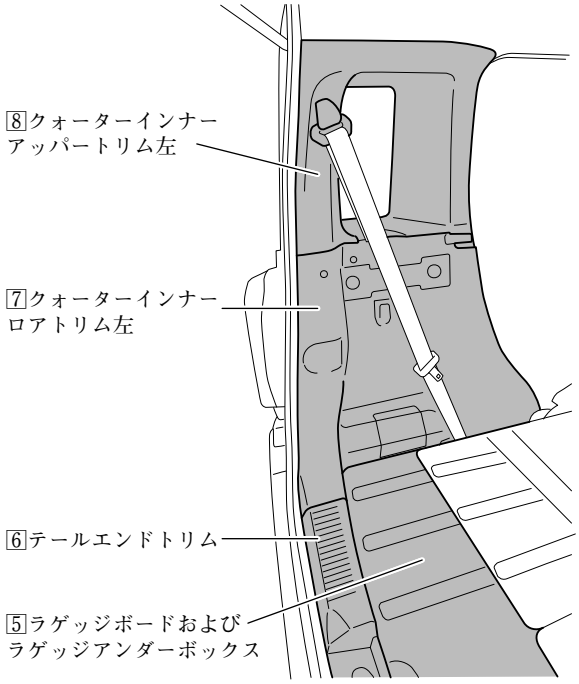
フロントカメラ

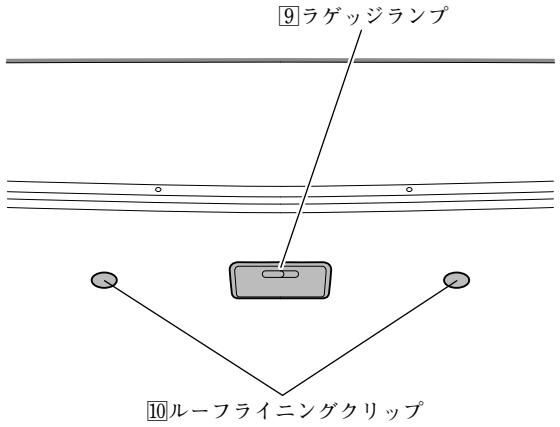


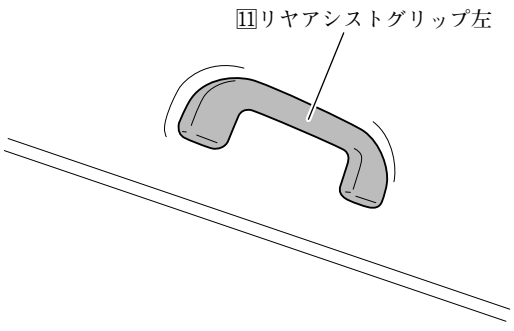
リヤカメラ

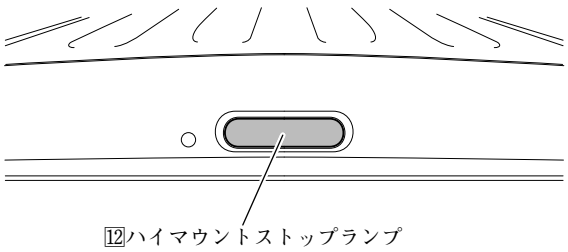

2 ダッシュサイド
トリム左
1 サイドシル
フロント
スカッフ左


4 センターピラー
ロアトリム左
3 サイドシル
リヤスカッフ左


8 クォーターインナー
アッパートリム左
7 クォーターインナー
ロアトリム左
6 テールエンドトリム
5 ラゲッジボードおよび
ラゲッジアンダーボックス

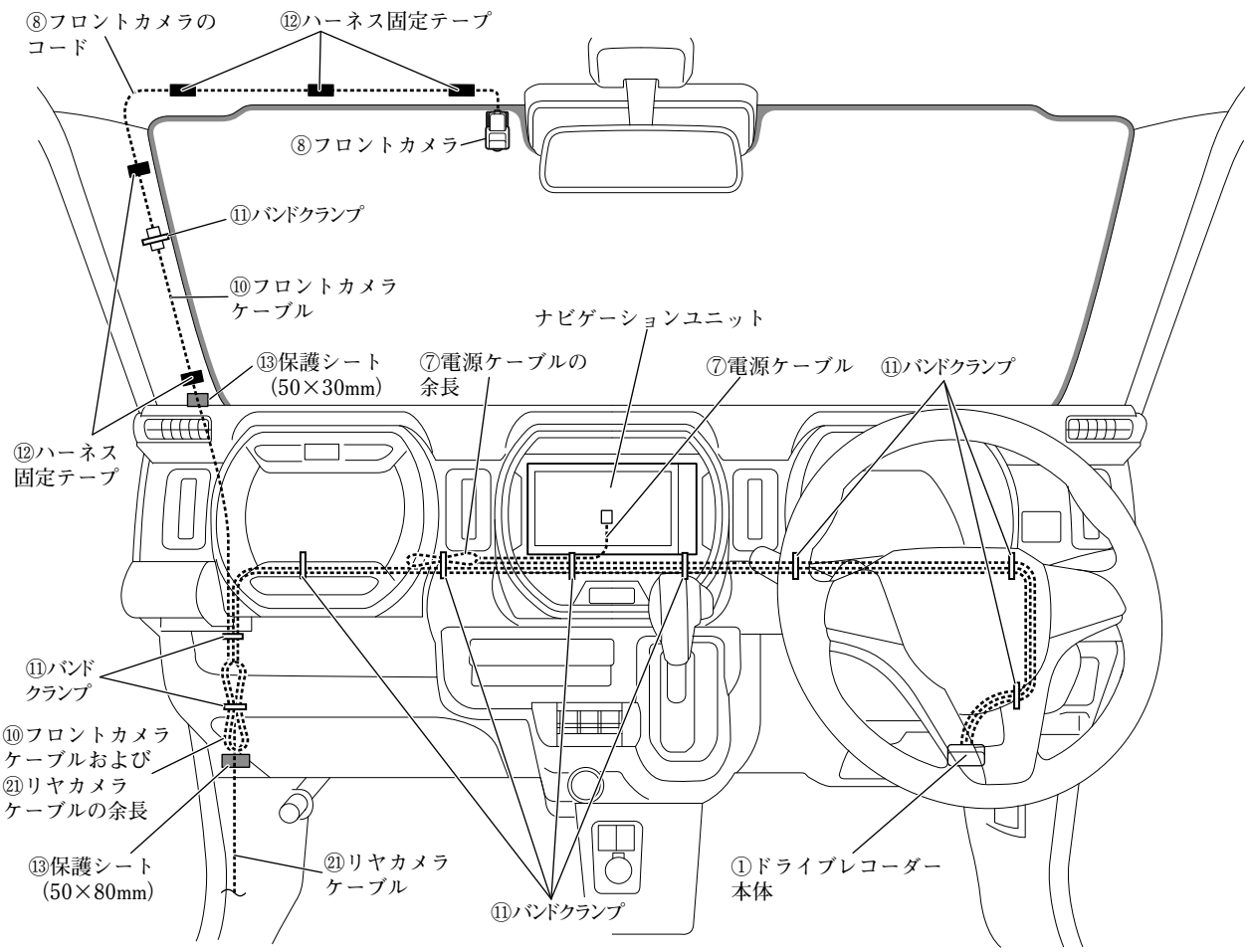

9 ラゲッジランプ
10 ルーフライニングクリップ


11 リヤアシストグリップ左


12 ハイマウントストップランプ

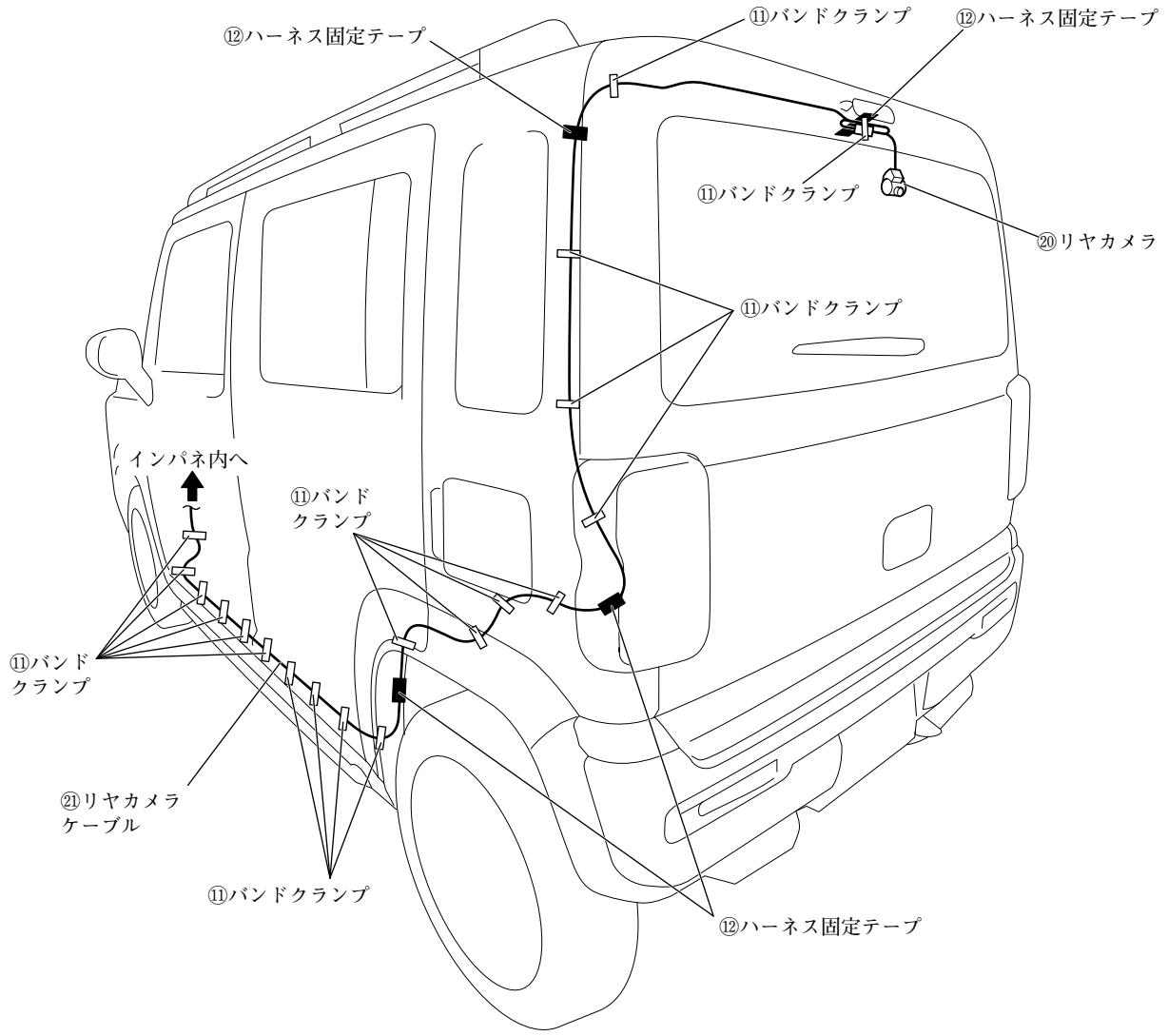
●取付概要

フロントカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。

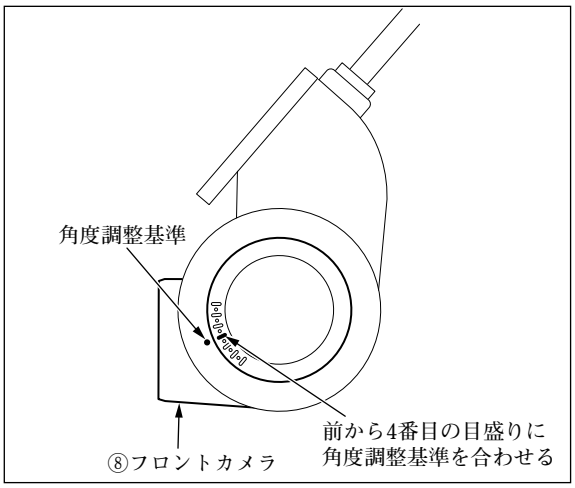
リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。 なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

1



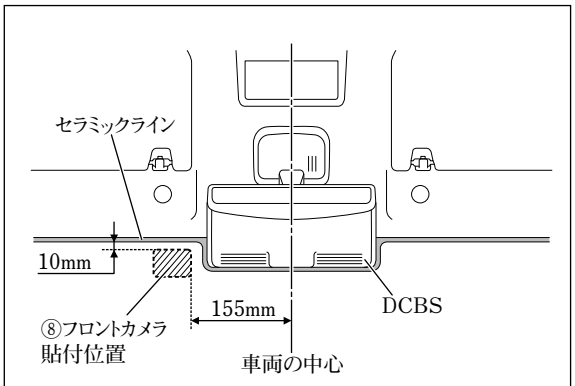
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注 記

- **カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。**
- **しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。**

● フロントカメラの取付方法

1



※貼付位置は、DCBS付き/無し共通です。

⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注 記

- **取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。**
- **粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。**
- **温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。**

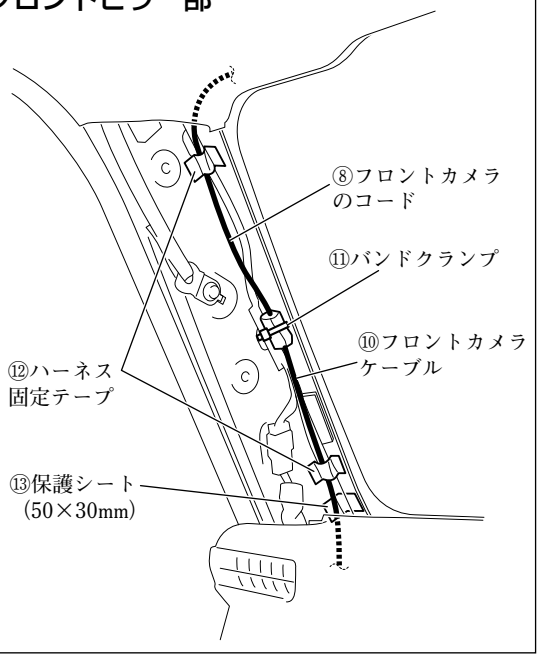
●フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注 記

- **フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。**
- **配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。**

フロントピラー部



配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注 記

- **⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

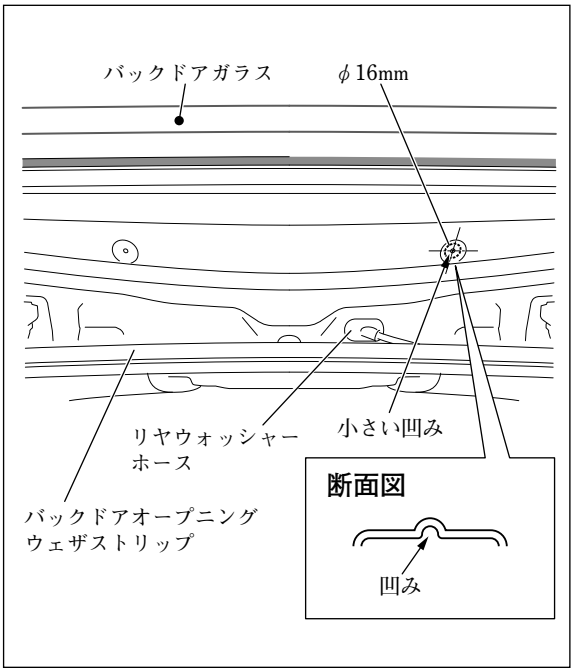
● リヤカメラ取付前の準備

■ ルーフエンドスポイラー非装備車の場合

注 記

ここではルーフエンドスポイラー非装備の車両について記載をしています。ルーフエンドスポイラー装備車またはルーフエンドスポイラーを共着する車両は作業手順が異なります。

1



(1) バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所に穴（φ16mm）を開けてください。

⚠ 警告

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

注 記

- **車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。**
- **切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。**
- **ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。**
- **ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。**

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

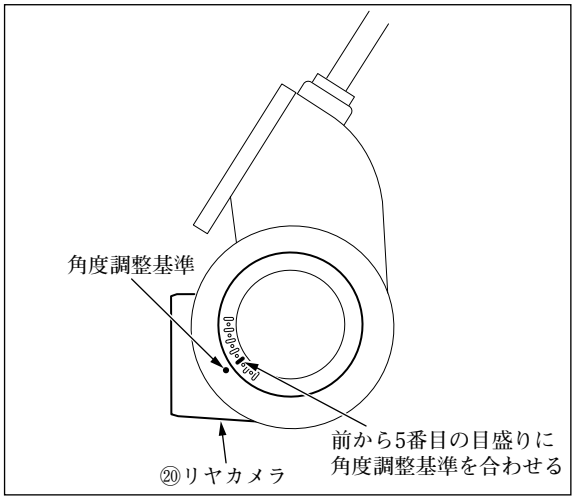
注 記

- **ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（布テープ）を貼り付け、ボデーに傷が付かないようにしてください。**

  また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- **バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。**

(3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

2



⑳リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- **カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。**
- **しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。**

■ ルーフエンドスポイラー装備車またはルーフエンドスポイラーを共着する場合

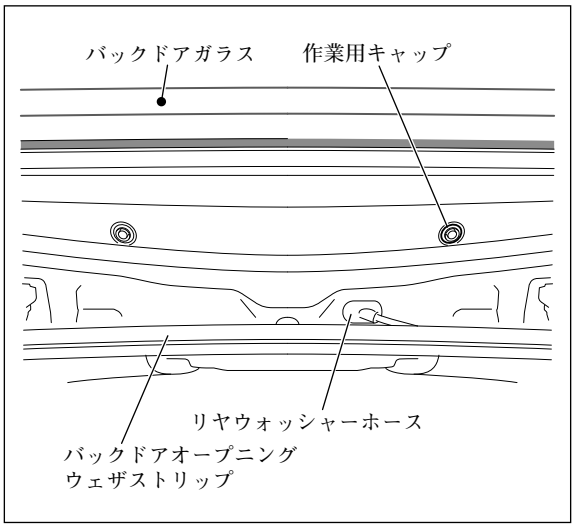
注記

ここではルーフエンドスポイラー装備車またはルーフエンドスポイラーを共着する車両について記載をしています。ルーフエンドスポイラー非装備車は作業手順が異なります。

アドバイス

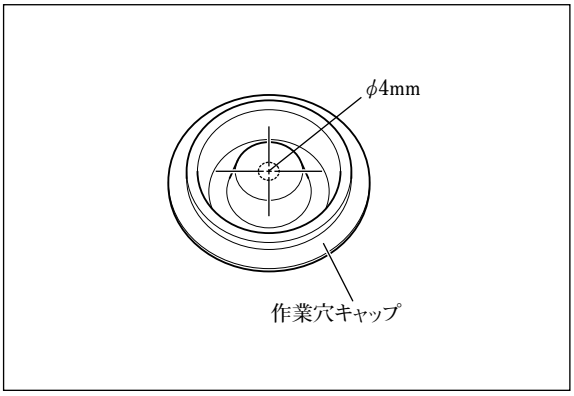
ルーフエンドスポイラーを共着する場合は、先にルーフエンドスポイラーを取り付けてください。

1



バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所の作業穴キャップを外してください。

2



(1) 作業穴キャップの中央に穴（ϕ4mm）を開けてください。

⚠注意

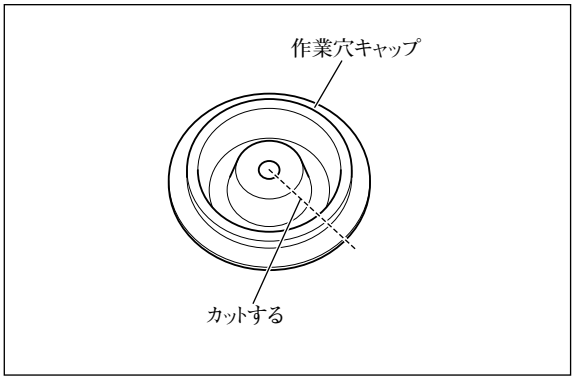
- **ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。**
- **巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。**

注 記

- **ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。**
- **ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。**

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

3

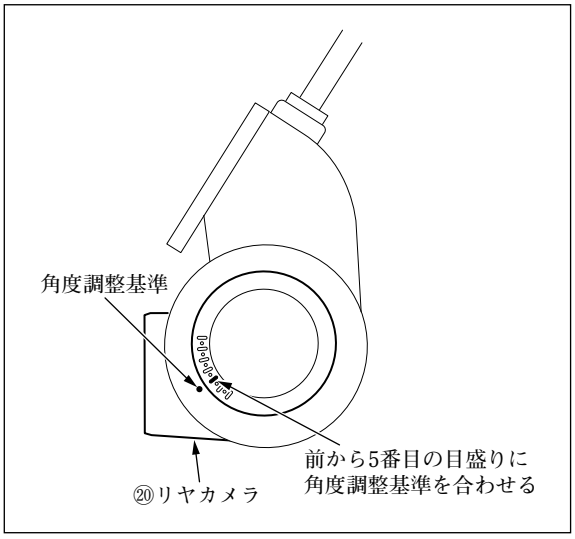


作業穴キャップの図示位置をカッターナイフ等でカットしてください。

⚠注意

カットする際は、ケブラー手袋を使用してください。

4



⑳リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注 記

- **カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。**
- **しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。**

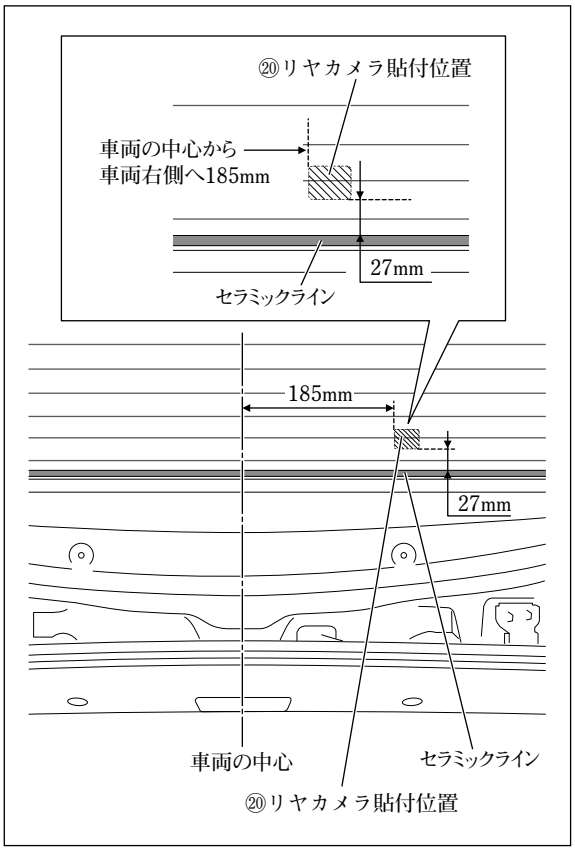
● リヤカメラの取付方法

■ ルーフエンドスポイラー非装備車の場合

注 記

ここではルーフエンドスポイラー非装備の車両について記載をしています。ルーフエンドスポイラー装備車またはルーフエンドスポイラーを共着する車両は作業手順が異なります。

1

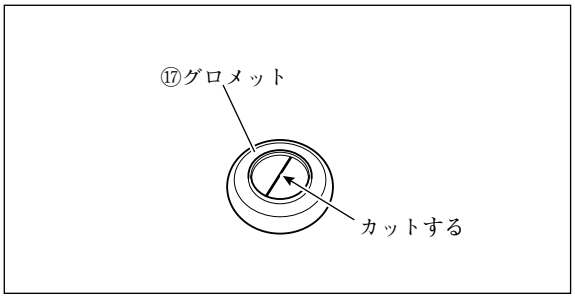


⑳リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注 記

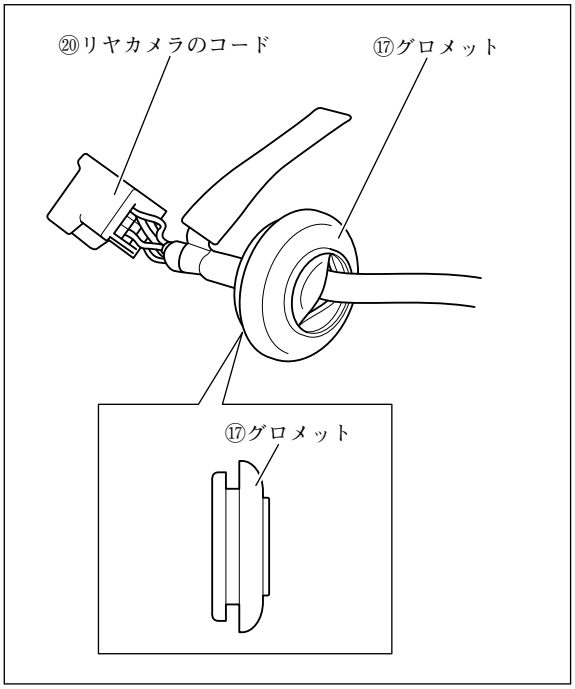
- **取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。**
- **粘着力が落ち⑳リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑳リヤカメラを取り付け直したりしないでください。**
- **温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と⑳リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。**

2



⑰グロメットを図のように切り込み加工してください。

3

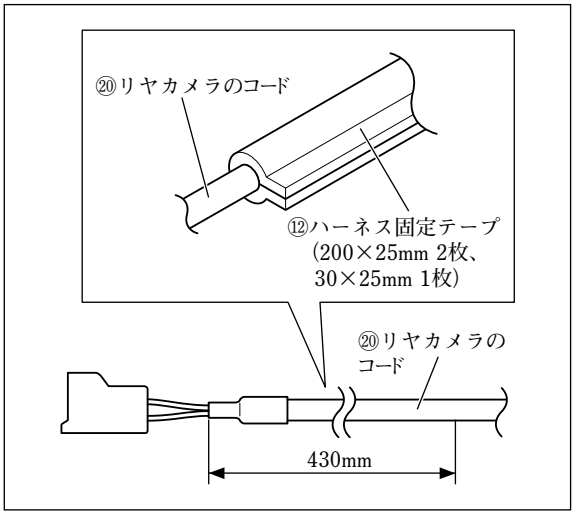


⑰グロメットを⑳リヤカメラのコードに取り付けてください。

注 記

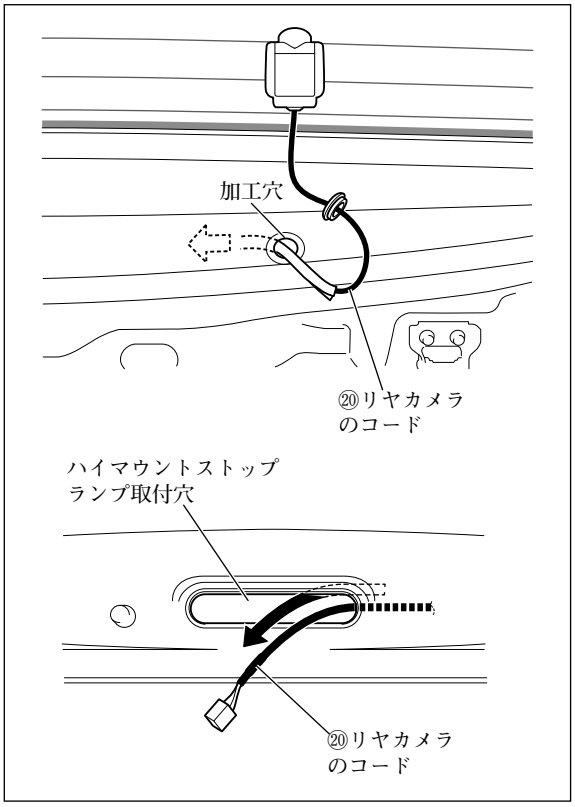
- **⑰グロメットは、図の向きで取り付けてください。**
- **破損防止のため、⑳リヤカメラのコードを⑰グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。**

4



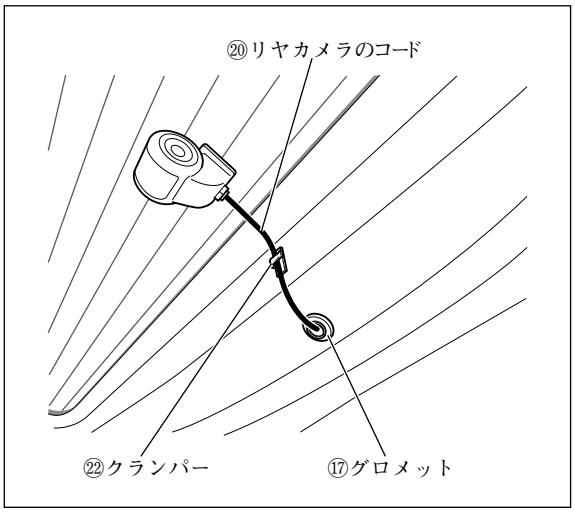
⑫ハーネス固定テープを⑳リヤカメラのコードに貼り付けてください。

5



針金等を使用して⑳リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。

6



(1) ⑰グロメットを加工穴に取り付けてください。

(2) ㉒クランパーで⑳リヤカメラのコードを固定してください。

注 記

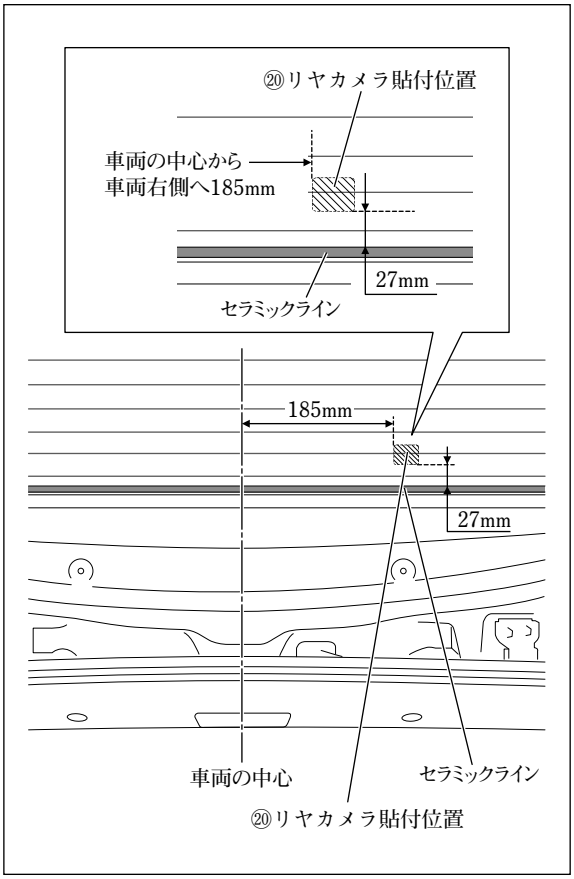
- **㉒クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

■ ルーフエンドスポイラー装備車またはルーフエンドスポイラーを共着する場合

注 記

ここではルーフエンドスポイラー装備車またはルーフエンドスポイラーを共着する車両について記載をしています。ルーフエンドスポイラー非装備車は作業手順が異なります。

1

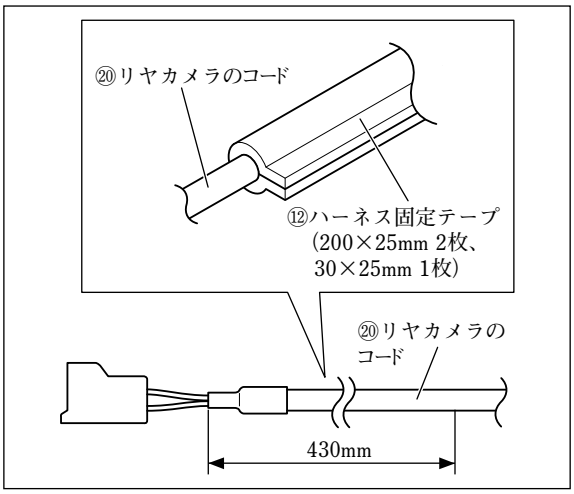


⑳リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注 記

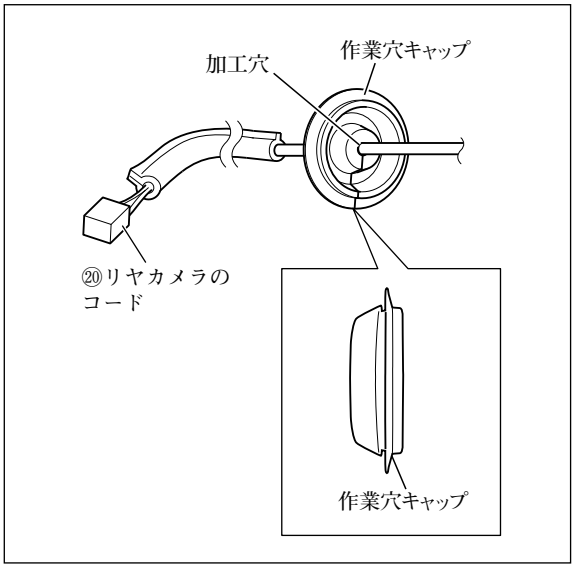
- **取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。**
- **粘着力が落ち⑳リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑳リヤカメラを取り付け直したりしないでください。**
- **温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と⑳リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。**

2



⑫ハーネス固定テープを⑳リヤカメラのコードに貼り付けてください。

3

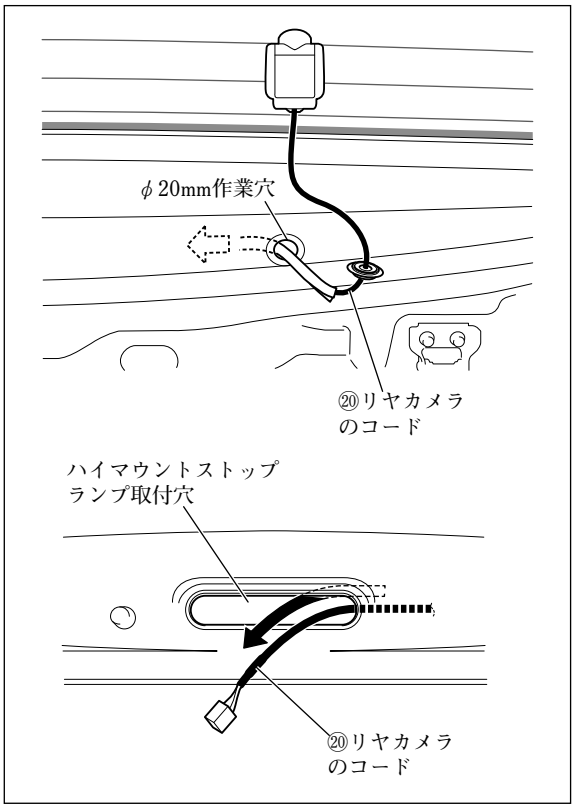


⑳リヤカメラのコードを作業穴キャップの加工穴に通してください。

注記

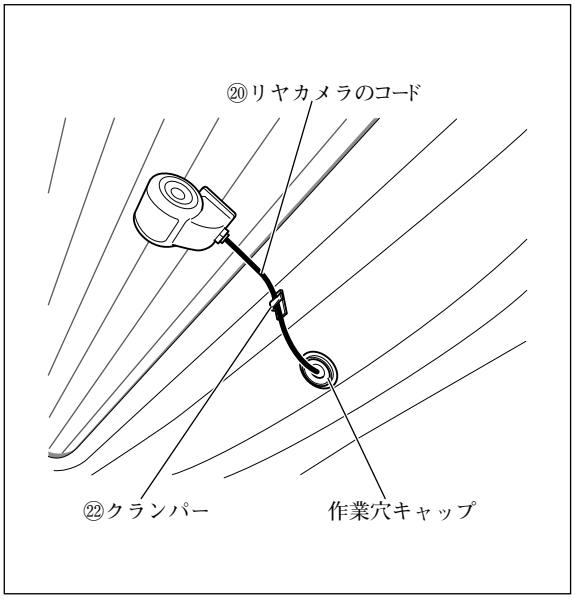
作業穴キャップは、図の向きで取り付けてください。

4



針金等を使用して⑳リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。

5



(1) 作業穴キャップを復元してください。

注 記

作業穴キャップは、カット部が⑳リヤカメラのコードでかくれる向きに取り付けてください。

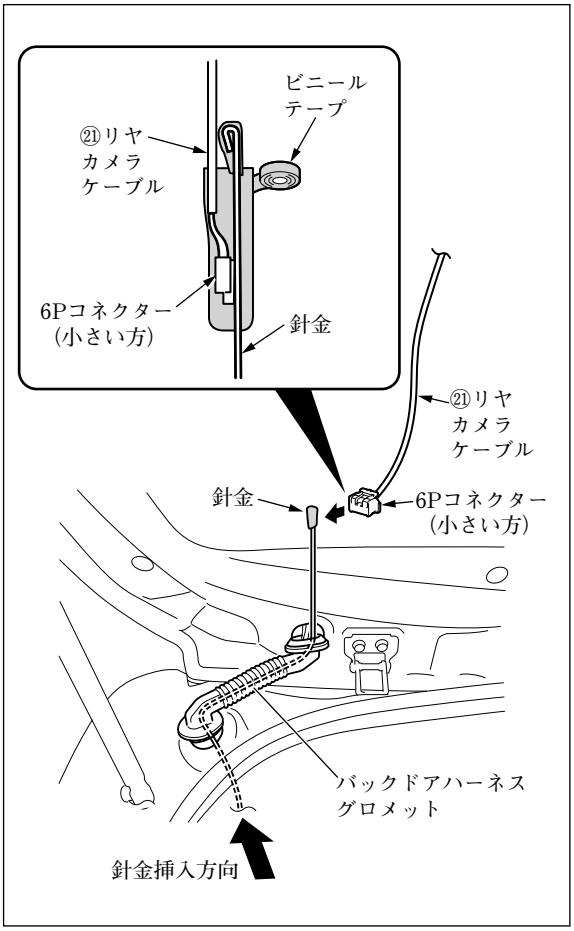
(2) ㉒クランパーで⑳リヤカメラのコードを固定してください。

注 記

- **㉒クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1



(1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。

(2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。

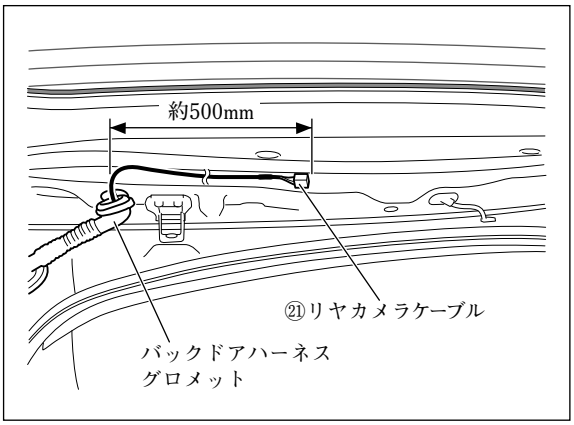
(3) ㉑リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。

(4) 針金を室内側に引き戻し、㉑リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

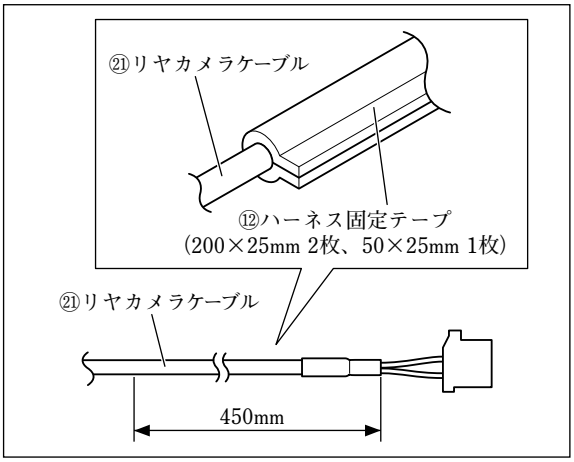
- **バックドアハーネスおよび㉑リヤカメラケーブル破損防止のため、㉑リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。**
- **㉑リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。**

2



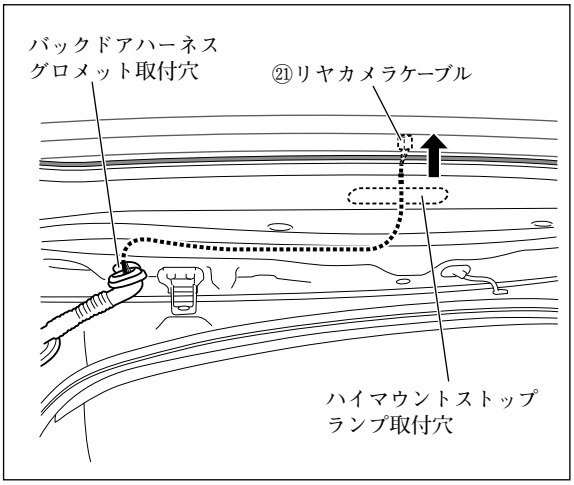
バックドアハーネスグロメットから㉑リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



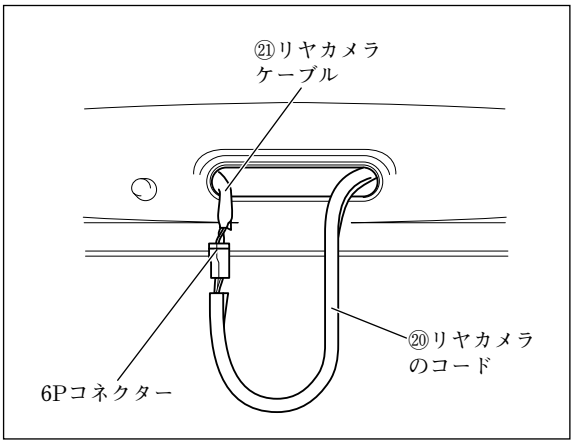
⑫ハーネス固定テープを㉑リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4



針金等を使用して㉑リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

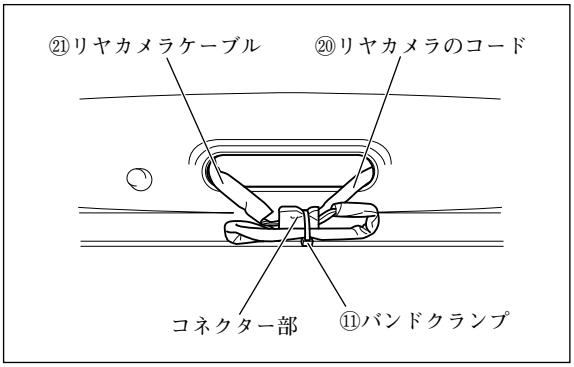
5



(1) ㉑リヤカメラケーブルのコネクターと⑳リヤカメラのコネクターを接続してください。

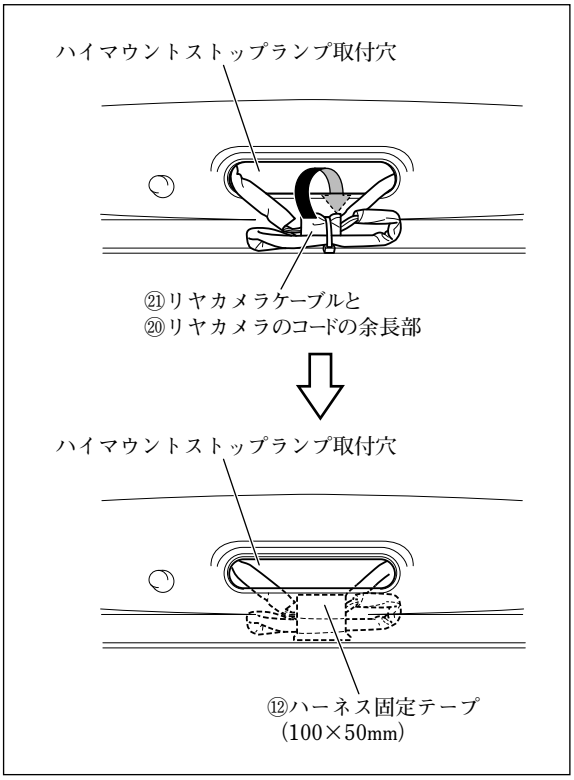
(2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内) 参照」)

6



㉑リヤカメラケーブルと⑳リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。

7



㉑リヤカメラケーブルと⑳リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注 記

- **ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。**
- **⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

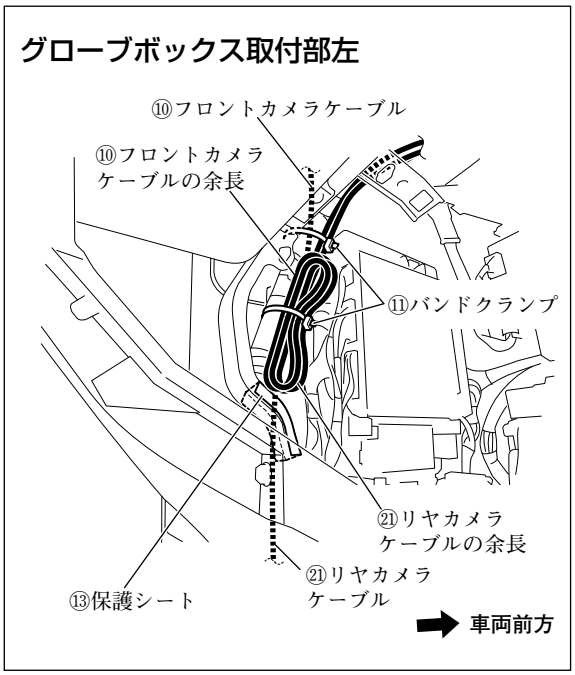
「取付概要」を参照して㉑リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注 記

- **⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

●フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1

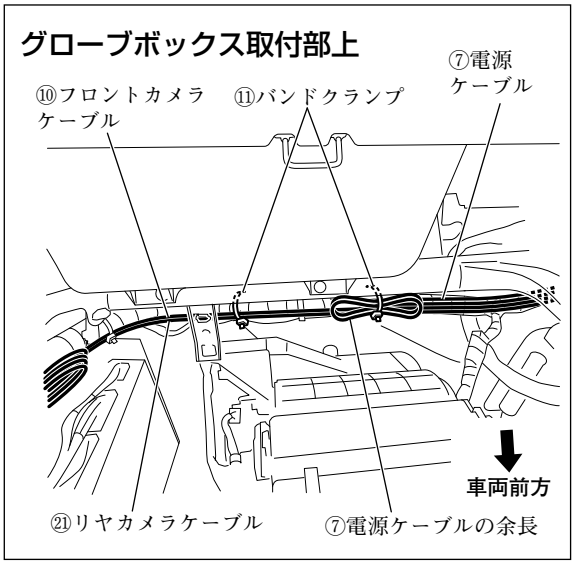


(1)「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、㉑リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

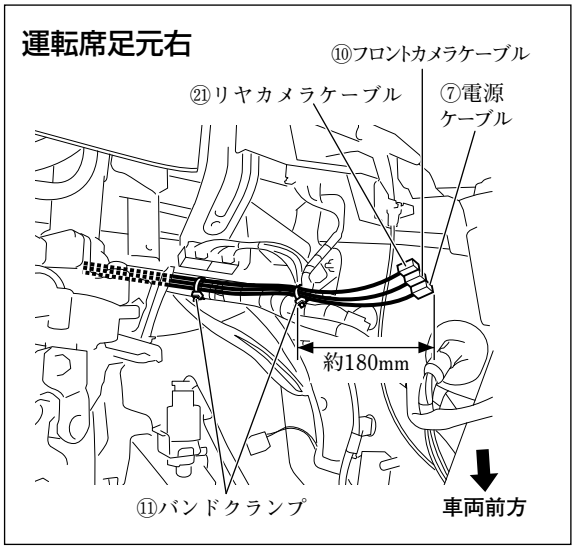
注 記

- **⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

(2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、㉑リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。



2



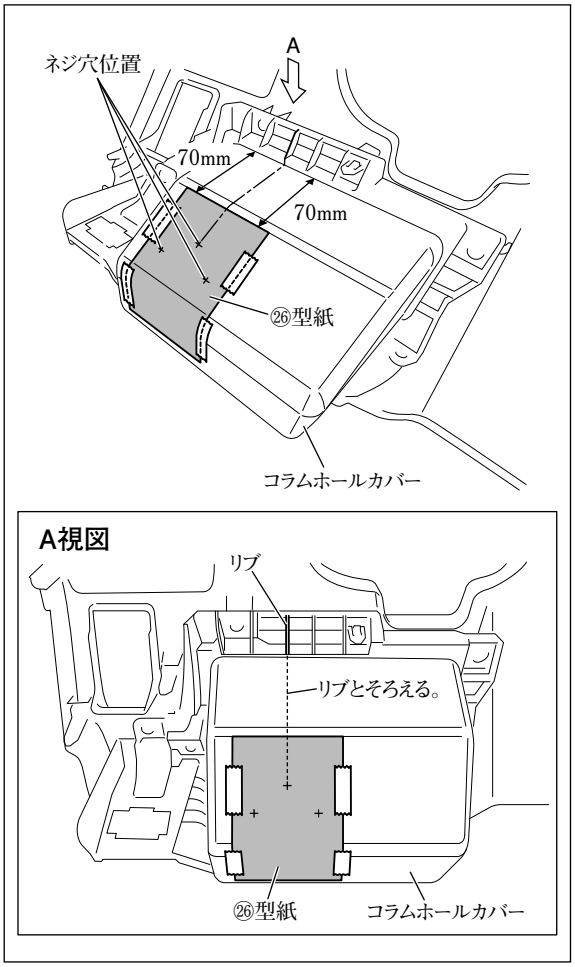
①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

アドバイス

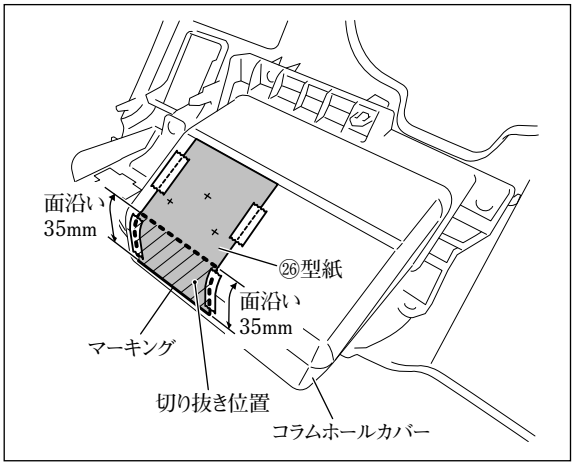
本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体を通す穴を加工します。

1



コラムホールカバーへ㉖型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。

2

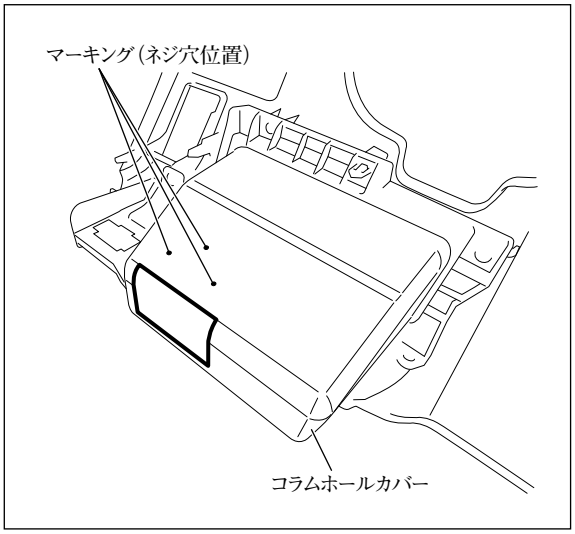


コラムホールカバーの切り抜き位置にマーキングをしてください。

アドバイス

指定の寸法および㉖型紙の端に沿ってマーキングをしてください。

3



㉖型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（ϕ4mm）を開けてください。

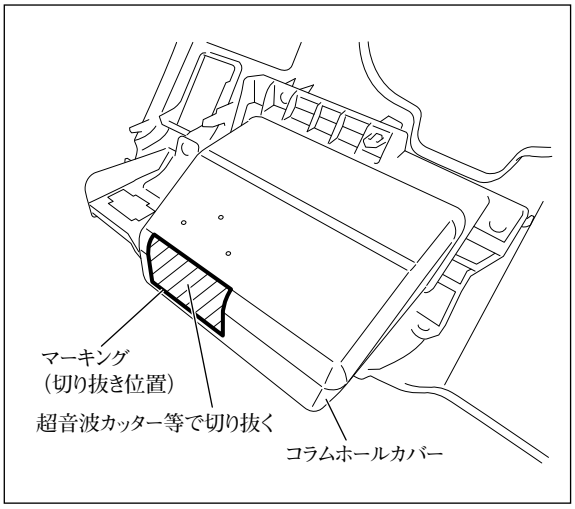
⚠注意

- **ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。**
- **巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。**

注 記

- **ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。**
- **ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。**

4



(1) コラムホールカバーのマーキング位置（切り抜き位置）内側に沿って超音波カッター等で穴を開けてください。

⚠注意

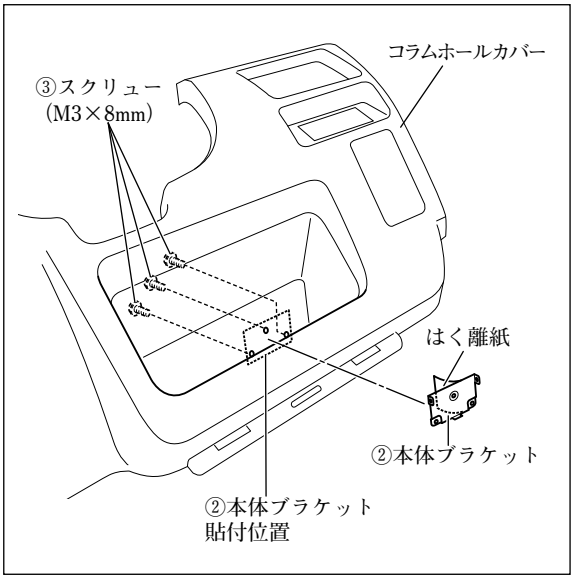
穴を開ける際は、ケブラー手袋を使用してください。

(2) 切り抜き後、コラムホールカバーの切り抜き部のバリをヤスリで取り除いてください。

アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。

5



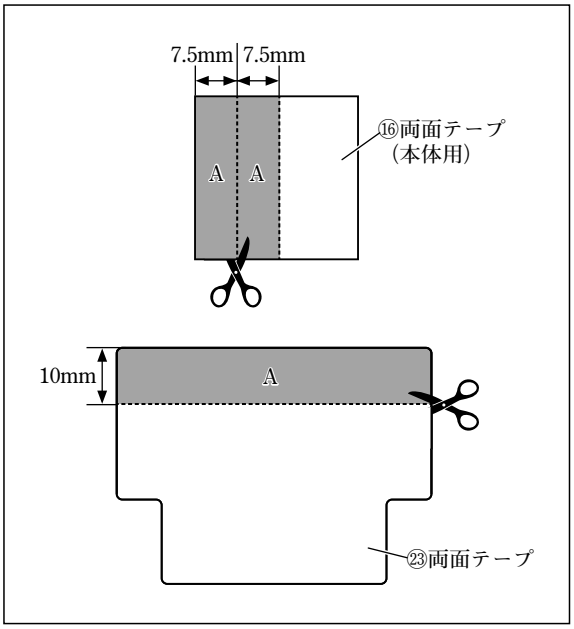
(1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

(2) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注 記

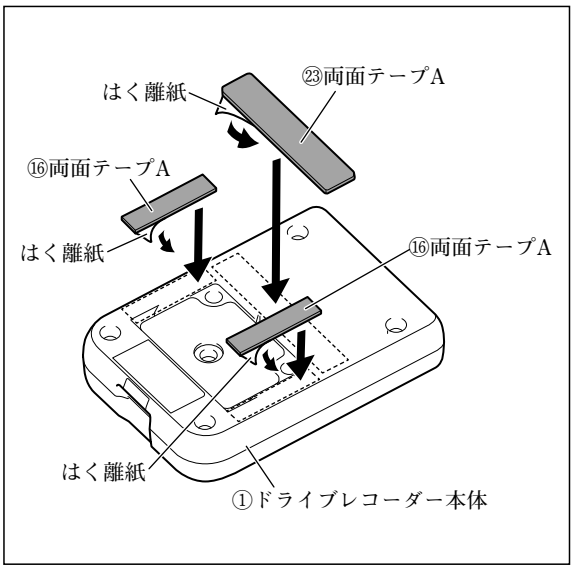
- **貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

6



⑯両面テープ（本体用）と㉓両面テープを図のようにカットしてください。

7

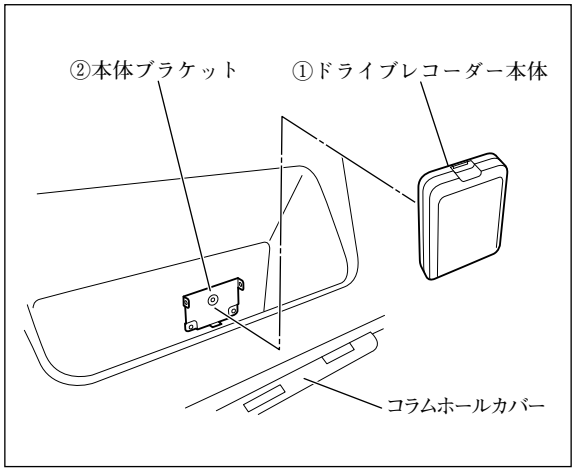


カットした⑯両面テープ（本体用）と㉓両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注 記

- **貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

8



(1) ①ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。なお、干渉している場合は、コラムホールカバーを削り調整してください。

注 記

①ドライブレコーダー本体を仮組みする際は、②本体ブラケットのツメをかん合させないでください。

(2) ①ドライブレコーダー本体、㉓両面テープおよび⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)

(3) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注 記

- **貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**
- **①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。**

(4) ①ドライブレコーダー本体にすべてのケーブルのコネクターを接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。
- 「既設部品の点検」を行ってください。
- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

ソリオの場合

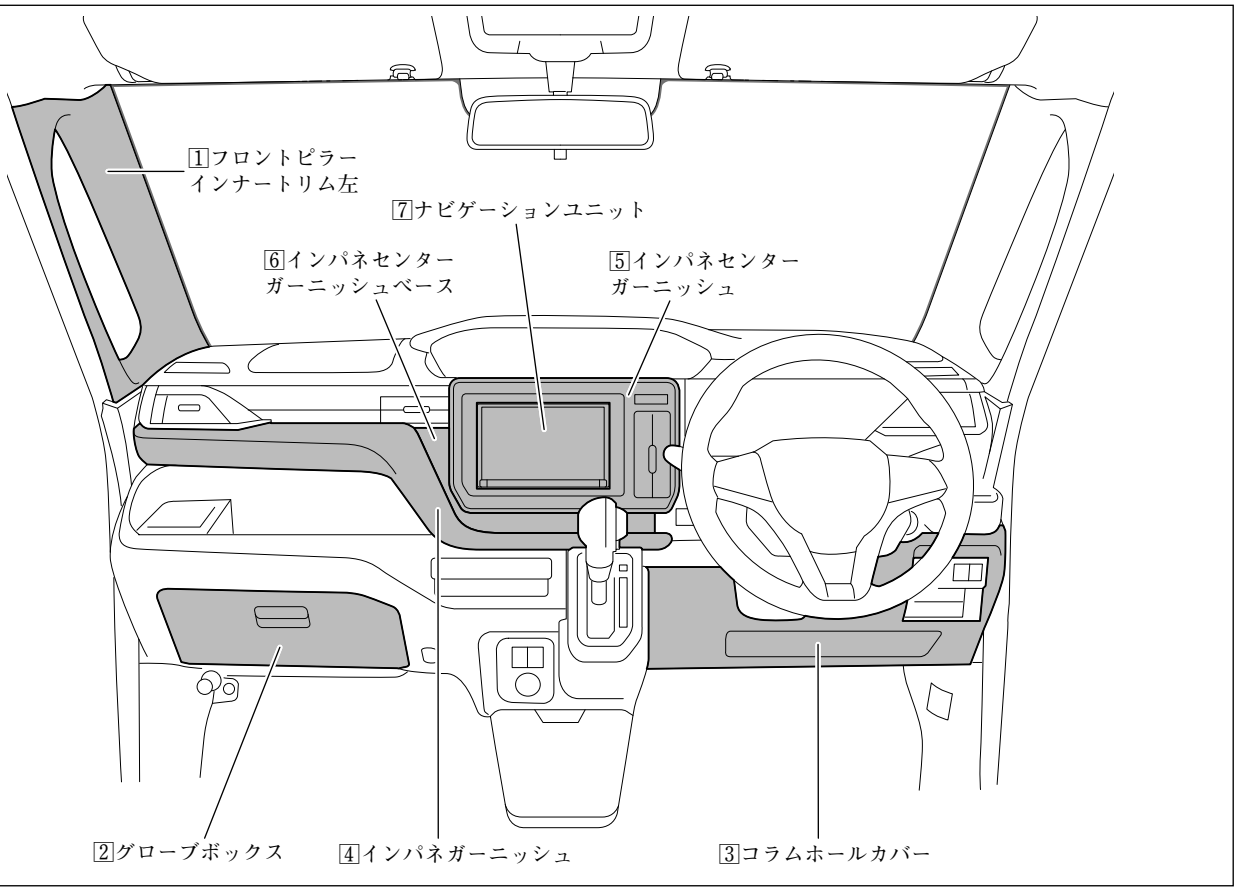
● 車両部品の取り外し方法

注 記

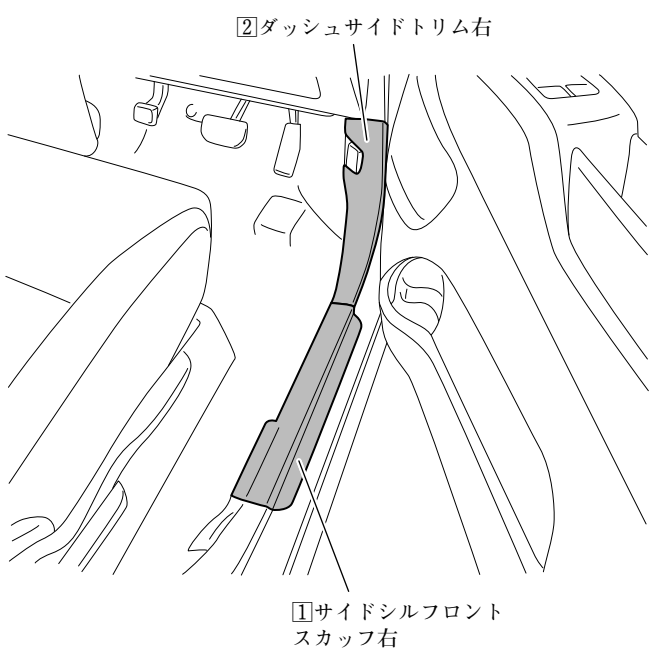
取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

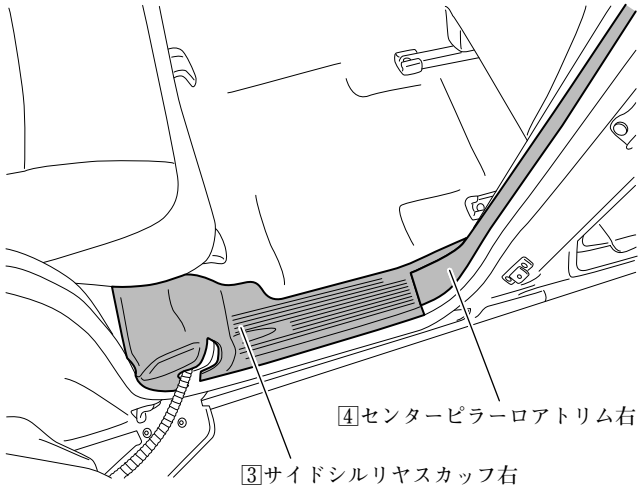
図に示す車両部品を取り外してください。

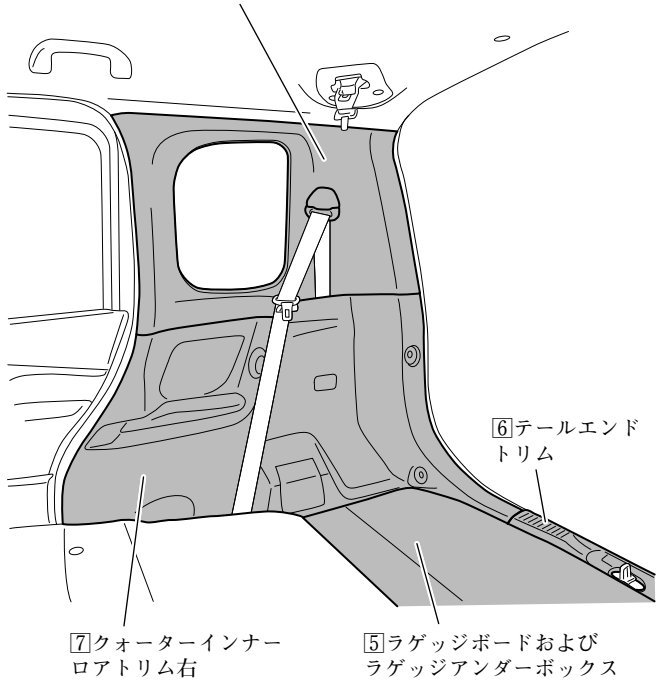
フロントカメラ

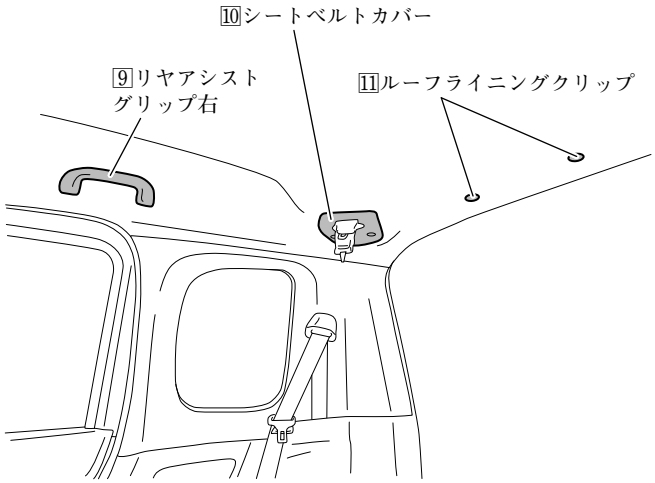


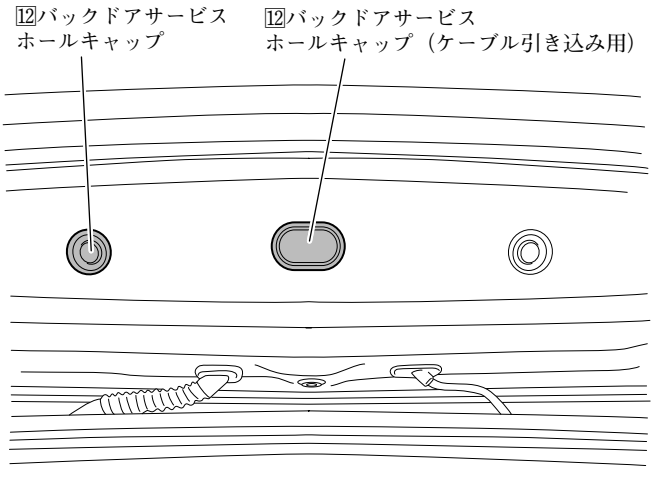
リヤカメラ


2ダッシュサイドトリム右
1サイドシルフロント
スカッフ右


4センターピラーロアトリム右
3サイドシルリヤスカッフ右

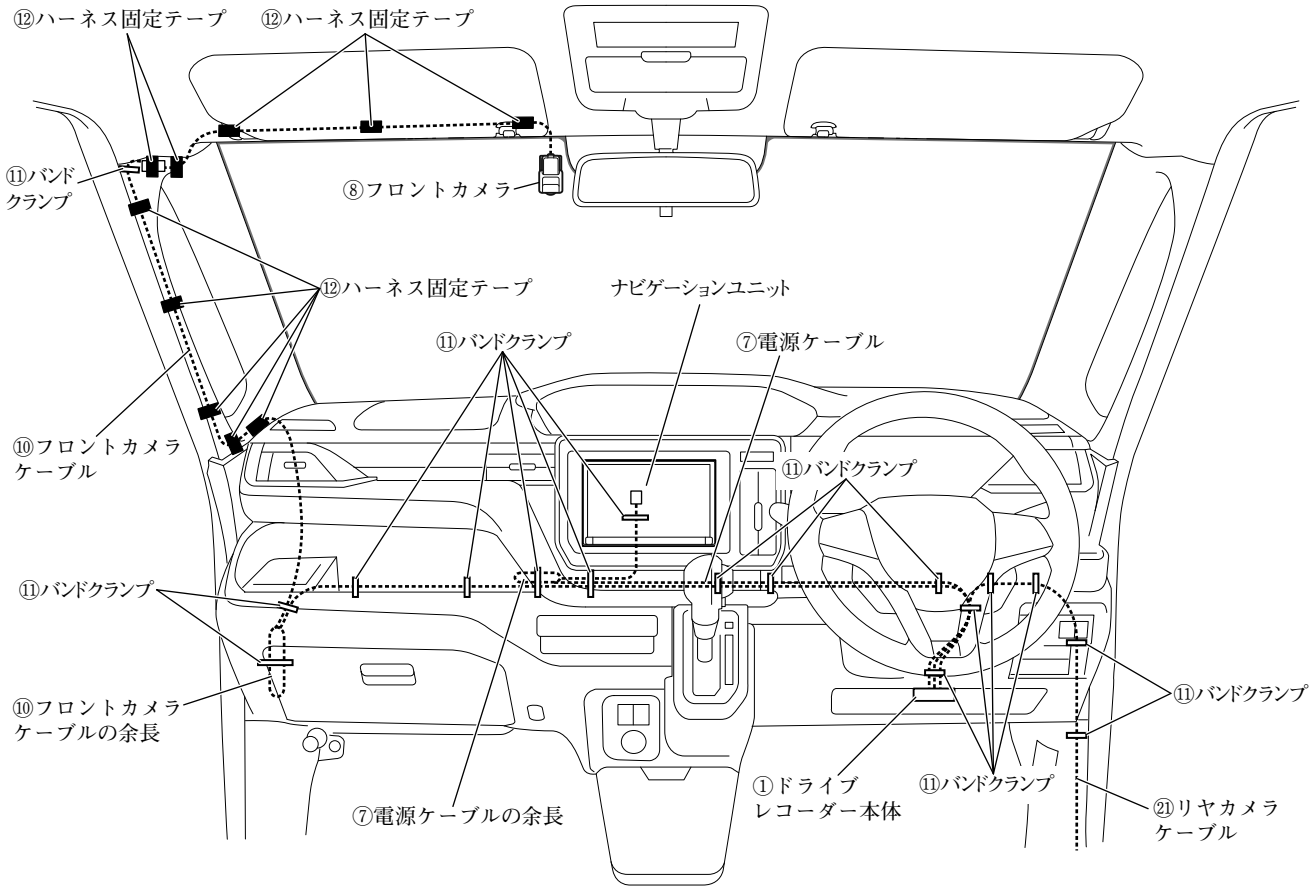

8リヤシートベルトアンカーおよび
クォーターインナーアッパートリム右
6テールエンド
トリム
7クォーターインナー
ロアトリム右
5ラゲッジボードおよび
ラゲッジアンダーボックス


10シートベルトカバー
9リヤアシスト
グリップ右
11ルーフライニングクリップ


12バックドアサービス
ホールキャップ
12バックドアサービス
ホールキャップ（ケーブル引き込み用）

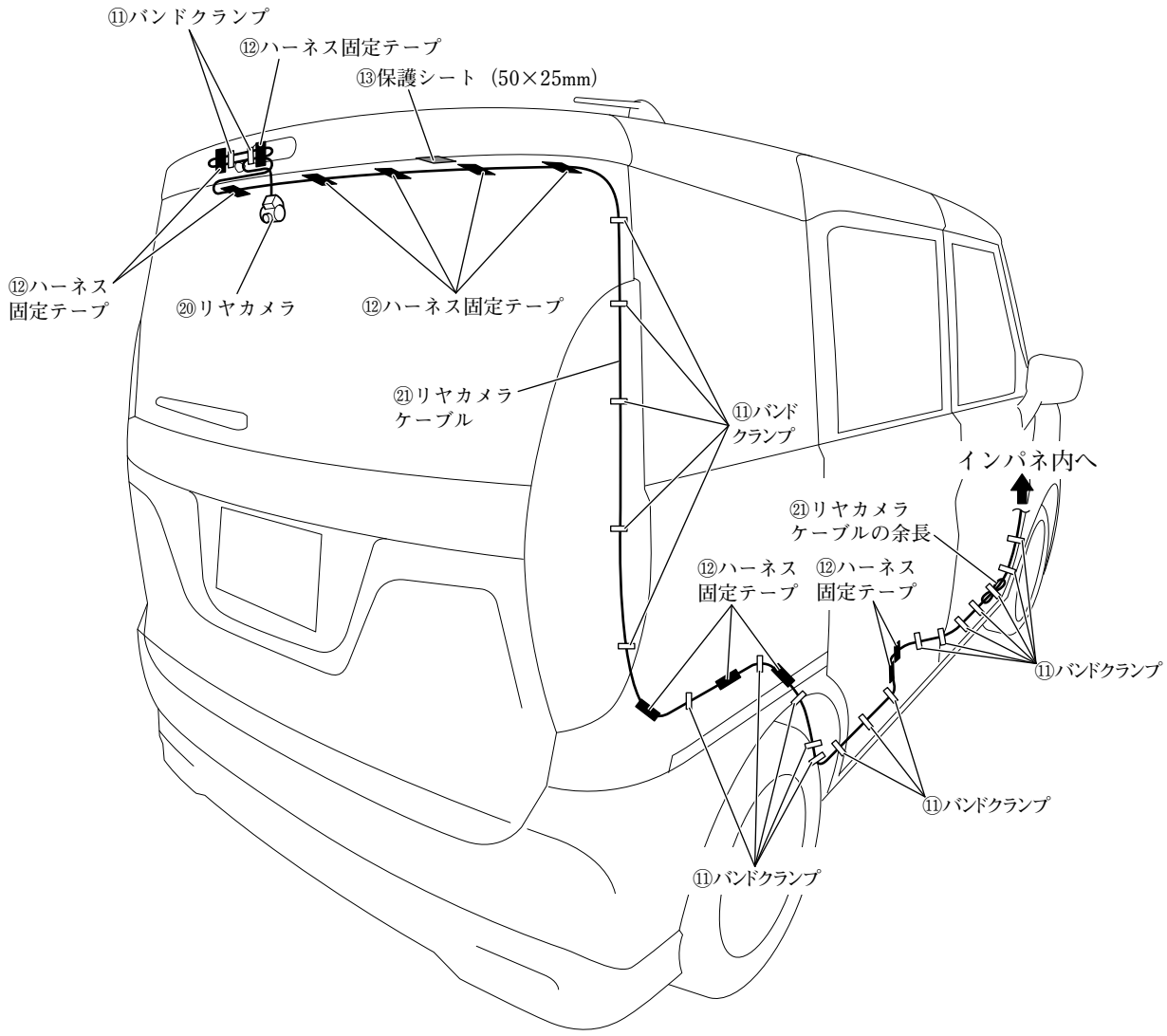
●取付概要

フロントカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。

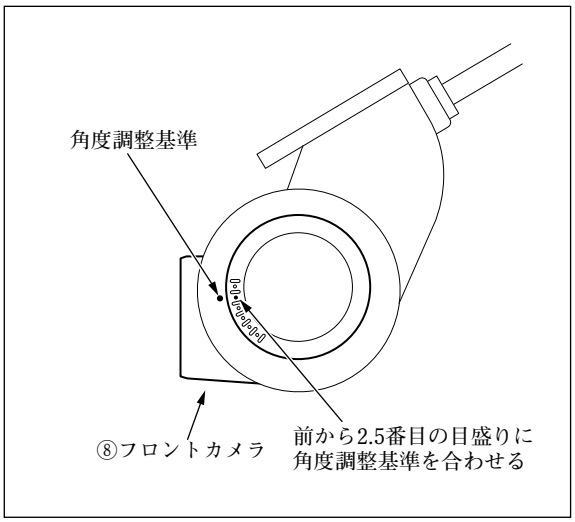
リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。 なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

●フロントカメラ取付前の準備

1



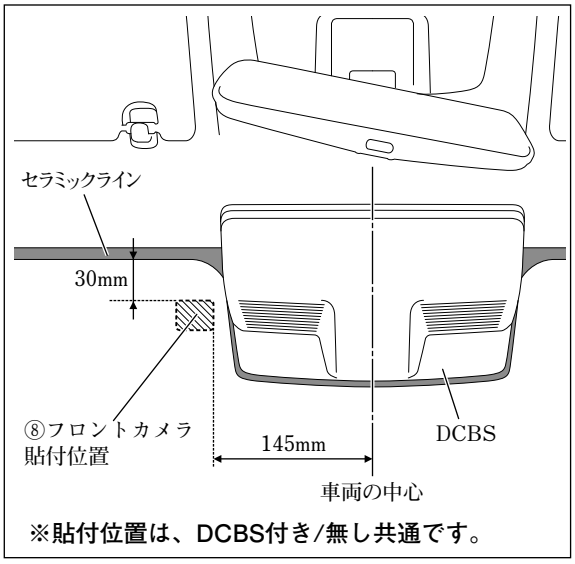
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

●フロントカメラの取付方法

1



※貼付位置は、DCBS付き/無し共通です。

⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 温度が低い場合は、ドライヤー等でフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

●フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

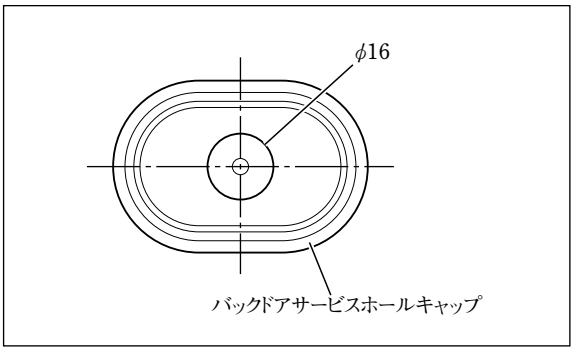
「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

●リヤカメラ取付前の準備

1



(1)「車両部品の取り外し方法」－「リヤカメラ」で取り外したケーブル引き込み用のバックドアサービスホールキャップの中央に穴（ϕ16mm）を開けてください。

⚠注意

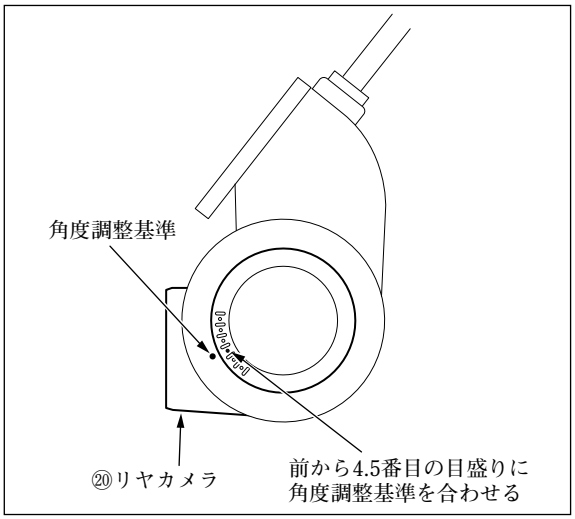
- **ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。**
- **巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。**

注 記

- **ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。**
- **ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。**

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

2



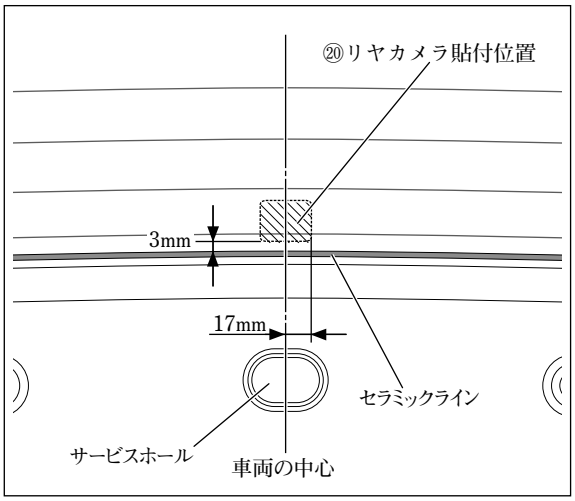
⑳リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注 記

- **カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。**
- **しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。**

●リヤカメラの取付方法

1

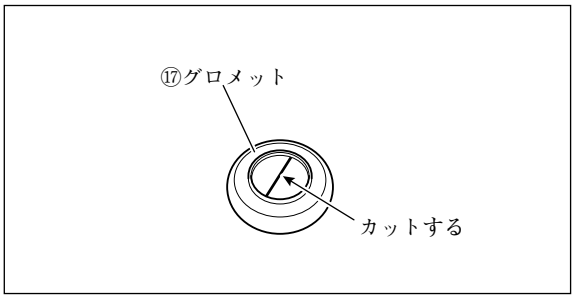


⑳リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

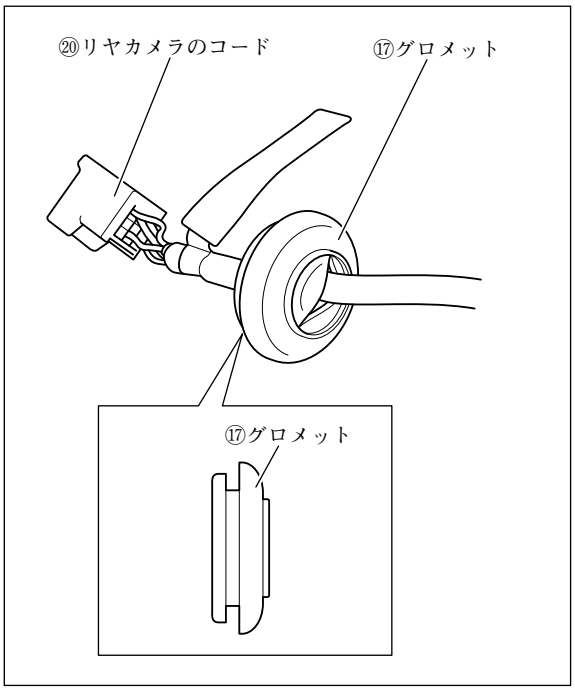
- **取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。**
- **粘着力が落ち⑳リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑳リヤカメラを取り付け直したりしないでください。**
- **温度が低い場合は、ドライヤー等でバックドアガラス面と⑳リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。**

2



⑰グロメットを図のように切り込み加工してください。

3

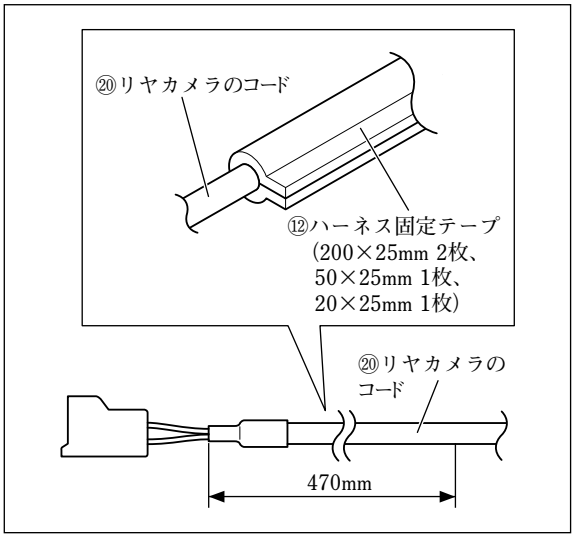


⑰グロメットを⑳リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

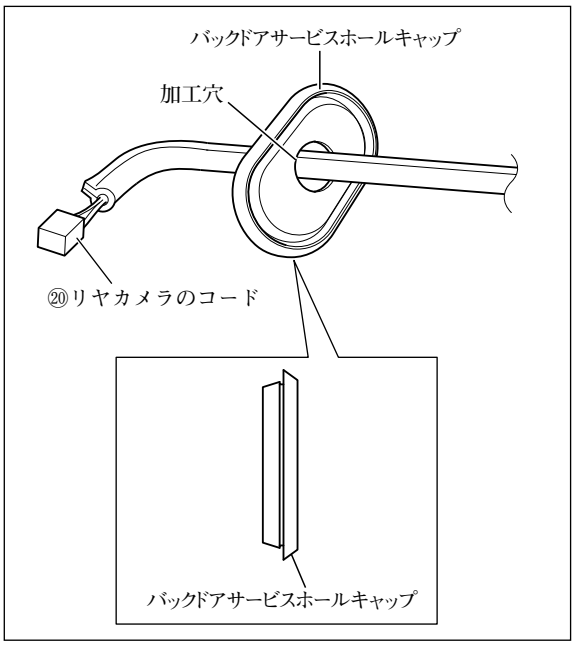
- **⑰グロメットは、図の向きで取り付けてください。**
- **破損防止のため、⑳リヤカメラのコードを⑰グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。**

4



⑫ハーネス固定テープを⑳リヤカメラのコードに貼り付けてください。

5

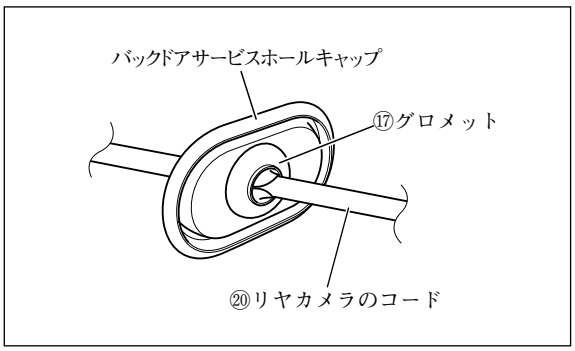


⑳リヤカメラのコードをバックドアサービスホールキャップの加工穴に通してください。

注記

バックドアサービスホールキャップは、図の向きで取り付けてください。

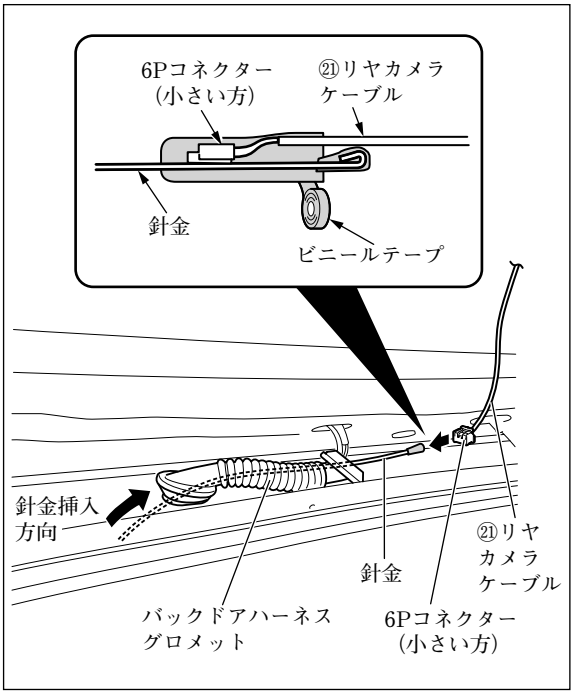
6



⑰グロメットをバックドアサービスホールキャップの加工穴に取り付けてください。

●リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）

1



(1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。

(2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。

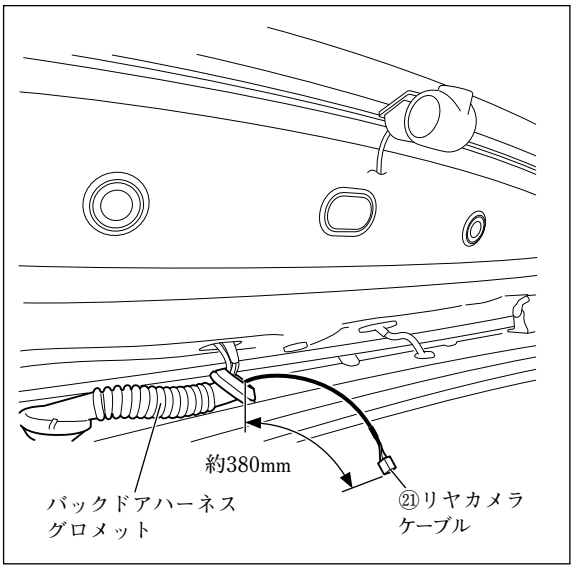
(3) ㉑リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。

(4) 針金を室内側に引き戻し、㉑リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

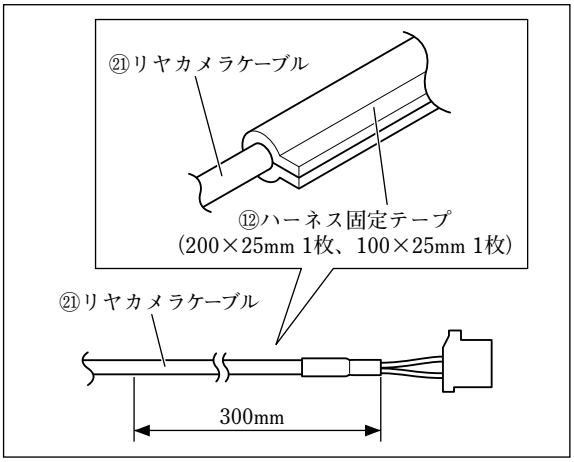
- **バックドアハーネスおよび㉑リヤカメラケーブル破損防止のため、㉑リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。**
- **㉑リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。**

2



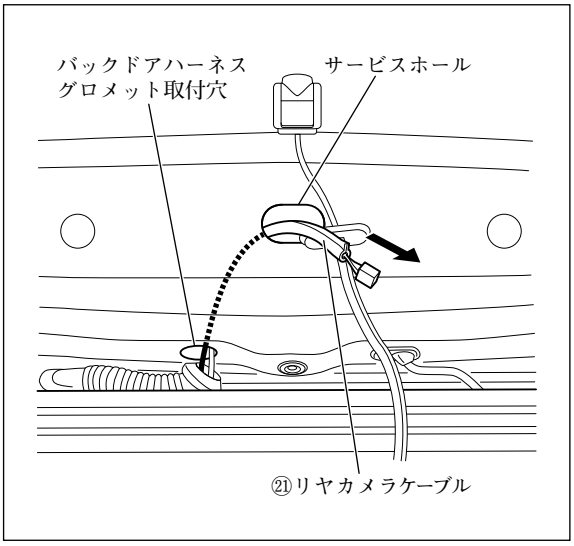
バックドアハーネスグロメットから㉑リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。

3



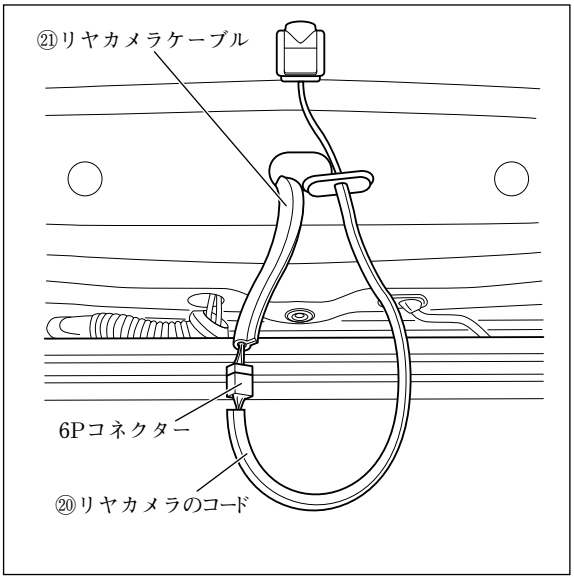
⑫ハーネス固定テープを㉑リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

4



針金等を使用して㉑リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

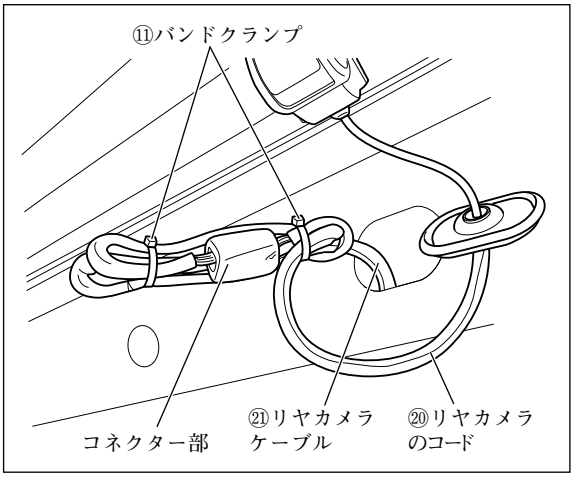
5



(1) ㉑リヤカメラケーブルのコネクターと⑳リヤカメラのコネクターを接続してください。

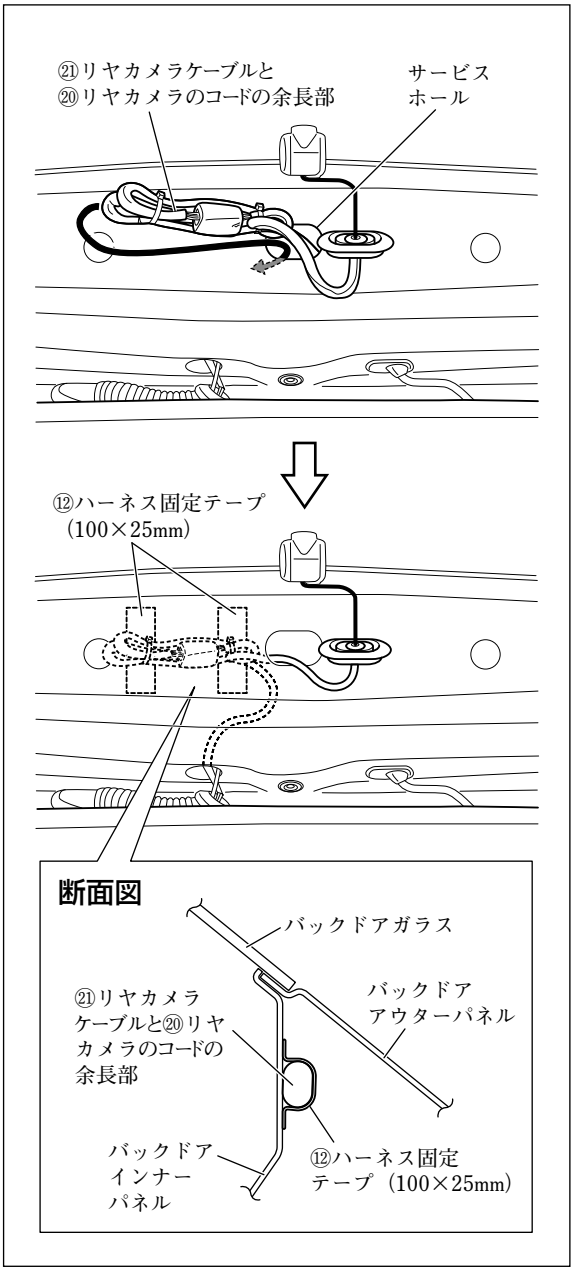
(2) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内) 参照」)

6



㉑リヤカメラケーブルと⑳リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。

7

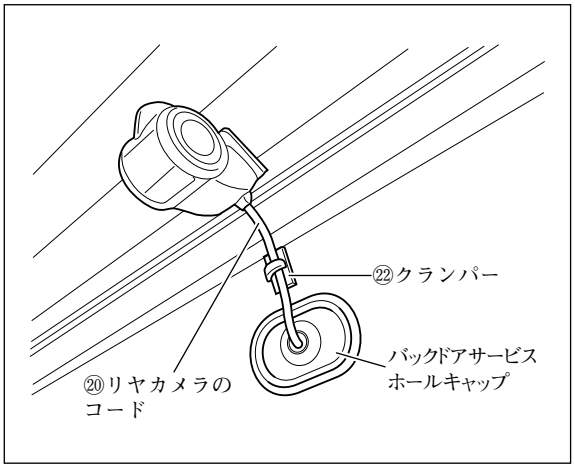


㉑リヤカメラケーブルと⑳リヤカメラのコードの余長部をサービスホールからバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- **⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

8



(1) バックドアサービスホールキャップを復元してください。

(2) ㉒クランパーで⑳リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- **㉒クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

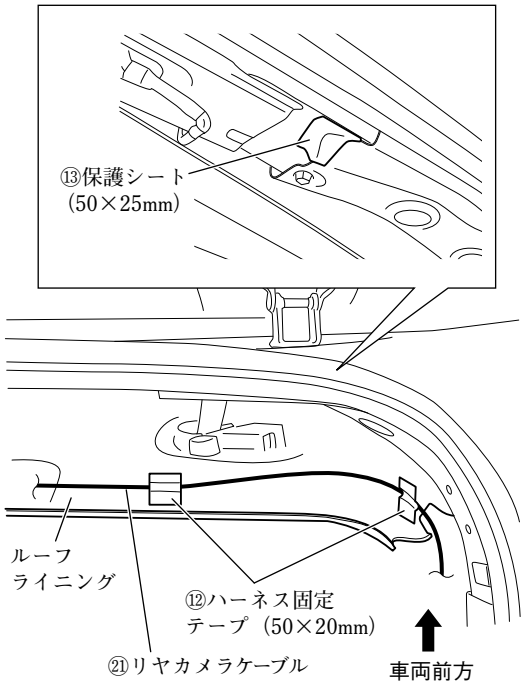
●リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して㉑リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注 記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

バックドア開口部右



配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

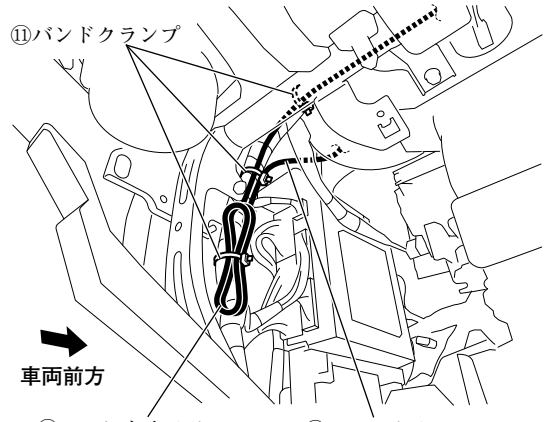
注 記

- **⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

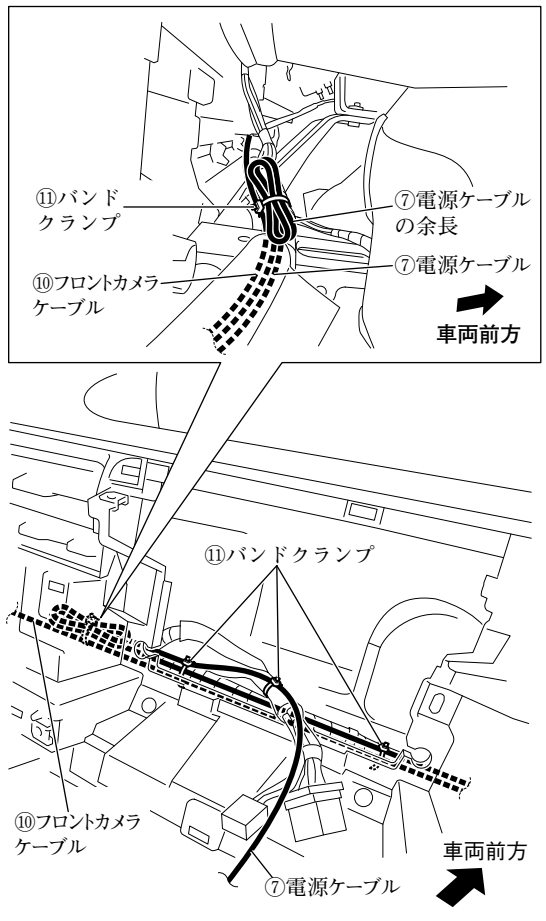
●フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

1

グローブボックス取付部左



ナビゲーション取付部



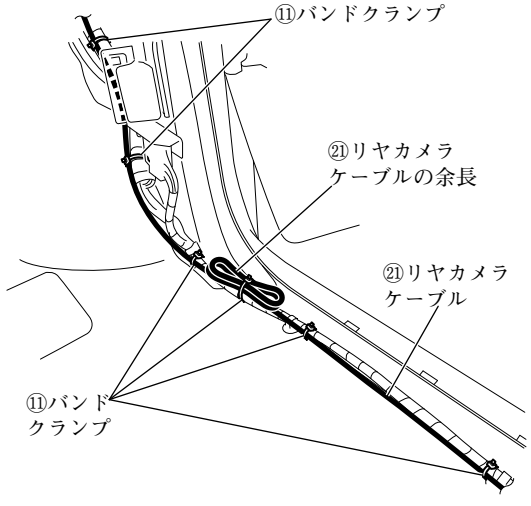
(1)「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、㉑リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

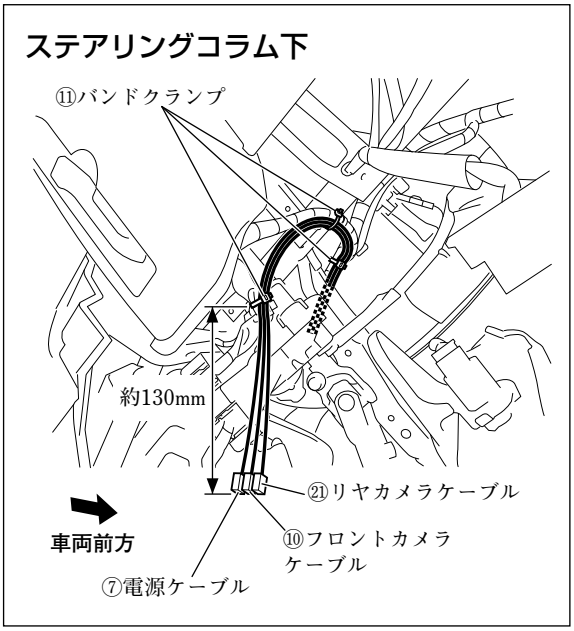
- **⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

(2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、㉑リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

運転席右



2



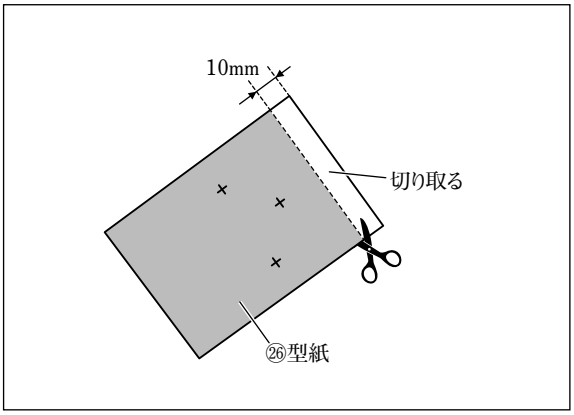
①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体を通す穴を加工します。

1

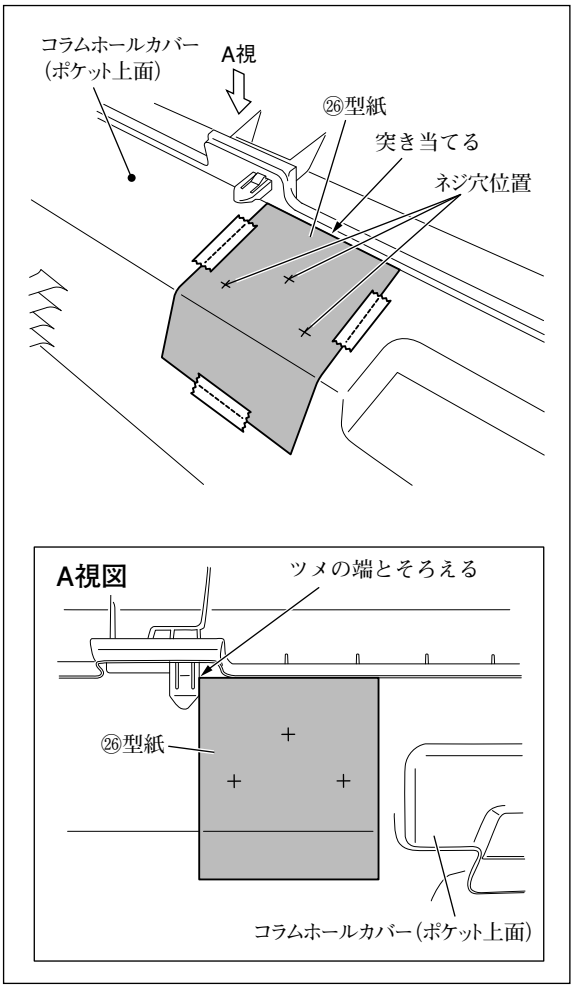


㉖型紙の図示位置を切り取ってください。

注 記

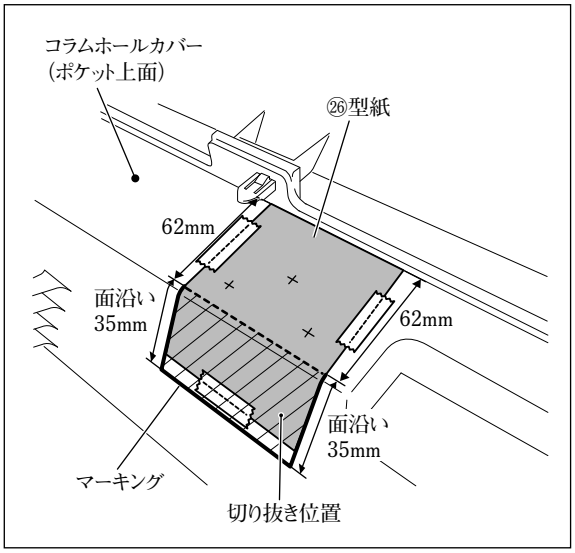
㉖型紙の向きを間違えないでください。

2



コラムホールカバーへ㉖型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。

3

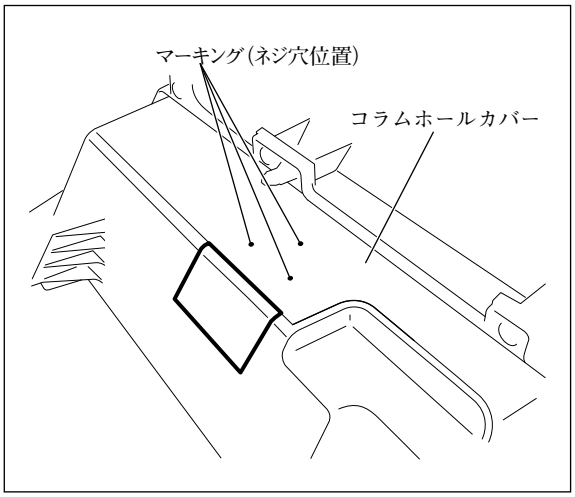


コラムホールカバーの切り抜き位置にマーキングをしてください。

アドバイス

指定の寸法および㉖型紙の端に沿ってマーキングをしてください。

4



㉖型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（φ4mm）を開けてください。

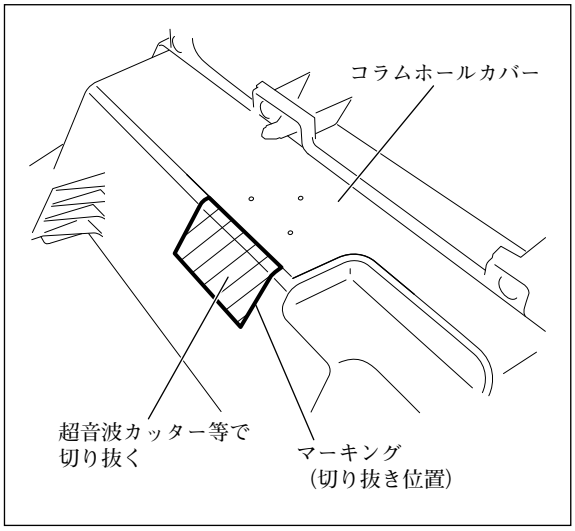
⚠注意

- **ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。**
- **巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。**

注 記

- **ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（布テープ等）を巻いてください。**
- **ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。**

5



(1) コラムホールカバーのマーキング位置（切り抜き位置）内側に沿って超音波カッター等で穴を開けてください。

⚠注意

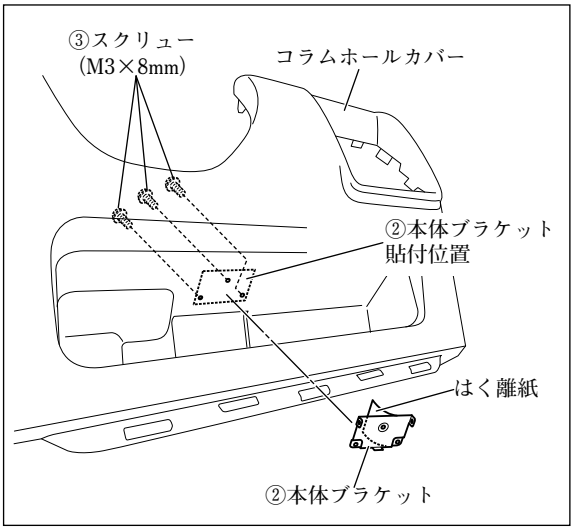
穴を開ける際は、ケブラー手袋を使用してください。

(2) 切り抜き後、コラムホールカバーの切り抜き部のバリをヤスリで取り除いてください。

アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。

6



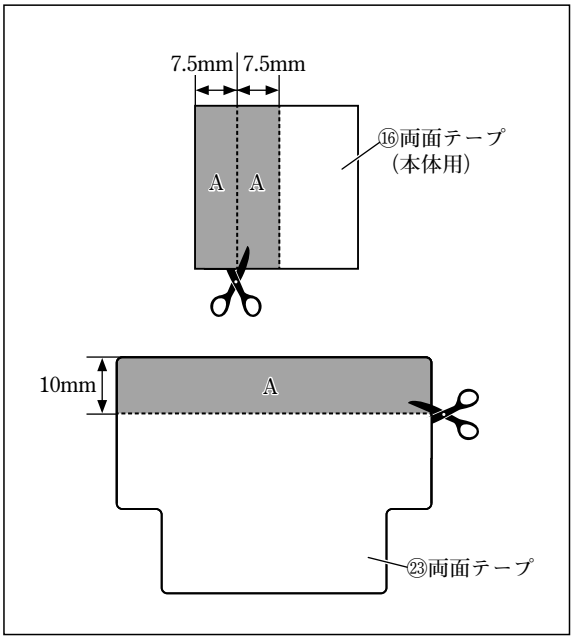
(1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

(2) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注 記

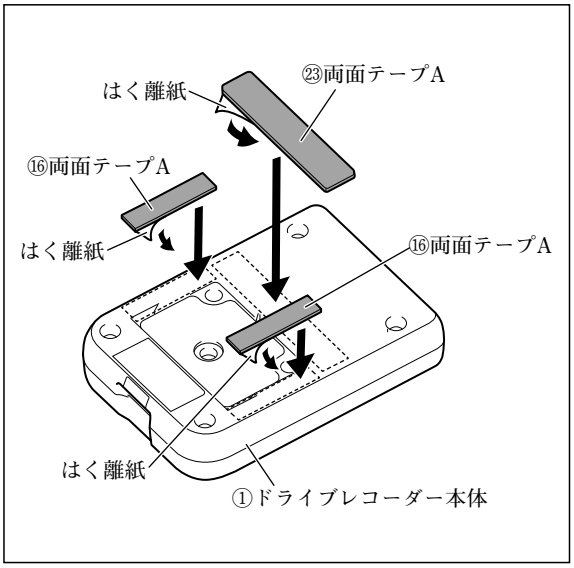
- **貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

7



⑯両面テープ（本体用）と㉓両面テープを図のようにカットしてください。

8

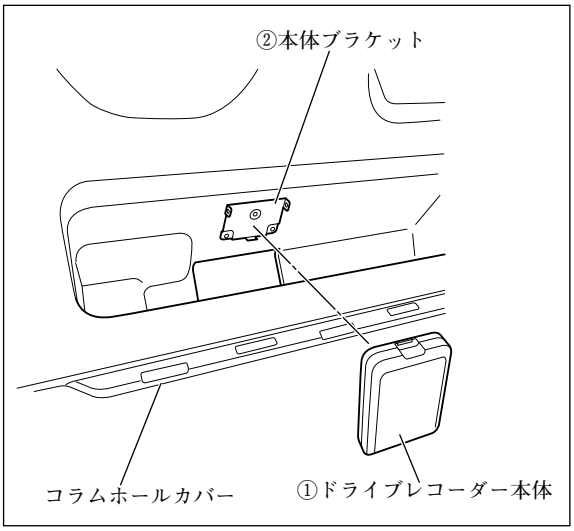


カットした⑯両面テープ（本体用）と㉓両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- **貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**

9



(1) ①ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。なお、干渉している場合は、コラムホールカバーを削り調整してください。

注記

①ドライブレコーダー本体を仮組みする際は、②本体ブラケットのツメをかん合させないでください。

(2) ①ドライブレコーダー本体、㉓両面テープおよび⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)

(3) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- **貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。**
- **気温が低いとき（20℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。**
- **①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。**

(4) ①ドライブレコーダー本体にすべてのケーブルのコネクターを接続してください。(「接続のしかた」参照)

- 「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。
- 「既設部品の点検」を行ってください。
- 「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

改訂内容

改訂履歴	内　容	日　付
第 1 版	新規発行	2020年11月17日
第 2 版	適用車種追加（ソリオ型式 MA27S、MA37S）	2020年11月25日

パナソニック　お客様ご相談センター

電 話　0120-50-8729（ゴー　パナソニック）

■ 上記番号がご利用いただけない場合

045-929-0511（有料）

※通話料は、お客様のご負担となります。

受付：9:00～17:00（年中無休）

- ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

パナソニック株式会社
オートモーティブ社

〒224-8520　横浜市都筑区池辺町4261番地